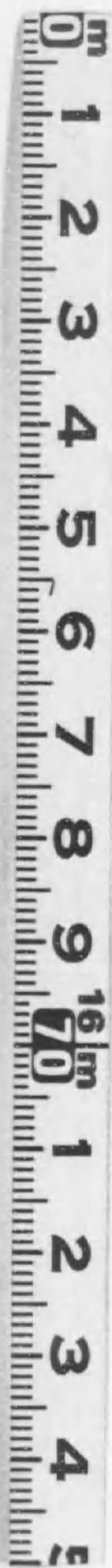


524

227



始



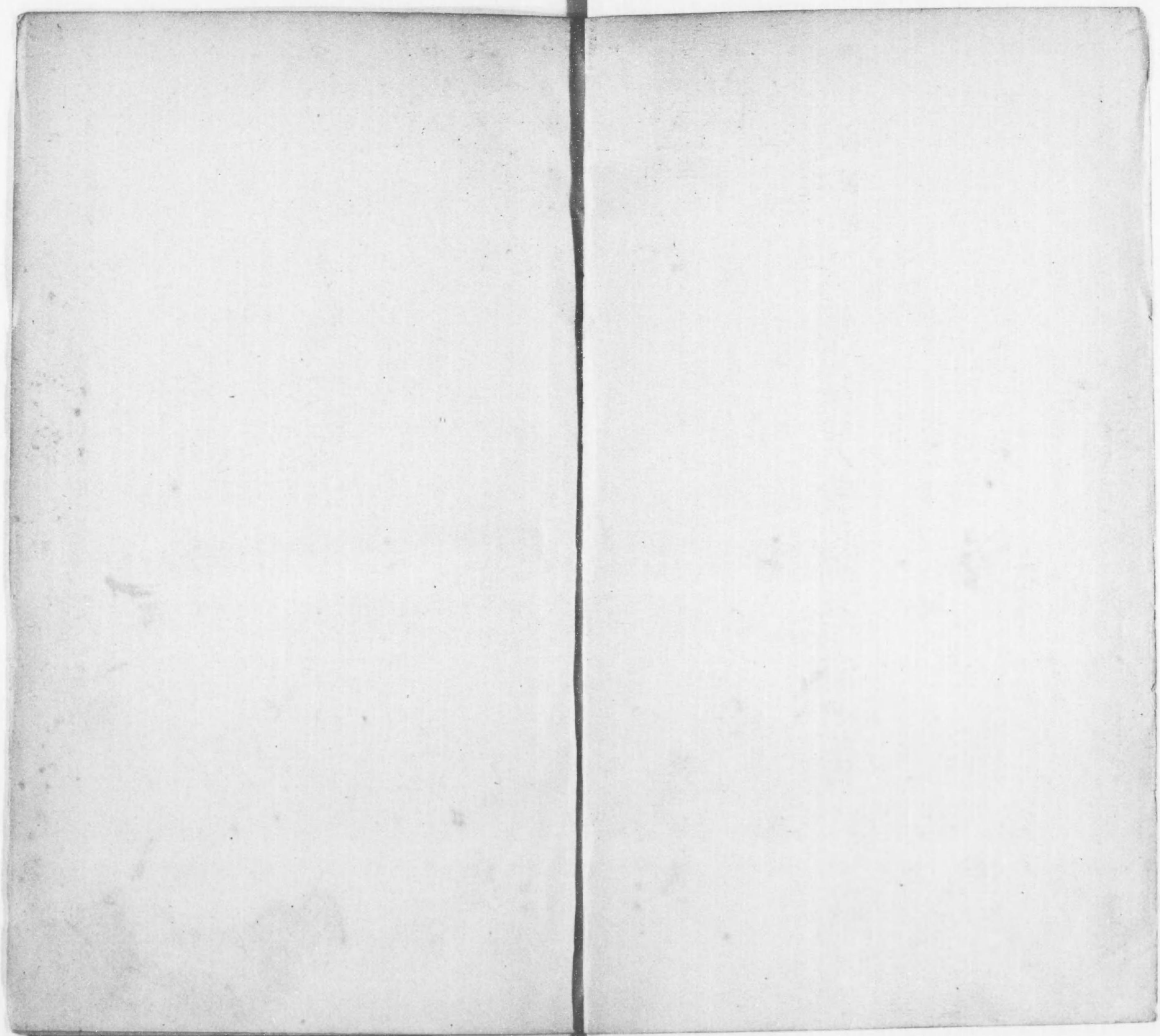
14.11.17

408
93

商船學校
練習船

大成丸第八次遠洋航海報告

商船學校



商船學校練習船大成丸第八次遠洋航海報告

目次

職員.....

學生.....

品川田帆現狀.....

田帆前體格検査表.....

北米「サンデイエゴ」港着前體格検査表.....

南阿「ケープタウン」入港前體格検査表.....

南米「リオデジャネイロ」首港ノ際體格検査表.....

濠洲「フライマントル」港ニテ體格検査表.....

自品川港至北米「サンデイエゴ」港.....

「サンデイエゴ」港碇泊日誌.....

自北米「サンデイエゴ」港至「セントヘレナ」島「セームスタウン」港.....

第五次遠洋航海ニ於ケル北東恒風帶天候.....

第八次遠洋航海ニ於ケル北東恒風帶天候.....

Tristan da Cunha 群島ニ就テ.....

「ケープタウン」港碇泊日誌.....

南阿「ケープタウン」港事情.....

七九
七六
六六
六一
四一
四〇
三五
二〇
七
七
六
六
五
四
三
二
一

大正
3. 1. 16
内交

54-227
商船學校練習船大成丸第八次遠洋航海報告

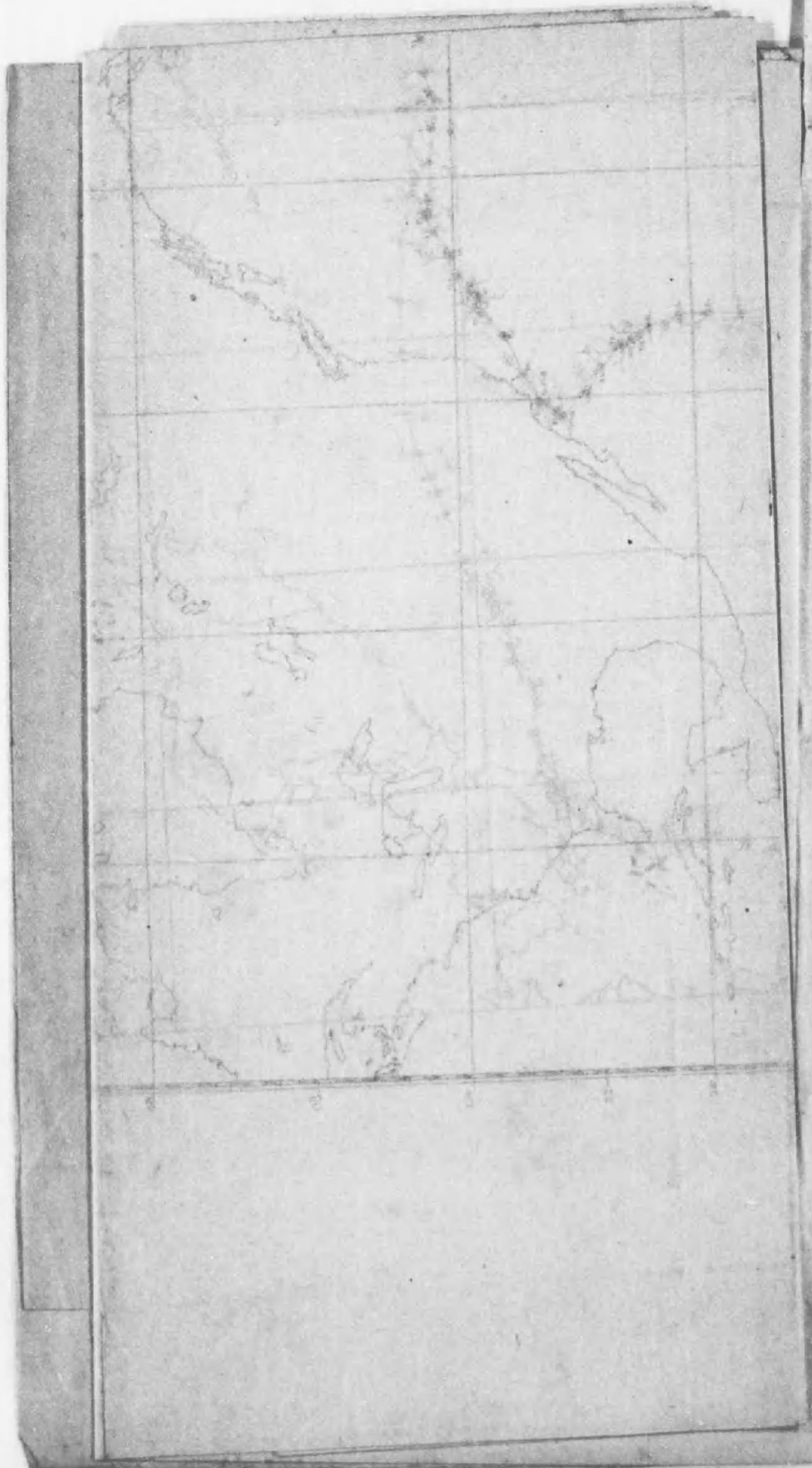
專任教官 和田 準 介

凡例

- 一、本船ハ明治四十五年七月六日航海科學生百二十五名ヲ容レテ第八次遠洋航海ノ途ニ就キ北米、サンデイエゴ、港、南阿、ケープタウン、港、英領、セントヘレナ、島、伯刺爾留、リヂヂヤネイロ、港、濠洲、フリーマントル、港及ヒ蘭領、ビマ、港、ムボイナ、港ヲ經テ大正二年十月十八日品川灣ニ歸着セリ
- 一、方位、針路等ノ種類ハ其ノ都度之レヲ記入シ然ラサルモノハ眞方位トナス
- 一、航跡圖ニハ各日ノ正午位置ヲ點シ之ヲ連結シテ直航針路又ヒ同距離ヲ示シ白線ハ帆走點線ハ汽走ヲ示シ其ノ側ニビユートホード氏ニヨル風力ヲ示ス箭符ト海流ノ方向ヲ示ス箭符ヲ加フ

二

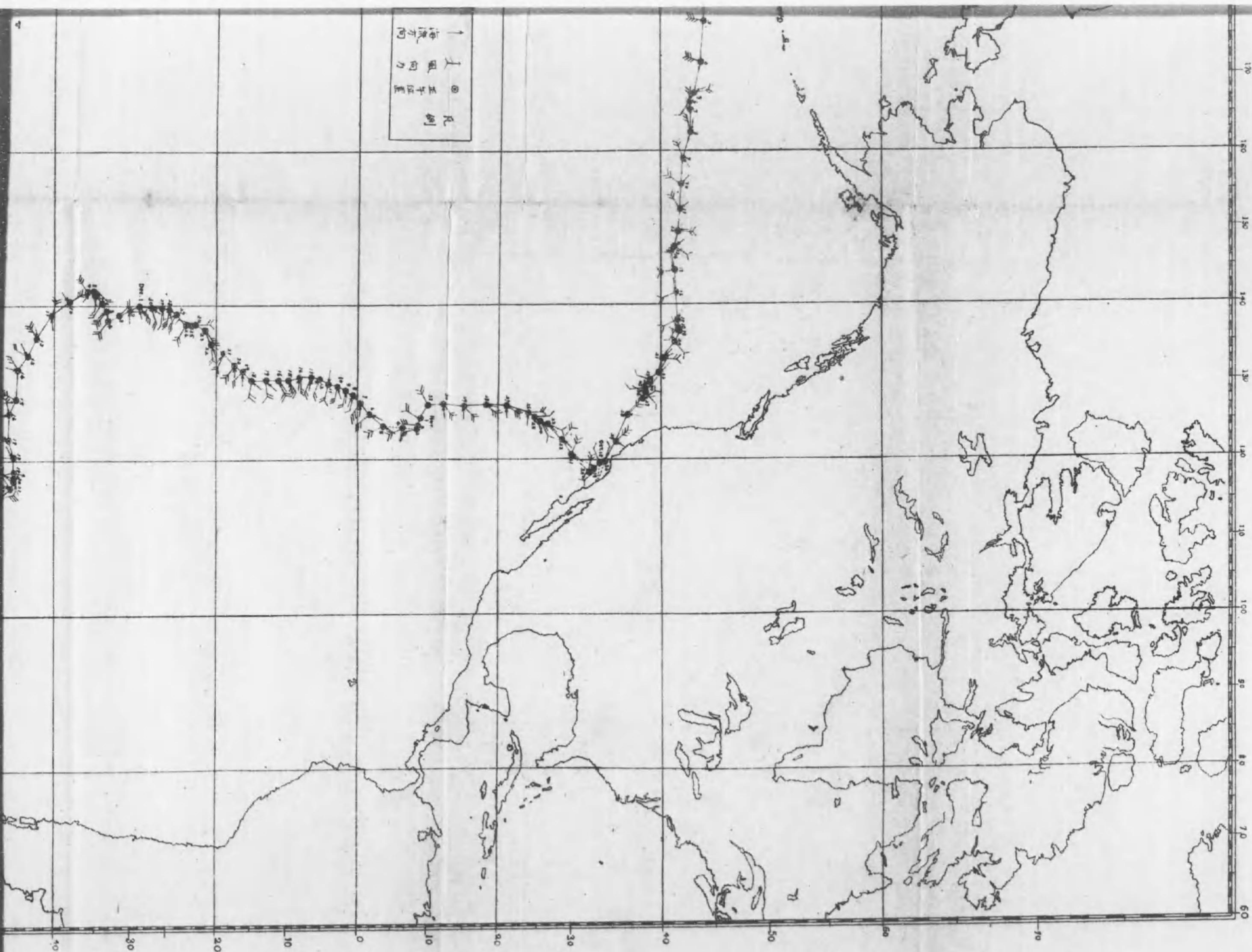
- 自南阿「ケープタウン」港至「セントヘレナ」島……………九四
- 「セントヘレナ」島「ゼームスタウン」港碇泊日誌……………九九
- 「セントヘレナ」島事情……………一〇〇
- 自「セントヘレナ」島「ゼームスタウン」港至南米「ブラジル」國「リオヂヤネイロ」港……………一一二
- 南米「リオヂヤネイロ」港碇泊日誌……………一一八
- 「リオヂヤネイロ」港事情……………一二三
- 自南米「リオヂヤネイロ」港至濠洲「フリーマントル」港……………一四六
- 「フリーマントル」港碇泊日誌……………一六二
- 寄港地「フリーマントル」港事情……………一六四
- 自濠洲「フリーマントル」港至蘭領「ムボイナ」港……………一七九
- 「ムボイナ」港碇泊日誌……………一八五
- 「ムボイナ」港記事……………一八六
- 自蘭領「ムボイナ」港至品川灣……………一八九



- 一、温度ハ悉ク華氏ニヨル
- 二、價格ヲ示スニハ各當國特用ノ貨幣ヲ以テセリ
- 三、寄港地ノ事情ハ可成最近ノ消息ヲ集メシモ未タ諸調査ノ充分ナラサル港灣等
- 四、ニ於テハ勉メテ地方人ノ口話ヲ録セシヲ以テ幾分數字上ノ誤差ハ免レサルモノアリ

以上

商船學校練習

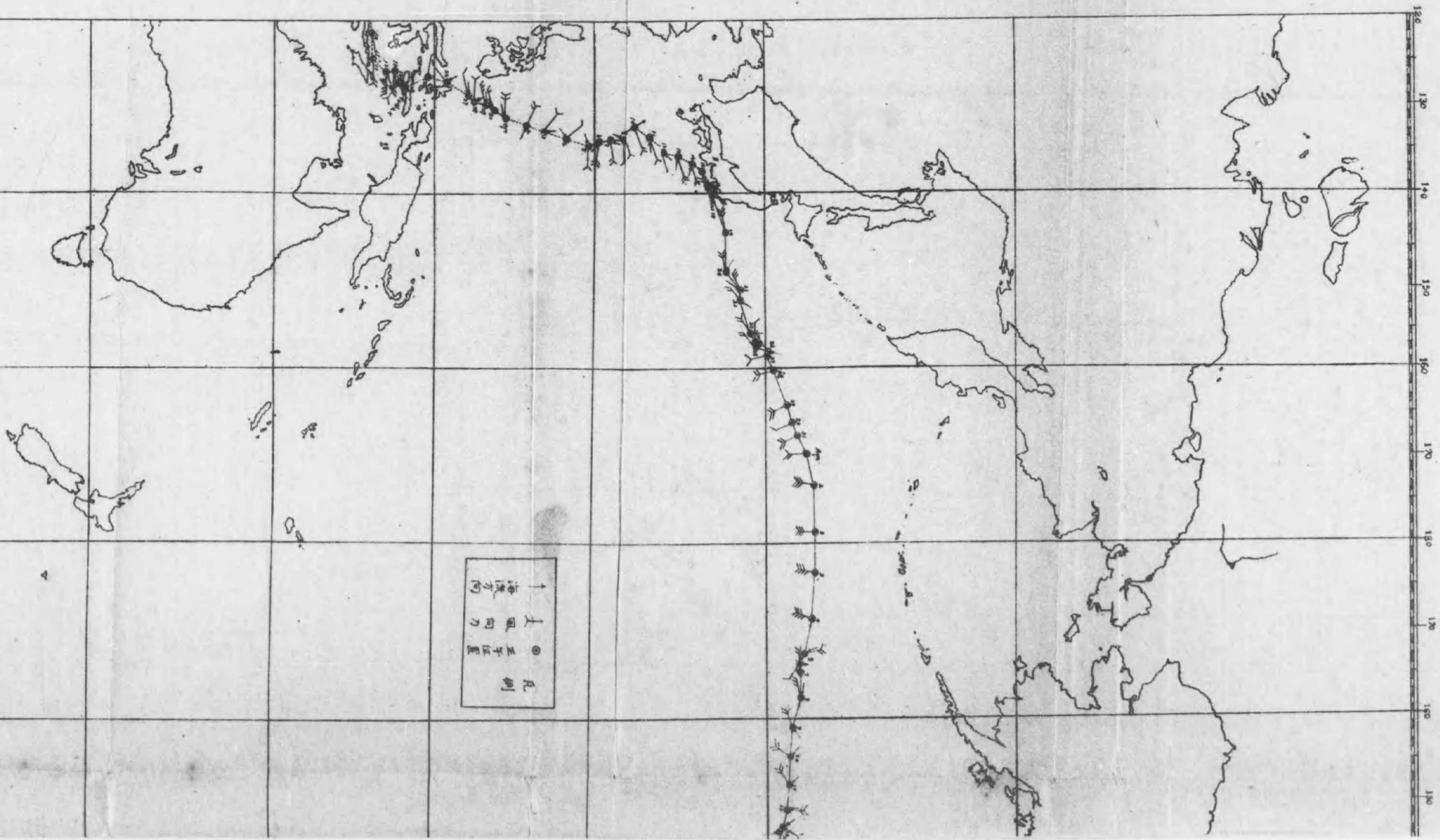


凡例
● 五午位置
→ 大風向力
⊥ 海流方向

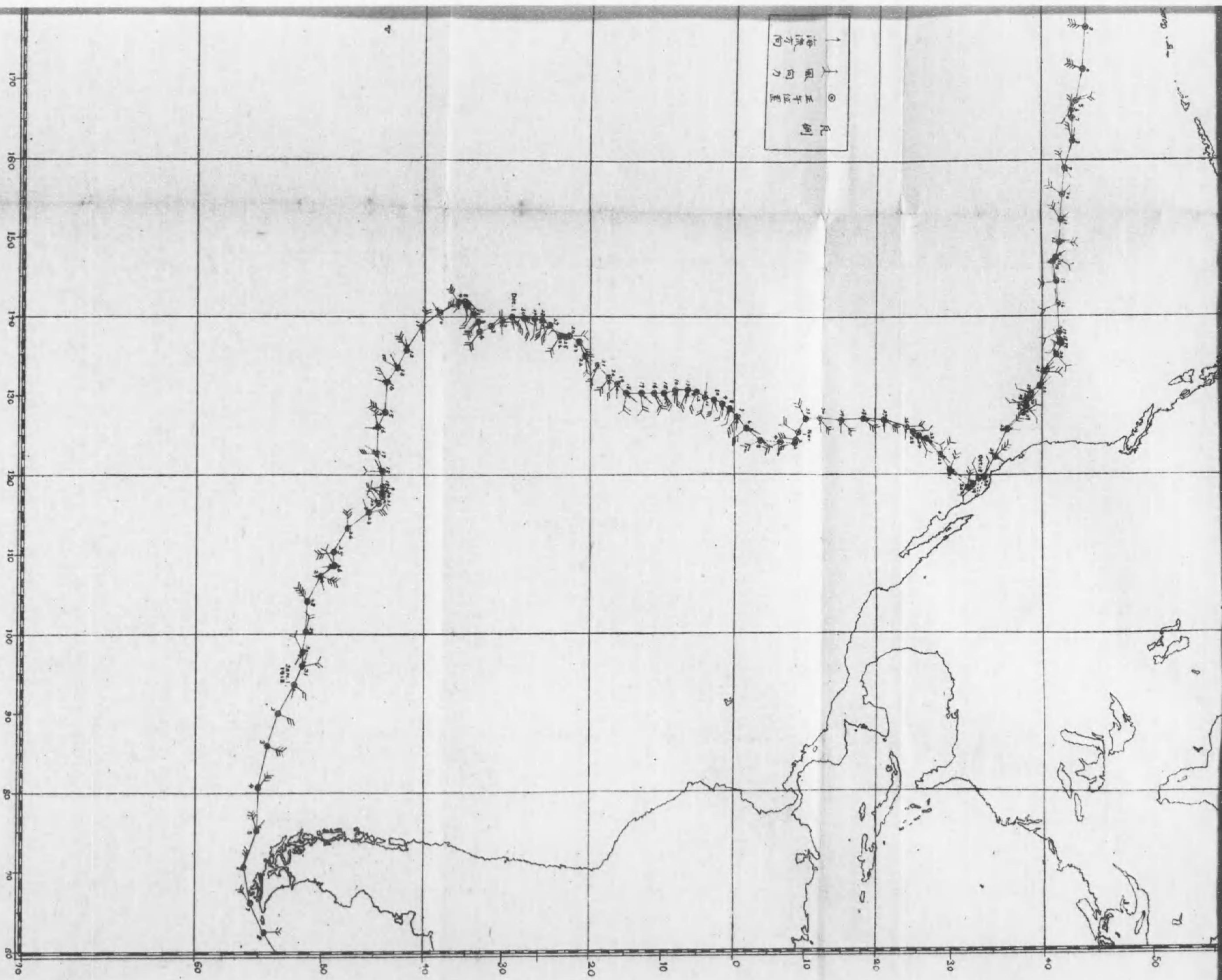
0 10 20 30 40

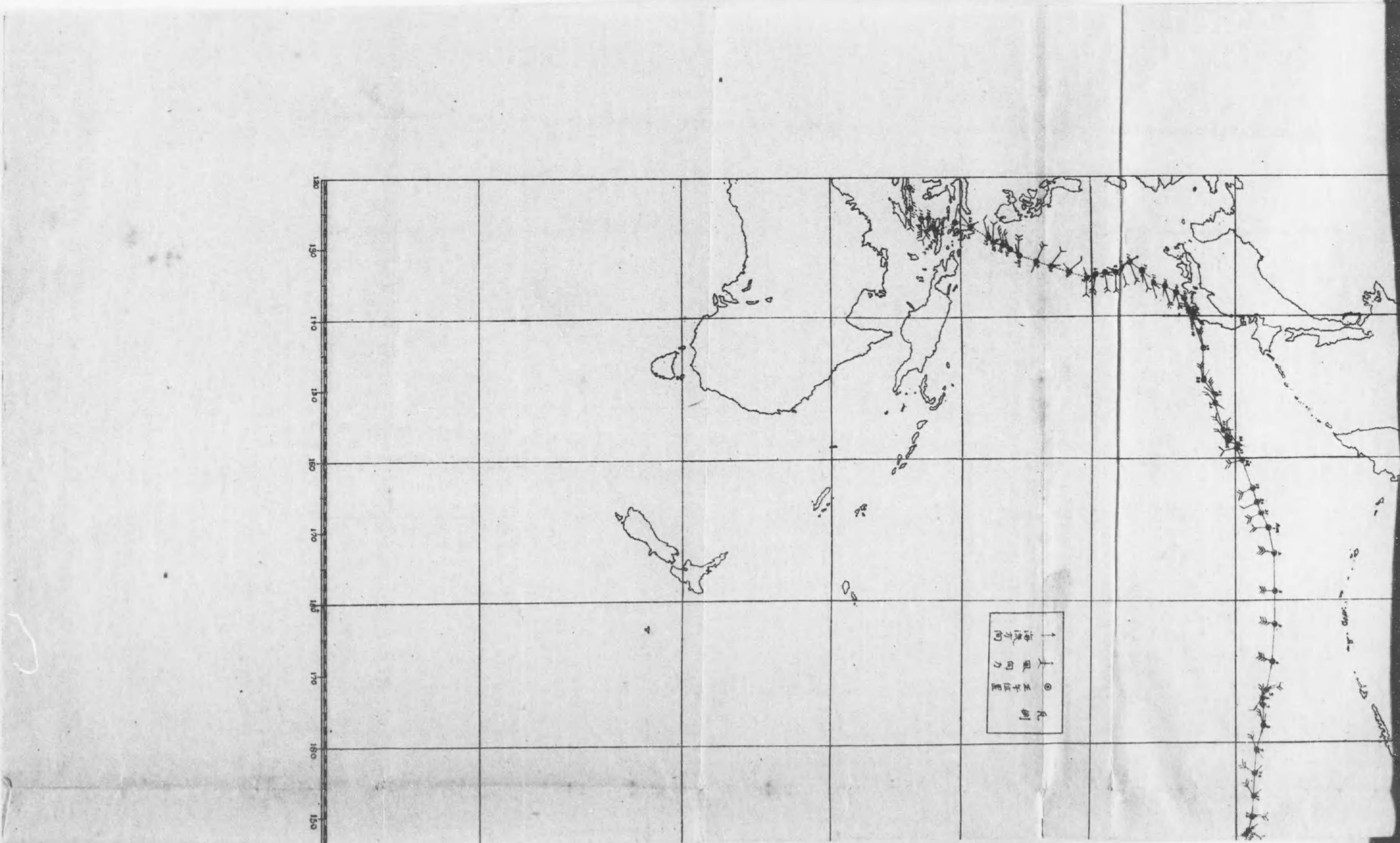
60 70 80 90 100 110 120 130 140 150 160 170

丸成大船習練校



凡例
○ 在子位置
↓ 人風向力
↑ 海流方向



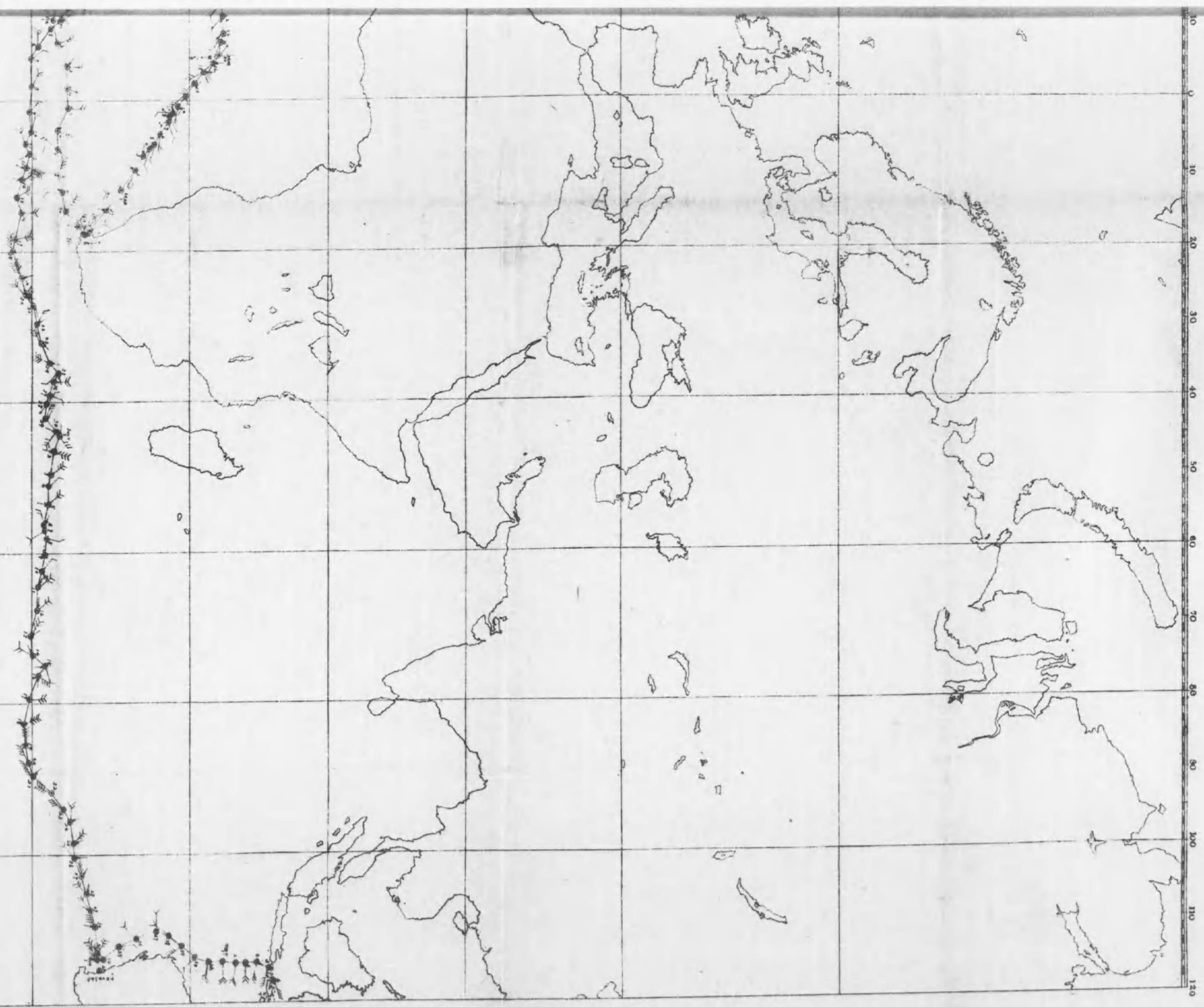


观测位置
风向
海流方向

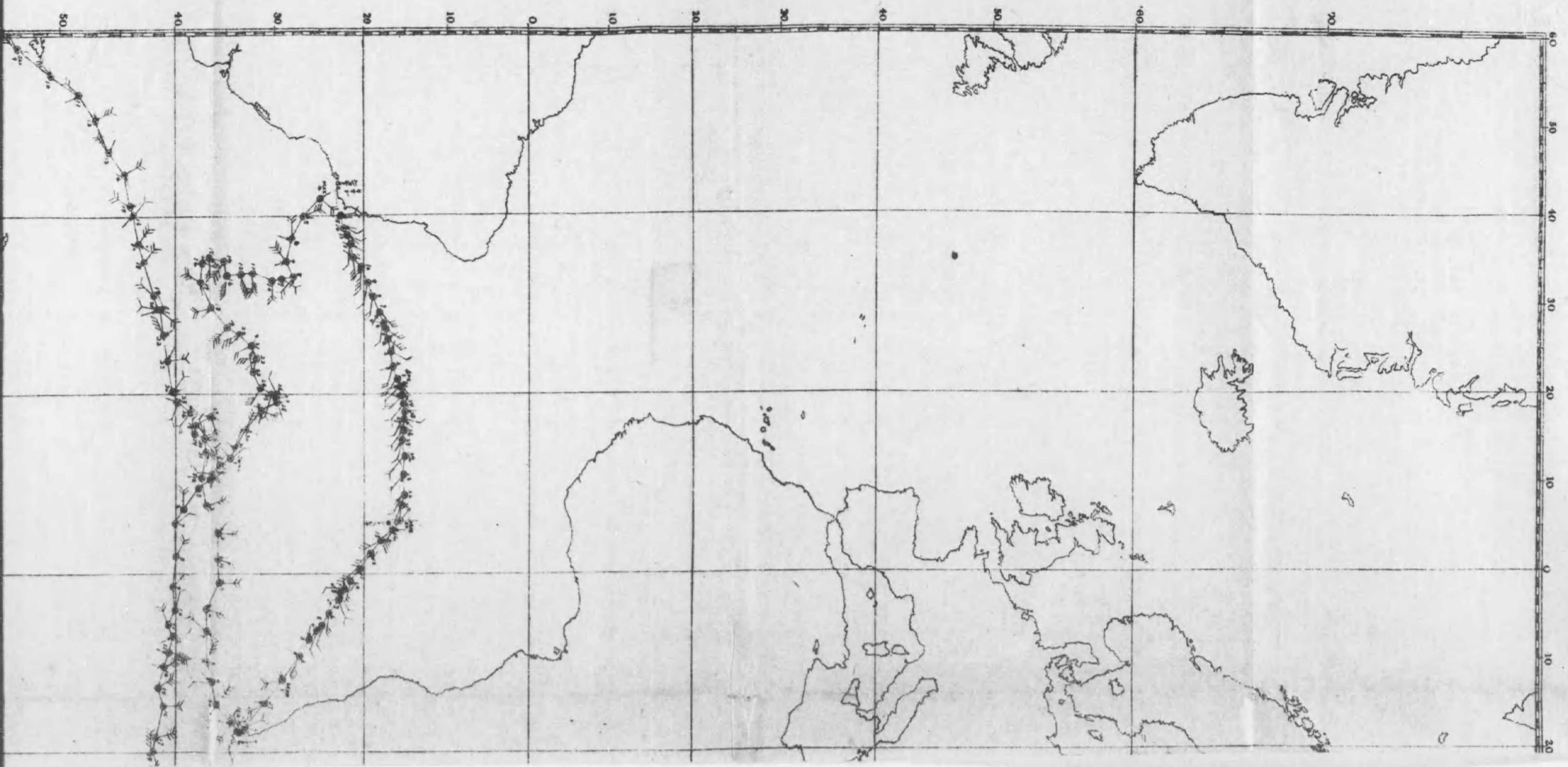
190
180
170
160
150
30
20
10

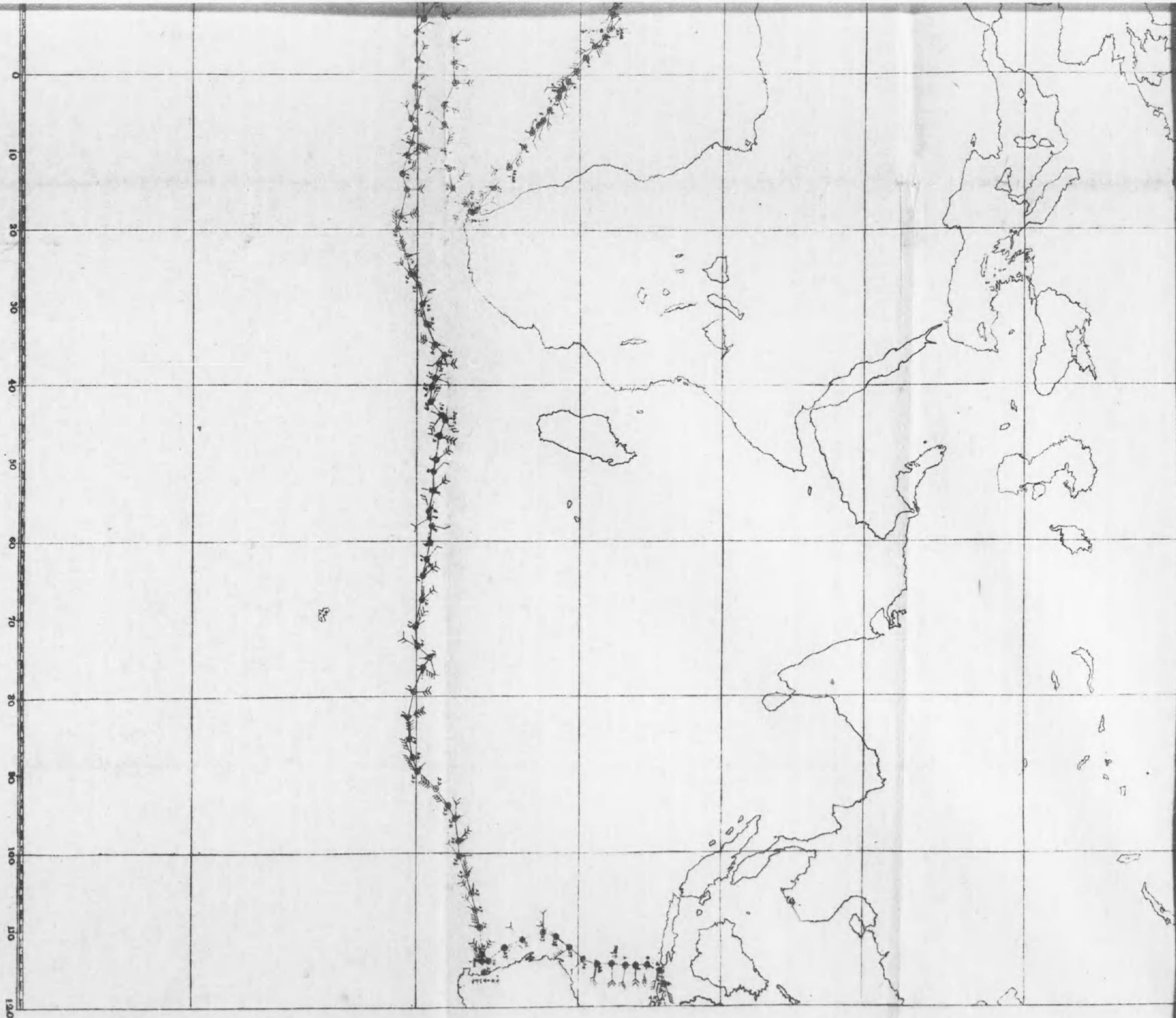
海國圖志卷之九

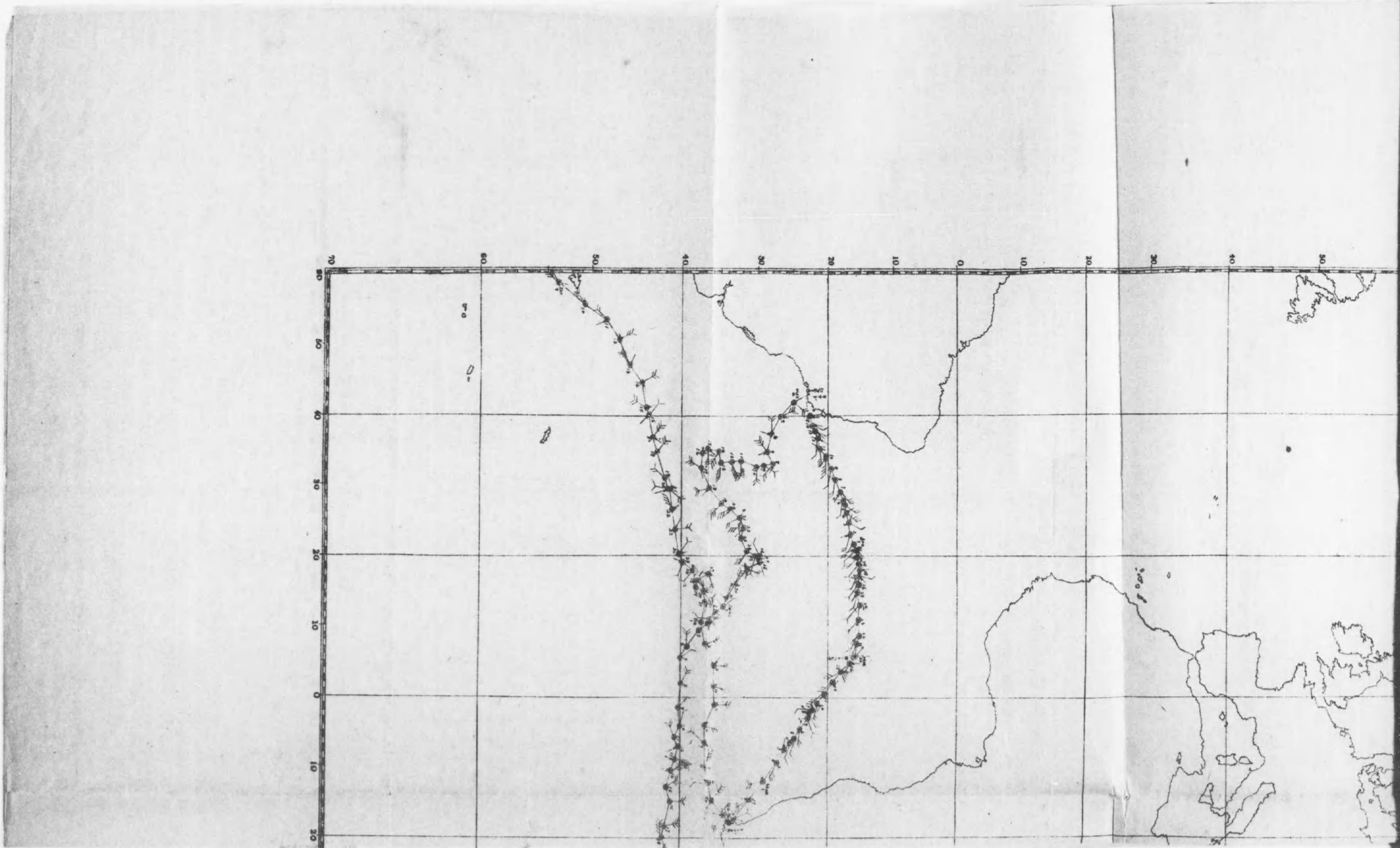
第八次遠洋航海航跡圖



舟跡圖







青嶺海峽文八概



職員

船長	全	商船學校教授	小關
一等運轉士	全	教諭	三平
專任教官	全	教諭	吉
二等運轉士	全	囑託員	平
三等運轉士	全	囑託員	佐々木
四等運轉士	全	全	原桃三
員外運轉士	全	全	和田幸三
機關長	全	教諭	鈴木幸三
一等機關士	全	教諭	深見悦次郎
醫員	全	囑託員	山田寅次郎
無線電信局長	全	囑託員	白石雪之助
事務員	全	囑託員	白、石、雪、之、助
計	十	三	イ、エ、フ、ヒ、リ、ッ、プ、ス
學	十	三	圓中友和
生	十	三	前田和
	十	三	三山輪
	十	三	松山本
	十	三	山本

(珊港ニテ就任)
(珊港ニテ病氣下船)

(北米珊港ニテ死亡)

(第五十五期) 出野卓郎
 (第五十七期) 都竹要次郎
 松下倉吉
 李家健一
 山崎壽市

水野充	今岡顯治	花島恭五郎	吉峰秀雄	廣瀬修三
龜川利作	山田茂榮	團藤恭助	野口太作	笠原計一
三島宗雄	小野健	大隅佳一	濱田武治	高須賢一
奈良山德治	岩川新五郎	今井喜代治	會澤浩	渡邊浪平
大石寬	榎村義一	武藤織衛	石田映芳	田崎武督
石橋袈裟一	柳原定尾	林久隆	高尾紀德	大屋進三
右田藤助	(第五十八期)	倉林廉	淺井義藏	武谷七郎
松村利雄	蔭田英雄	杉田博	竹內隆吉	淺尾庚三郎
衆樹彌太郎	吉田門兵衛	佐々木懋	佐々木謙三	堀尾五郎
長岡忠雄	森田壽次郎	加藤正廣	小林松太郎	立野儀光
宇都江一郎	森入進	後藤堅治	栗原彌三藏	田中彦三
中井恒滿	宮山良三	山本弘吉	秋山孝市	小田三光
藤原孟	永山良三	荻島梅吉	廣瀬源四郎	小林磯治
小山秀雄	馬場惣兵衛	茂木定二	岡本利美	齋藤敏夫
(第五十九期)	米窪滿亮	小川亮一	安藤源四郎	大賀文喜
辻喜市	田宮善三	長屋千棟	勝木正規	狩野宏
鐘ヶ江廣松	井谷弘三	今村實	田村	菊田新次郎
吉村好治	平賀豐次	佐々木仁作	蔭村	
倉辻不羈丸(死)	柳強介			

(第六十期)

牧兼介	但野清學	富永廣	栗村齋三	小栗義一
土岐九市	峰岡甲一	得能正憲	兼子元三	深瀬一郎
山本豐	西川植蔚	天昌一	山岡省三郎	篠原秀夫
網中廣海	松島皎太郎	中原直一	淺尾敏次郎	谷口喜久次
岡田三米	山本正雄	石田忠吉	小西角三郎	西川傳次
寺中雄治	平山隆	津田猪之助	岩佐忠太郎	弓削田薰
井上操	高橋愛三			

水夫長以下水夫 百二十五名
 舵取 十七名
 船長以下料理人 七名
 計 四十四名
 合計 百八十二名

品川出帆現狀

吃 水 量 四千二十四噸
 平均 十九呎三吋
 後部 二十呎
 前部 十八呎七吋
 差 一呎五吋

大工 火夫長以下火夫 三十二名
 給仕及洗濯夫 三名
 名(内一名)

「メタセクター」ノ高サ
 三呎九四
 飲料 水 百噸一
 固定バラスト
 一番船内 二二九噸
 二番全 一三三噸
 三番全 八〇噸
 フラアービークタンク
 第一バラストタンク
 第二全
 エンヂンタンク
 ボイラータンク
 第一アフターデーブタンク
 第二全
 アフタービークタンク

壓 船 水 函
 合計 四百四十二噸
 七噸
 九二噸七
 一〇八噸一
 三一噸八
 五〇噸四
 一四四噸八
 七一噸四
 一七噸三
 合計 五百八十七噸五

石 豫備石炭庫 二五〇噸
 炭 石炭庫 一〇〇噸
 合計 三百五十噸
 食 一番船内 四六噸四
 二番船内 五九噸五
 三番船内 三六噸
 後部糧食庫内 五噸
 合計 百四十六噸九

出帆前體格検査表 明治四十五年六月二十四日於品川灣

部別	員數	總體量	最大小	平體量一人均	總身長	最大小	一人平均
第二期生	九三	一三六、四〇〇	小大	一五〇、一五	四九四、七〇	小大	五三、二九
第一期生	三三	四八五、三四〇	小大	一五、一六六	一七、二八七	小大	五、四〇、二
甲板部	二	二九、六〇〇	小大	一四、二六七	一〇八、六六	小大	五、一七、四
機關部	三三	一七、七四〇	小大	一五、〇〇〇	六七、〇六	小大	五、一五、八
賄部	九	一一、三〇〇	小大	三、三三四	四六、六九	小大	五、一八、五
總計	一六八	二、四七四、四〇〇	小大	一四、七八	八八九、九	小大	五、二九、七

北米「サンデイエゴ」港着前體格検査表 (大正元年八月二十二日)

部別	員數	總體量	最大小	一人平均	出帆前比較
第二期生	九三	一、四一四、〇四〇	小大	一五、二〇四	一八九噸
第一期生	三三	四八五、五〇〇	小大	一五、一七〇	六噸
甲板部	二	三〇、一三〇	小大	一四、三九六	二九噸
機關部	三三	一七、五六〇	小大	一三、五二四	三〇噸
賄部	九	一一、四〇〇	小大	一三、七一一	三七噸
總計	一六八	一、九三九、二三〇	小大	一三、七一一	五

總計	一六八	三五〇、九〇	小大	一八、三〇	一四、八七	一五九 全
----	-----	--------	----	-------	-------	-------

南阿「ケーブタウン」入港前體格検査表 (大正二年二月十日)

部別	員數	總體量	最大	最小	一人平均	前平均	前平均比較	品川出帆前平均比較
第二期生	九	一、四九八、八〇	小大	二、九〇〇	一五、四三	二九	增	四八 增
第一期生	三	五〇三、六〇〇	小大	一、八七〇	一五、七七	三五	全	五七 全
甲板部	二	三〇八、三〇〇	小大	一、三〇〇	一四、六七	二八	全	四〇 全
機關部	三	一、七二四、〇〇	小大	二、五〇〇	一三、五七	三〇	全	三〇 全
賭部	九	二、六二九、〇〇	小大	三、九〇〇	一四、〇二	三〇	全	五七 全
合計	一六七	二、五三四、一三〇	小大	二、九〇〇	一五、一七四	二八	全	四六 全

南米「リオデジヤネイロ」着港ノ際體格検査表 (大正二年四月十四日)

部別	員數	總體量	最大	最小	一人平均	前平均	前平均比較	品川出帆當時平均比較
第二期生	九	一、三九三、二五〇	小大	二、九六〇	一五、一五〇	二八	減	一五 增
第一期生	三	四八九、八二〇	小大	一、七九〇	一五、三〇六	三二	減	一四〇 增
甲板部	二	三〇二、一四〇	小大	一、七〇〇	一四、三九二	三六	減	二五 增
機關部	〇	二、三三六、六〇	小大	三、七〇〇	一三、七四〇	二八	減	二六 增
合計	一四	二、四八〇、四六〇	小大	二、九〇〇	一四、八五〇	三三	減	二三 增

濠洲「フリーマントル」港ニテ體格検査表 (大正二年八月十五日)

部別	員數	總體量	最大	最小	一人平均	前平均	前平均比較	品川出帆前平均比較
第二期生	九	一、三七一、七〇〇	小大	二、九〇〇	一五、二四二	一九	增	三六 增
第一期生	三	四八五、三〇〇	小大	一、七九〇	一五、一六五	二九	全	一七 減
甲板部	二	二八九、一六〇	小大	一、三〇〇	一四、四五六	二九	全	一九 增
機關部	三	一、七二七、〇〇	小大	二、五〇〇	一三、二〇八	三〇	全	二六 減
賭部	九	二、三三八、〇〇	小大	三、三〇〇	一三、七五七	二八	全	二八 增
合計	一六	二、四一六、九〇	小大	二、九〇〇	一四、八八八	二八	全	二六 全

自品川港至北米「サンディエゴ」港

七月六日 品川出港

午後二時半抜錨シテ横濱港ニ向フ天氣平穩ニシテ海上波ナシ在校學生總員石川學生監指揮ノ下二十二隻ノ端艇及ヒ一隻ノ小蒸汽艇ニ分乗シテ本船ノ出港ヲ見送レリ

夕刻五時半横濱港内第一區第十六浮標ニ繫留シ石炭及清水ノ積込ヲ開始ス
七月七日ヨリ九日ニ至ル

石炭三百五十噸、清水五百九十噸及品川ニ於ケル積載糧食殘額ノ積込ヲ了シ更ニ大臣來船ニ就テノ諸準備ニ就ク

七月十日 晴天ナレトモ炎暑漸ク加ハル最高温度八十二度

午前十一時林遞信大臣、小松次官、湯川管船局長、外遞信省諸官及ヒ本校ヨリハ石橋校長外三教授來臨アリ乘員一同之レヲ迎フ船内巡視ヲ終ツテ後職員學生及其他ノ乘員一同ヲ上甲板ニ集メ懇切ナル一場ノ訓示アリテ遠達ナル航途ノ成功ヲ祝サレ終ツテ立食場ニ入り設ケノ晝餐ヲ終ヘ午後一時四十五分大臣以下列官退船シ船ハ悠然トシテ錨地ヲ離レ彼我三聲ノ汽笛ヲ交換シテ見送り諸艇ニ別レ房州館山ニ向ヒ觀音崎沖合ニテ原基羅針儀ノ誤差ヲ計リ夕刻七時十三分着港ノ上豫定錨地ニ投錨ス

當日林遞相ノ訓示左ノ如シ
『今ヤ本船カ十四ヶ月、四萬二千二百哩テウ世界一周ノ長途航海ニ出テ立タントスルニ當リ本大臣ハ一言諸君ニ向ツテ送別ノ辭ヲ陳フルノ光榮ヲ有ス、昔時ハ世界一周航海ト云フカ如キ事ハ極メテ稀有ノ事ニ屬セルカ目今文運進步シ諸機械ノ發明成リ造船術ノ發展スルニ從ヒ其困難ノ度ハ漸ク減セリト雖トモ尙途中風浪ノ災害尠カラサルノミナラス日夕飲食物ノ不自由寒暑ノ苦艱等航海業者ノ難澁甚タ多カラサルヲ得ス、諸君ハ今日以後年餘ノ間此苦ミト闘ハレントスルナリ予ハ諸君カ斯ル困難ニ遭遇サル、ヲ以テ幸福ナリト云フニハアラネト此機會ヲ利シ忍耐、注意、勇氣ヲ養ヒ且ツ技術ノ練磨ヲ完ウシテ有爲ノ人物タラン事ヲ大ニ希望スル所ナリ航海中ハ常ニ異ナレル氣候風土ヲ經過スル事ナレハ只管身心ノ保全ニ留意セラル、ト共ニ體爾顛沛モ 天皇陛下ノ忠良タリ國家有爲ノ青年タル事ヲ忘却セス苟メニモ曲解セル大和魂ヲ揮廻ハシテ粗暴ノ振舞等アル可ラス外柔ニ内剛ニ終始文明的態度ヲ持シテ過リナカラシム事

ヲ望ムナリ尙予ハ第七次航海ノ際ニ於テ乗組生徒諸君カ經過セル國々ノ地理風俗人情等ヲ綿密ニ記録サレタルヲ見テ大ニ其事ノ可ナルヲ感シタリ今回第八次航海ノ諸君モ亦前期諸君ニ倣ハレタラハ裨益スル處蓋シ尠ナラサランカ、終リニ一言シ度ハ船内上下當ニ相敬愛シテ互ニ扶ク互ニ砥勵シ合ヒ此長途ノ大航海ヲ首尾ヨク成シ遂ケラレン事ナリ予モ壯時ハ船乗リタラン事ヲ志シ舊幕時代軍艦ニ乗組メル經驗アリ上下同僚相信和セサル可ラストハ其當時最モ深ク感銘セル所ナリキ』

七月十一日 曇リ勝チニシテ天候不良ノ兆アリ

午前六時ヨリ學生半舷北條海岸ニ甲板用砂積取方ニ從事ス、專任教官ハ當地郡役所、町役場、警察署ヲ歴訪シテ先月碇泊中ノ厚意ヲ謝ス午後二時出帆ノ豫定ナリシモ偏東ノ風強ク波浪高マリ天候不良ノ兆アリシヲ以テ出帆ヲ見合ス

七月十二日ヨリ十七日ニ至ル

此ノ間天候不良殊ニ偏西南ノ風威強ク波浪高ク時ニ雨ヲ交ヘテ至リ到底出帆スルニ適セサルヲ以テ之レヲ見合セ例ノ通り事業學習ヲ行ヒ放課後ハ甲板上ニ學生有志ノ擊劍盛ナリ
尙ホ其筋ノ認可ヲ得テ第一寄港地墨西哥「サンディエゴ」港ヲ變更シテ北米「サンディエゴ」港ト改ム蓋シ墨國沿岸ハ今回ノ出帆種々ノ事情ノ下ニ遲延セシ爲メ季節不良ノ恐レアリ到底帆船ノ航海ニ不適ナリト認メタルカ爲メナリ

七月十八日 朝來天候平穩ニシテ朝日ノ影美シク館山灣ヲ照ラシ連日ノ強風モ治マリシヲ以テ午前六時汽走出帆シテ野島燈臺ヲ北二十度西(磁針)距離八哩ノ地點ニ於テ汽走ヲ止メ總帆ヲ展ス南南西ノ和風ヲ右舷船尾ニ受ケ右舷開キヲ以テ針路ヲ東微北二分ノ一北(真針)ニ向ツテ帆走ス蓋シ北緯四十二度ノ地點ニ達シ偏南西ノ風ヲ得テ東航シ約北緯四十三度ノ處ニ於テ百八十度ノ經線ヲ横過シ漸次大陸沿岸ニ近接シテ偏北西風ニ駕シテ「サンディエゴ」港ニ向ハントスルモノナリ海上白波ヲ見ルト雖トモ高カラス速力

平均七哩ヲ得タリ

七月十九日 天氣晴ルト雖トモ時々曇ル風位偏西南西ニシテ力六乃至七船快走スタ刻輕帆ヲ疊收シテ夜間

ヲ警戒ス出帆以來一晝夜ニ於テ三十餘哩ノ日本海流ノ流程ニ會ス

七月二十日及二十一日 朝夕ノ空ハ曇リ勝ナレトモ晝間日光ヲ洩ラシ平均氣温七十七度ニシテ一般ニ濕氣

強ク諸具微ヲ生ス時ニ僅カニ細雨ヲ見タルモ其他ニ於テハ颯、颯等ノ兆ナク風位偏西ニシテ力六ヨリ四

ノ間ヲ上下シ波浪高カラス學生乘員頗ル元氣ナリ

二十一日正子校長ヨリ無線電報ヲ受領ス曰ク
『天皇陛下十四日ヨリ腸胃ニ故障アリ夫レヨリ日々病勢進ミ腎臟炎並發尿毒症トナリ十九日ヨリ御重態

ニアラセラル國民一般憂懼中』直チニ總員ヲ集合シテ此意ヲ傳ヘ全船靜肅ニ陛下ノ御回復ヲ祈リ奉レリ

船長ハ遞信大臣及ヒ校長ニ宛テ左ノ電報ヲ發ス
『天皇陛下御重患ノ由乗組員一同憂懼ニ堪ヘス切ニ御平癒ヲ祈リ奉ル』

七月二十二日 正午位置(北緯 三十七度四十分 東經 百五十二度四十分)

天氣曇リ勝チニシテ晴レ波ヲス稍々冷涼ヲ覺ユ西南西ノ和風ハ總帆ニ孕ミテ船首ニ白波ヲ蹴テ航走ス濕
度同様甚シ別表ニ示スカ如ク出港以來偏北東方ノ海流ニ會シ一日三十哩乃至五十哩ノ流程ヲ見シニ本日
ニ限リ偏南西ノ海流五十哩ヲ感セシハ頗ル本船ニ於テ實例少キモノニシテ此近傍ニ於テハ日本海流ノ勢
力盛ナル地點ナレハ必ス偏北東流タラサルヘカラス然ルニ全ク正反對ノモノヲ得シハ是レ「オコック」海
ヲ出テ太平洋面ニ向ヒ來ル寒流ノ一派カ突然茲ニ頭角ヲ現ハシタルニ遭遇セシモノナルヘク前日頃ヨリ
漸次海水温度ノ急下セシ傾向アルニ於テモ推察スルヲ得、夕方ヨリ風力加ハリ來リ力六乃至八ヲ示シ細
雨之レニ伴ヒ晴雨計稍々下降セリ夜半ニ於テ強雨ノ來襲ト共ニ風力頓ニ加ハリシヲ以テ諸輕帆ヲ悉ク疊
收シテ之レニ當レリ無線電報アリ曰ク『二十二日午後二時東經百四十五度北緯四十二度中心示度二九吋

五三進行方向東』即チ知ル此低氣壓ノ右半圓ニ於ケル影響ヲ蒙リシモノナルヘク漸次天候回復シ來レリ
七月二十三日及二十四日 本日校長ヨリノ來電ニヨレハ 陛下ノ御容態漸次御快方ノ由ナルヲ以テ全員稍
々愁眉ヲ開キ更ニ御全復ノ報ノ至ルヲ俟ツ

天氣曇リ勝ニシテ偏西ノ和風アリシモ漸次風力衰ヘ來リ折々細雨ヲ齎ラシ甲板上合羽ノ徘徊漸ク繁ク氣
温追次下降シ來リテ六十六度トナル前日ニ於テ反對ニ多大ノ影響ヲ蒙リシ海流モ漸次去ツテ船ヲ東方ニ
送ル傾向アリ

七月二十五日 正午位置(北緯 三十九度十六分半 東經 百五十七度十八分)

風愈々死シ總帆力ナク垂ル氣温著シク下降シテ朝夕六十五、六度トナリ日中六十八度晴雨計漸次上昇シ
來リ三〇吋〇六ヲ示ス長浪ノ訪フルナク頗ル平靜ナリ午前十時頃ヨリ偏東ノ軟風至リ止ムナク北方ニ向
ヒ右舷開キヲ以テ航走ス本日ハ海流ノ影響ナシ無線電信新聞ニ依レハ 『陛下ノ御容態又宜シカラサル』
ヲ報シ一同再ヒ愁雲ニ閉サレ神明ニ御回復ヲ祈リ奉レリ

七月二十六日 正午位置(北緯 四十七度二十八分 東經 百五十七度二十七分)

前日來ノ逆風ハ尙ホ吹續シ力弱シト雖トモ容易ニ風向變セス針路ヲ北方ニ取リツ、減帆シテ航走スルノ
止ムヲ得サルニ至レリ天候終日曇天ニシテ寒氣俄カニ募リ最低六十二度トナル白服ハ悉ク黒服ニ變更セ
ラレ雨ナク颯至ラス晴雨計ハ益々上昇シテ三〇吋〇八ニ達シ高氣壓部位ニ入リシノ感アリシカ夜半ヨリ
漸次下降シ來レリ

暮レ方當直員ヲ以テ下手廻ハシテ行ヒ左舷開キヲ以テ南方ニ航走ス風位偏東方三

七月二十七日 正午位置(北緯 四十七度四十二分半 東經 百五十七度四十二分半)

夜半ヨリ海上霧ヲ生シ折々細雨ヲ伴ヒ黎明強雨アリ引キ續キ逆風ニシテ進行意ノ如クナラサリシカ午前
十時頃ヨリ風位漸次南方ニ變シ午後ニ至リテハ偏南西ヨリ南南西方ノ和風トナリシヲ以テ豫定針路北七

十度東(真針路)ニ向ヒ右舷開キ總帆ヲ以テ航走ス速力平均三哩半ヲ得タリ濃霧終日海面ヲ蔽ヒ濕度多ク
溫度平均六十四度

本日ハ土曜日ナルヲ以テ船内大掃除總員洗濯ヲ行フ(以後各土曜日ニハ必ス之レヲ勵行セリ)

七月二十八日ヨリ三十日ニ至ル 風位南南西ヨリ漸次南南東ニ移リ風力四乃至五ニシテ波浪ナク速力平均
七哩宛ヲ得シモ連日海面濃霧ニ閉サレ朦朧濕潤云ハン方ナシ然レトモ折々晴ル、コトアリキ天體ノ觀測
意ノ如クナラス颯雨ノ襲來ナク晴雨計示度再ヒ漸次高昇シテ三〇時一二ニ達ス

三十日(正午位置 北緯四十二度三十分 東經百六十六度四十分)ニ至リテ風力衰ヘ風位南東ヨリ南東微東ニ變シ豫定ノ針路ニ就ク能
ハス右舷一杯開キヲ以テ航走ス

此間大氣ノ溫度海水溫度ヨリ常ニ三、四度高ク海温ハ日ヲ逐フテ下降シ三十日ニ於テ五十四度トナリ氣
温ハ五十八度トナル流向ハ常ニ東流セリ

二十九日校長ヨリ左ノ無線電信ヲ受領シ全船喜悅ニ滿チ意氣百倍セリ

『陛下ノ御容體稍々御良好ノ由歡喜ニ堪エス神明ノ加護ト國民ノ至誠ヲ單メタル祈願ニ依リ御全快疑ヒ
ナシ』

七月三十一日 本日左ノ無線電報本船無線電信機ニ感ス

『天皇陛下三十日午前零時四十三分崩御遊ハサル』

即チ船長ハ尙ホ念ノ爲メ校長ヘ宛テ其ノ眞偽如何ヲ問ヒ合シタルモ返電至ラス然レトモ勿論相違ノアル
ヘキ筈モナケレハ茲ニ午前九時半總員ヲ上甲板上ニ集メ右ノ次第ヲ公表スルト共ニ總員不取敢事業學習
ヲ廢シ樂器鳴物ヲ禁シ靜肅嚴正ニ奉悼ノ意ヲ表スヘキヲ命スルト共ニ午後二時十七分(東京ニ於ケル正
午)ニ於テ東宮殿下御踐祚遊ハサレ玉フ由ニ付總員正服用ノ上後甲板ニ整列シ遙カニ東天九重ノ方ヲ
拜シ 新天皇陛下ニ對シ最敬禮ヲ捧ケ奉レリ

終日海上濃霧ニ閉サレ甲板上橋索ヨリ落ち來ル露滴雨ヨリモ繁ク風位南南東ニシテ力弱ク僅カニ總帆ニ
孕ミテ力ナク一層哀痛ノ情ヲ深カラシム

八月一日 正午位置 (北緯 四十三度五十八分 東經 百六十九度五十一分)

偏東南東ノ和風ハ船ヲシテ濃霧ノ間ヲ豫定針路ニ走ラシメ波浪稍々アリ終日霧ノ晴ル、時ナク鬱陶シサ
限リナシ

午前十時半總員正服用ノ上上甲板ニ整列シ遙カニ 先帝陛下ニ對シテ靜肅ニ奉弔ノ式ヲ行フ
氣温五十八度自今十日間日課ヲ休ミ奉弔ノ意ヲ表ス日没前諸輕帆ヲ收ム

八月二日 正午位置 (北緯 四十四度二十三分 東經 百七十三度十五分)

前夜來風威漸ク加ハリ來リ波浪又漸ク高シ午前零時四十五分「アッバーゲルン」帆ヲ絞疊ス風位折々變化
スレトモ南微西方ヨリ南南東ノ間ニ於テシ右舷一杯開キヲ以テ辛フシテ豫定針路ヲ保テリ風力五乃至六
平均速力七哩ヲ示ス濃霧引續キ晴レス甲板上露滴霏々トシテ至リ鬱陶シサ云ハン方ナシ晴雨計異狀ヲ呈
セス

八月三日 正午位置 (北緯 四十四度四十六分 東經 百七十八度三十五分)

連日ノ濃霧漸ク朝方ニ於テ晴レタレトモ滿天曇リ勝チニテ鬱陶シ南方ノ風力加ハリ「アッバー、トツブス
ル」以下ヲ以テ走ル平均速力八哩、晴雨計示度漸ク低ク二九時九氣温五十八度
午後七時二十二分北緯四十四度五十分ノ地點ニ於テ東經ヨリ西經ニ入レリ波浪稍々アリ

八月三日 正午位置 (北緯 四十四度四十八分 西經 百七十六度四十分) ヨリ五日ニ至ル

偏南南西ノ風強ク力六乃至八ニシテ毎日平均速力八哩半乃至九哩ヲ得波浪稍々アリ連日ノ濃霧モ漸ク晴
ル、ニ至リシモ四日(正午位置 北緯四十四度二十八分 西經百七十一度二十五分)ノ朝夕ニ於テ再ヒ其ノ蔽フ所トナル引キ續キ天氣晴レ
ス鬱陶シサ甚シク四日ノ夕刻ヨリ五日(正午位置 北緯四十三度四十分 西經百六十七度二十九分)朝方迄雨頻リニ至レリ豫定針路ヲ變

シテ東二分ノ一南(真針路)トナス五日午前三時頃ヨリ風位變シテ偏北西風トナリシヲ以テ諸桁ヲ左舷ニ展開シテ豫定針路ニ付ク晝頃ヨリ空氣乾燥シテ折々日光ヲ洩ラシ近來ニ見サル好日和トナレリ風力漸ク衰へ風位前方ニ變スルノ傾キアリ

八月六日 正午位置 (北緯 四十三度十五分 西經 百六十六度十五分)

風位漸次偏東ノ逆風トナリシヲ以テ午前六時半下手廻ハシテ行ヒ右舷一杯開キトナシ僅カニ北東微北(磁針)ノ針路ヲ保チシカ風力漸次衰へ來リ薄暮過キヨリ風死シ速力皆無トナル夜半ヨリ少雨至ル

八月七日 正午位置 (北緯 四十三度二十四分 西經 百六十五度十五分)

朝來風ナク空曇リ勝チナリシカ晝前頃ヨリ漸ク晴レ偏南西ノ和風漸ク至リ右舷開キヲ以テ總帆ヲ展シテ航走シ針路ヲ東二分ノ一南(磁針)ニ定ム天候良好ナリ

八月八日ヨリ十日ニ至ル 夜間及ヒ朝夕多ク霧ノ發生ヲ見シモ晝間ハ晴レ時々青天ヲ現ハスコトアリ然レトモ概シテ曇天ニシテ細雨アリ氣温五十八度ヨリ漸次上昇シテ六十二度トナル海温亦同様ニシテ濕度漸ク減退セリ偏西南ノ和風ニシテ多ク左右二點宛變動スルヲ常トシタレトモ勉メテ豫定針路ニ向フコトヲ得タリ夜間ハ風力加ハルヲ常トシ諸輕帆ヲ收メテ警戒セリ速力平均六哩宛ヲ得

九月(正午位置 北緯四十二度三十七分半 西經百五十八度五十五分半) ヨリ日課ヲ平日ニ復シ殊ニ靜肅ヲ旨トシテ事業學習ヲ開始セリ

八月十一日ヨリ十三日ニ至ル 連日ノ偏西南風ハ十一日夜ヨリ北西風ニ變シ左舷開キヲ以テ航走ス翌十二日ニ至リ漸次風位北方ヨリ東方ニ移リ左舷一杯開キヲ以テ僅カニ豫定針路ヲ保テリ十三日ニ及ンテ風力逐次衰弱セリ天候平穩ニシテ十一日夕方細雨アリシ以後概シテ曇天ニシテ折々日光ヲ洩ラセリ氣温漸ク上昇シテ日中ハ常ニ六十三度乃至六十四度ヲ保ツ空氣乾燥シテ心地好シ連日流程ナシ

八月十四日 正午位置 (北緯 四十一度三十三分 西經 百四十六度五十四分半)

朝來風弱リ殆ント速力ナシ午後五時頃ヨリ偏南ノ風徐々ニ至リ日没後稍々風力加ハリ速力四哩半ニ達ス即チ右舷開キヲ以テ針路ヲ東(真針路)ニ定ム

八月十五日 正午位置 (北緯 四十一度三十二分 西經 百四十四度二十七分) 及十六日 正午位置 (北緯 四十一度四十一分 西經 百四十一度四十五分)

引續キ偏南ノ風吹キ波浪ナク豫定針路ニ航走シテ平均五哩ノ速力ヲ保テリ天候好晴ナレトモ夕方ニ至リテ薄雲空ヲ蔽ヒ星群ノ輝キヲ見ス温度從テ上昇シ日中七十度ニ達シ海水温度六十四度海流偏東ニシテ一晝夜十哩乃至二十哩ヲ示セリ十六日夕方ヨリ空模様惡シク細雨至ル諸輕帆ヲ收メテ警戒ス晴雨計異狀ナシ本日ヨリ米國桑港ヘノ無線電信圈内ニ入レリ

八月十七日 正午位置 (北緯 四十一度五十四分 西經 百三十七度五十九分)

朝方細雨アリ折々曇リシモ概シテ好天氣ナリ夜半ヨリ風死シ速力ヲ失フ

八月十八日 正午位置 (北緯 四十二度一分半 西經 百三十六度五十一分半)

終日風ナシ船停止シテ進マズ偏南西ノ長浪アリ晴天ニシテ日中ノ氣温七十七度暑氣頓ニ加ハル

八月十九日 正午位置 (北緯 四十二度四十分 西經 百三十六度四十四分)

終日無風ニテ海上油ヲ流セシカ如ク偏西ノ長浪アリ晴天ニシテ雲ナシ日中氣温七十度夕方ヨリ北方水平線上ニ雲片ヲ生シ徐々ニ偏北ノ風ヲ送り來リシヲ以テ針路ヲ南東微東二分ノ一東(真針路)ニ定メ左舷開キニテ航走ス夜半ノ速力三哩半ニ達ス

八月二十日 正午位置 (北緯 四十一度二十六分 西經 百三十五度十七分)

偏北ノ風稍々加ハリ平均五哩ノ速力ヲ保チ豫定針路ニ就キテ航走ス天氣曇天日中ノ氣温六十六度、大陸沿岸ニ近接シ來リシヲ以テ見張シテ警戒ス

八月二十一日 正午位置 (北緯 四十二度五十七分 西經 百三十二度五十七分)

終日曇天ニシテ北風ハ聊カ轉シテ偏北北西風トナリシカ力定マラス時ニ弱ク時ニ暮ル本日正午天測ノ結果南方ニ二十餘哩ノ流程アリ即チ米國沿岸ニ於ケル偏南海流ニ會セシヲ知レリ、朝方本船左舷前方ニ一隻ノ「スターナー」左舷開キヲ以テ北東方ニ航行スルニ遇フ

八月二十二日 正午位置 (北緯 三十九度二十一分半 西經 百三十一度 六分)

夕方ヨリ漸次風力衰フ曇天ニシテ波ナク天候頗ル平靜ナリ偏南東ノ流程十一哩アリ學生下級船員ノ身體検査ヲ行フ其結果別表ノ如シ

八月二十三日 正午位置 (北緯 三十八度四十八分 西經 百二十九度三十二分) 及二十四日 正午位置 (北緯 三十八度三十七分 西經 百二十九度三十二分)

本日米國桑港ヨリノ無線電信ニ依リ無線儀ヲ比較シ其誤差十一秒ナルコトヲ確ム

正午過キヨリ風愈々皆無トナリ空ハ晴曇半ハニシテ海面油ノ如ク長浪又ナク日中大氣温度七十度爾來氣壓高ク晴雨計示度平均三十時二五ヲ示セシカ近來日々漸次低下シテ平均示度二十九時九六トナル引キ續キ翌二十四日ニ至リテモ無風ニシテ海面油ノ如シ

八月二十五日 正午位置 (北緯 三十八度三十二分 西經 百二十九度 三分)

引續キ無風好天ニシテ長浪タモナク平靜ヲ極ム夜半ノ明月甲板ヲ照ラシ清夜ノ海面頗ル佳ナリ學生甲板上ニ武道運動盛ナリ日没後強雨ニ遇ヒシモ風至ラス

八月二十六日 正午位置 (北緯 三十八度三十一分 西經 百二十八度四十五分半)

終日又風ナシ只當地方流行ノ偏南流ニヨリ船位ヲ僅カニ異動セシムルノミ

八月二十七日 午前三時頃ヨリ漸ク偏北東ノ和風ヲ送リ來リシヲ以テ左舷開キニテ航走ス漸次風力モ加ハリ五哩ノ速力ヲ示スニ至リタリ正午ヨリ針路ヲ南五十三度東(眞針路)ニ變更ス午後ニ至リ空モ雲ヲ生ス午後九時強颯ノ雨ヲ伴ヒ來ルニ會シ豫メ諸輕帆ヲ收メテ警戒セリ夜半ニ於テ雨止ム

八月二十九日 正午位置 (北緯 三十四度五十三分半 西經 百二十二度十三分半) 及ヒ三十日 正午位置 (北緯 三十三度三十九分 西經 百十九度四十四分半)

本日ニ至ル迄北西ノ疾風吹キ續キ波浪從テ高ク高速力九哩以上ヲ保チツ、航走セリ南加州沿岸ニ近接シ來リシニ當地方北方ヨリ流下シ來ル寒流ノ影響ヲ受ケ海温低下シテ六十度トナリ氣温從テ下降シテ六十度ヲ示シ急ニ甲板上寒氣ヲ増加シタリ午後十時頃漸ク陸岸ニ近ツキシモ終ニ日光ニ遮ラレテ目的岬角タル「コンセブション」燈臺ノ燈光ヲ認ムル能ハサルノミナラス風威逞シク波浪高キヲ以テ針路ヲ變シテ「サンミグエル」及ヒ「サントローザ」諸島ノ南方ニ出テ、目的港ニ向ケ針路ヲ定ム

三十日午前四時半始メテ「サントローザ」島ヲ幽カニ朝霧ノ中ニ左舷方真横ニ認ム兩三日來ノ疾風荒浪モ船一度加州灣ニ入レハ風漸ク衰ヘ波穩カニ實ニ好天氣ト化シ氣温モ急ニ上昇シテ六十九度トナル之レ南方ヨリ流レ來ル暖流ノ賜ニシテ加州ノ氣候ヲシテ温和ナラシムルモノトス午前十時ヨリ火災操練ヲ施行ス午後一時五十二分總帆ヲ收メテ汽走ニ移リ「サンデイエゴ」港ヘ直航ス

八月三十一日 午前四時二十分「ローマ」岬燈光ヲ右舷船首半點ノ所ニ認ム同七時二十五分水先人モリス氏乗船水路ヲ嚮導ス港口ニ於テ在留日本人有志者ノ特ニ汽艇ニ依リテ來リ迎フルニ會ス同八時五十分豫定ノ錨地ニ碇泊ス深サ六尋半底質細砂

自品川至北米「サンデイエゴ」港航走日數及航走距離其他如左

航走日數 四十五日三時二十分
航走距離 五千百三十一哩

内

帆走日數 四十三日二十二時一分

全距離 四千九百一十一哩

一日平均 百十二哩〇三

一時間平均 四哩六七
 汽走日數 一日五時十九分
 全距離 二百十三哩
 一日平均 百七十四哩五九
 一時間平均 七哩二七

月日	緯度	經度	針路	航程	海流向	流速	風向	風力	晴雨計	氣溫	海溫
七月十八日	北三三度半	東一四度半	南六七東	三三	不明	不明	南西微西	三	二九六	六	七
十九日	三三度	一四度六	北七〇東	三三	全	全	南西	六	二九七	六	七
二十日	三二〇	一四度七	北八八東	三九	南五七東	三	西微南	四	二九八	七	七
二十一日	三二〇	一五〇五三	北四九東	三三	北三二東	三	南西微西	三	二九七	七	七
二十二日	三二〇	一五〇〇一	北八六東	三五	南二九西	三	南西	二	二九七	七	七
二十三日	三二〇	一五〇五五	北七一東	一七	南八九東	三	南西微西	三	二九六	七	七
二十四日	三二〇	一五〇五二	北六四東	六	不明	不明	全	二	二九七	六	七
二十五日	三二〇	一五〇七八	北五四東	六	全	全	東	一	三〇一	六	七
二十六日	三二〇	一五〇七二	北八東	三	南一八四	五	東南東	二	三〇八	六	七
二十七日	三二〇	一五〇三九	北八一東	三	不明	不明	南	二	三〇八	六	七
二十八日	三二〇	一五〇二九	北七四東	二	全	全	南微東	四	二九九	六	七
二十九日	三二〇	一五〇三九	北六八東	二	全	全	南微東	四	三〇九	六	七
三十日	三二〇	一五〇二九	北六七東	一七	全	全	南東微南	一	三〇二	五	七

月日	緯度	經度	針路	航程	海流向	流速	風向	風力	晴雨計	氣溫	海溫
三十一日	三二〇八半	一六七五五	北六〇東	共	全	全	全	四	三〇二	六	七
八月一日	三二〇八	一六九五二	北六一東	一〇四	全	全	南	三	三〇六	六	七
二日	三二〇三半	一七三二五	北八〇東	一五〇	全	全	南微西	六	三〇三	六	七
三日	三二〇四	一七六五五	北八四東	三九	全	全	南	七	三〇三	六	七
四日	三二〇四	一七二二五	南八四東	三三	全	全	南微西	七	三〇二	六	七
五日	三二〇〇	一六七二九	南七五東	一五	南二八東	六	南	三	三〇一	六	七
六日	三二〇五	一六二一五	南六五東	〇	東	二	南東微東	一	三〇〇	六	七
七日	三二〇四	一六五二五	北七八東	四	北八五東	二	西	二	三〇〇	六	七
八日	三二〇四	一六二〇半	南八六東	二九	南八五東	二	西微南	三	二九九	六	七
九日	三二〇七半	一五八五半	南七六東	一五	南六四西	三	南西	四	三〇〇	六	七
十日	三二〇八半	一五五〇六	南八二東	一三	南六三東	四	南西微南	四	三〇〇	六	七
十一日	三二〇〇	一五三二半	南八七東	一〇	南四五東	三	南西微西	四	三〇六	六	七
十二日	三二〇六	一四九二三	南八四東	一三	南	七	北	四	三〇七	六	七
十三日	三二〇三半	一四七二三	南七四東	八	南四五東	八	北	二	三〇六	六	七
十四日	三二〇三	一四六五四半	南五三東	三	北七西	九	無風	四	三〇六	六	七
十五日	三二〇三	一四二七	北八〇東	二	北七八東	〇	南微東	三	三〇三	六	七
十六日	三二〇四	一四一四五	北八六東	一三	北八四東	〇	南	三	三〇九	六	七
十七日	三二〇四	一三七九	北八五東	一六	南六六東	〇	全	二	三〇三	六	七
十八日	三二〇三半	一三六五二半	北八〇東	五	北六三東	二	東南東	一	三〇二	六	七

十九日	三二二半	一六四	北二九東	二	北二九東	二	無風	三〇三	六	六
二十日	四二六	一五七	南五五東	八	東	二	北東	三〇三	六	六
二十一日	四〇二	一三七	全	二	南四二東	二	北	三〇三	六	六
二十二日	五二半	一三〇六	南六〇東	一〇	南四五東	二	北北	三〇三	六	六
二十三日	三六八	一三〇三	南五六東	七	南四三東	二	南微西	三〇三	六	六
二十四日	六七	一三三	南六六東	七	南六六東	二	不	三〇三	六	六
二十五日	六三	一三〇三	南七七東	三	南八二東	二	南	三〇三	六	六
二十六日	六三	一三〇三	南八六東	二	北三一東	二	北東微東	三〇三	六	六
二十七日	七九	一三七九半	南五四東	五	南一五東	二	北微北	三〇三	六	六
二十八日	六三	一三三	南四八東	一	南一六四	二	北微西	三〇三	六	六
二十九日	三三半	一三三三半	南六一東	一六	南三〇西	二	北微北	三〇三	六	六
三十日	三三	一九四半	南五九東	一	不	二	西微北	三〇三	六	六
三十一日	「サンデイエゴ」	不	定	一	不	二	南	三〇三	六	六

「サンデイエゴ」港碇泊日誌

八月三十一日 土曜 午前九時五十分入港ス但シ水先人モリス氏港口ヨリ乗船指揮ヲ取レリ
 檢疫官來船ノ上乘員ノ健康状態ヲ質シテ船ヲ去ルヤ是ヨリ先キ小蒸汽艇ヲ以テ港口ニ本船ヲ迎ヘシ當地
 日本人會有志者ハ直ニ慰問歡迎ノ爲メ來船セリ
 午後一時當港碇泊中ノ米國水雷艇隊司令官ノ公式訪問ニ接ス午後二時專任教官ハ船長ヲ代表シテ同艇隊
 ヲ訪ヒ其厚意ヲ謝ス更ニ當地官憲ヲ公式訪問ノ豫定ナリシモ恰モ土曜日ニシテ各官衙午後閉止ニ付之レ

ヲ見合ハス尙引續キ三日間當地休業日ニ付九月四日ヲ以テ訪問日ト定ム
 本日ノ水先料百十弗七十三仙但吃水一呎毎ニ三弗及噸數一噸毎ニ三仙

九月一日 日曜 午前九時總員上甲板ニ整列ヲ命シ當度 先帝陛下崩御ノ爲メ校長ヨリ乗員一般ニ對ス
 ル訓示アリシヲ以テ之レヲ公表説明シテ一般ノ注意謹慎ヲ命セリ
 佐々木船長急病ニテ當地「アグニュー」病院ニ入院ス醫師診斷ノ結果生命ニハ別條ナキモ靜養ノ必要アリ
 トノ事ニ付一方本校ニ宛テ、其情狀ヲ報告スルト共ニ直チニ代人ノ派遣方ヲ請求セリ而シテ病院ニハ士
 官二名宛交代シテ看護ニ從事スルコトニ定ム

本日は留日本人ヨリ本船慰問トシテ左ノ通り寄贈品ヲ受ク
 寫 眞 帳 百八十五冊 繪 葉 書 千九百四十枚
 アイス、クリーム 十ギヤロン 桃 二 箱
 ナ、 四クレイフ 林 檜 三 箱
 野 菜 若 干 蜜 柑 二 箱

尙ホ當地沿岸漁業組合ハ鮮魚三十六尾ヲ寄贈セリ
 本日學生兩舷交代ヲ以テ上陸散步ヲ許ス
 九月二日 月曜 午前九時ヨリ午後四時迄内外人ノ船内縦覽ヲ許可シタルニ無慮一千人ノ來觀者アリテ船
 内稍々混雜ヲ生シタルモ學生一々警戒案内ノ配置ニ就キシヲ以テ彼等ニ充分ノ満足ヲ與ヘタルモノ、如
 シ

本日モ學生交代ヲ以テ上陸散步ヲ許ス
 九月三日 火曜 專任教官ハ船長ヲ代表シテ當地日本人會ヲ訪問シテ入港以來ノ好意ヲ謝ス
 内外人ノ來觀者定刻ニ於テ多數ニシテ前日ニ讓ラス「ラジャヨガ」學校ニ在學セル少年「ステーション」

「鐵雄」ヨリ本船士官宛ニテ美麗ナル生花ノ寄贈アリ又在留者田中純八氏ヨリ花籠及果實一箱ノ寄贈ヲ受ク

九月四日 水曜 午前九時ヨリ專任教官ハ當地市役所、税關移民局、商業會議所ヲ公式訪問ス 學生休養

九月五日 木曜 學生半舷上陸散步ヲ許ス 船長親戚ニテ加州在留者宇都宮氏外二名來着佐々木船長病氣ニ付萬般ノ打合せ相談ヲナセリ病氣ノ經過漸次良好ナリ

「ボイントローマ」ニ於ケル「ラジャヨガ」學校ヨリ聖書其他宗教雜誌數十部ノ寄贈アリ

本日專任教官ハ同校ヲ訪ヒ諸種ノ厚意ヲ謝ス

前田一等機關士ハ夕刻ヨリ今回歐洲漫遊ノ途ニアル代議士竹越與三郎氏來着ニ付出迎ノ爲メ停車場ニ赴キ親シク同氏ヲ迎ヘリ

午後九時羅府日本人會長湯淺氏外數名本船歡迎ノ爲メ來船セラレ

九月六日 金曜 午後二時半竹越代議士來船ノ上學生食堂ニ於テ學生ニ一場ノ挨拶ヲナシ 先帝陛下ノ御高德ニ就キ誠心謹演セラレ頗ル聽衆ヲシテ感佩恐懼セシム

九月七日 土曜 午後三時當市長ゼームス、エドワードハム氏外商業會議所長、移民局長等數名公式訪問トシテ來船セリ學生ハ舷門ニ整列シテ之ヲ送迎ス

九月八日 日曜 午前九時三等運轉士山田寅次郎當地「ブレスビテリヤン」教會ニ參會センガ爲メ學生ヲ引率シテ上陸セシニ除中急劇症ニテ卒倒シ一時苦惱ヲ訴ヘシカ間モナク人事不省ニ陥リシヲ以テ之レヲ「アグニユー」病院ニ送りシニ醫師ノ手當モ効ナク終ニ午後二時半死亡セリ依テ直ニ之レヲ本校及郷里ニ電報シテ葬儀會社ニ其遺骸ヲ渡シ之レヲ羅府ニ送り火葬ニ付シ其遺骨ヲ遺族ニ送附スルコトニ決定ス爾

來兩度ノ出來事ニ際シ在留者ノ厚意周旋實ニ厚シ

九月九日 月曜 正午ヨリ職員學生總員及下級船員代表者ハ正裝シテ隊伍ヲ整ヘ肅々トシテ葬儀會社ニ到着シ茲ニ同社廣間ニ於テ靈棺拜禮式ヲ行ヒ一般在留民ノ參列亦多數ニシテ柴田牧師ノ演說平原一等運轉士ノ追悼ノ辭アリテ直チニ之レヲ停車場ニ送り全員亦之レニ隨ヒ其發車ヲ見送レリ

遺骸ニ隨從シテ機關長及專任教官ハ羅府ニ赴ケリ

九月十日 火曜 故山田三等運轉士ノ遺骸ヲ羅府火葬場ニ送り續イテ火葬ニ付ス

泉田佛敎開教師ノ讀經アリ羅府在留ノ主ナル人々皆參會シ日本人會ヨリハ美麗ナル花環ヲ贈ラル

九月十一日 水曜 午前九時右遺骨ヲ受領シテ之レヲ今回歸朝ノ羅府在留者タリシ大浦岩太郎氏ニ託シ本校ヘ其送達方ヲ依頼シテ萬事ヲ終結ス

午後兩人ハ同地ニ在留セル故人カ同郷者相會シテ追善會ヲ施行セシニ依リ參會ス

九月十二日 木曜 羅府派遣中ノ機關長及專任教官午後三時歸船シテ委細ヲ復命セリ

九月十三日 金曜 本日ハ畏クモ 先帝陛下御大葬ノ當日ナルヲ以テ乘員一同上甲板ニ參集シテ謹嚴ナル遙拜式ヲ舉行シ終ツテ全員靜肅ニ弔意ヲ表シ奉レリ

平原一等運轉士、三輪醫員ハ當地日本人會ノ催フシニ係ル遙拜式場ニ本船ヲ代表シテ參列セリ 九月十四日ヨリ十五日ニ至ル 奉悼ノ爲メ靜肅ニ休業ス

九月十六日 月曜 職員五名及學生總員ハ隊伍ヲ整ヘ當地高等學校及來ル千九百十五年開催ノ當地博覽會敷地見學ノ爲メ行軍ス

九月十七日 火曜 黃海々戰紀念日ナルヲ以テ休業ス 本日佐々木船長全治退院シテ日本人旅館ニ移轉ス

九月十八日 水曜 本日ヨリ事業學習ヲ開始シテ平常ニ復ス
 九月十九日及同二十日 定時事業學習ニ就キ他ニ記事ナシ
 九月二十一日 土曜 船内洗濯大掃除施行午後休業
 九月二十二日 日曜 休業
 船内縦覽者多シ學生半舷上陸散步ヲ許ス
 九月二十三日 月曜 秋季皇靈祭ニ付休業
 學生半舷上陸ヲ許シ同時ニ今日迄一切下級船員ノ上陸ヲ禁止セシカ多年ノ乘組員ヲ限リ交互上陸散步ヲ許セリ
 本日午後三時佐々木前船長轉地療養ノ爲メ當地出發ニ付各代表者之レヲ停車場ニ送ル
 九月二十四日ヨリ同二十七日ニ至ル
 定時日課ヲ施行シテ記事ナシ
 九月二十八日 土曜 船内大掃除洗濯ヲ行ヒ午後休業
 本夕當地教會白人牧師等數名來船學生食堂ニ於テ説教ヲナセシカ爾來毎土曜日ニ來船セリ彼我ノ交情上頗ル有益ナルカカ如シ
 九月二十九日 日曜 休業
 學生半舷及下級船員交互上陸散步ヲ許可ス
 薄暮學生總員教會説教場ニ參會シ午後九時歸船ス
 九月三十日 月曜 休業
 學生半舷上陸、夜分學生總員教會ニ參列ス
 十月一日ヨリ同四日ニ至ル 定時日課施行

十月五日 土曜 午前洗濯大掃除午後休業
 十月六日 日曜 休業
 參觀人頗ル多シ學生半舷上陸散步ヲ許ス
 十月七日 月曜 休業 學生半舷上陸ス
 十月八日 火曜 日本人會ノ催シニ依リ職員學生總員汽車ニ搭シテ「レークサイド」(湖畔)地方ノ形勝ニ行軍ス終日一同歡ヲ盡シテ歸船セル頃夕方六時ソレヨリ日本人會長中本氏主催ノ晚餐會ニ職員一同參會セリ
 十月九日 水曜 事業學習ヲ施行ス
 十月十日 木曜 小關新船長午後七時來任乗船アリ乗員一同之レヲ上甲板ニ迎フ
 十月十一日 金曜 小關新船長總員ヲ上甲板ニ集メテ新任ノ挨拶及一場ノ訓示アリ午後一時ヨリ船長ハ市長、税關、商業會議所、移民局等ノ官憲ヲ公式訪問ス
 十月十二日 土曜 午前洗濯大掃除執行
 午後一時小關船長ハ在泊中ノ水雷艇隊ヲ訪問セリ
 十月十三日 日曜 參觀者アリ午後三時ヨリ船長、專任教官及英語教官ハ當市長ワードハム氏ノ招待ニ依リ自働車ヲ驅ツテ郊外ヲ散策セリ
 學生半舷上陸ヲ許ス
 十月十四日 月曜 職員一同在留日本人有志者ノ開催セル晚餐會ニ招待セララル
 本日學生ハ出帆諸準備ニ着手セリ
 十月十五日 火曜 學生半舷上陸ヲ許ス
 專任教官ハ當地日本人ノ重ナル向キテ廻禮シテ出帆ノ告別挨拶ヲナセリ

午後六時ヨリ學生食堂ニ於テ羅府佛教會開教師泉田準城氏佛教信仰ノ必要ナル事ヲ説教シ多大ニ感動ヲ與ヘリ

十月十六日 水曜 船長、專任教官ハ當地官憲ヲ告別挨拶トシテ公式訪問セリ尙ホ市長主催ノ午餐會ニ招カル

夕刻ヨリ當地重ナル在留者ヲ船内ニ招待シテ晚餐ヲ共ニシテ在泊中ノ厚意ヲ謝ス
十月十七日 木曜 午前六時拔錨「サンタフェ」棧橋ニ横付ケ清水百七十噸ヲ給水ス
午前十一時半出港ス在留者多數之レヲ港口ニ見送レリ

寄港地「サンデイエゴ」港事情

四年前桑港ヲ訪ヒ三年前第五次航海ニ於テ當港ニ寄リ六ケ月前又僅カニ百哩ヲ距ル「サンビードロ」港ニ入リシ本船ハ北米加州ノ山水トハ甚シク親交深キヲ加ヘ山姿水態自ラ舊知ノ郷タルヲ感セシム況ンヤ此間幾萬ノ在留日本人ノ在ルニ於テヲヤ曩キニ「サンビードロ」港寄港ニ際シテ當加州ノ概要ニ就テハ既ニ記述シ尙又「サンデイエゴ」港ニ就テハ前年ノ報告ニ詳カナルヲ以テ其詳細ヲ省キ茲ニ三年ノ日月ヲ經過セル現今ノ状態ヲ記セン

當市ハ南「カリホルニア」州ノ南端ニシテ北緯三十二度四十二分西經百十七度十三分ニ位シ「サンビードロ」港ト並ヒテ加州灣ニ臨ミ太平洋ノ波ニ洗ハレ後方ニ「シエラネバタ」山脈ノ支系ヲ負ヒテ遠ク「アリゾナ」州ニ達セリ

往昔第十六世紀ノ中頃葡國航海家「ガブリロ」及第十六世紀末ヨリ第十七世紀初メニ於テ「ガスベル」ノ探檢アリテ漸ク發見セラレシ當地方ハ當時歐洲ニ睥睨セシ西班牙旗ヲ飄セシモ程ナク千八百二十二年墨西哥ノ獨立ト共ニ其占領スル所トナリシガ終ニ合衆國人ノ手ニ移リ第十九世紀初葉ヨリ營々トシテ各般ノ事物面

目ヲ改メ其殖産事業ノ發達ハ人ヲシテ生活難ノ何タルヲ解セシメサル富源地ト化シ平和ノ風ハ麗カニ草葉ヲ拂ヘリ彼ノ「ラールドタウン」ニ於テ其敗骸ヲ止メル「スバニツシム」ノミ獨リ當時ノ面影ヲ殘セルノミ試ミニ當地ノ一角「ポイント、ローマ」(海拔四百呎)ノ丘上ニ立タンカ雲烟ノ間ニ長蛇ノ如ク起伏セル墨西哥ノ山河ヲ眺ムヘク嘗テ是レ西班牙ノ銳牙ヲ挫キテ當地一帯ヲ併セシ古ノ獨立軍モ今ヤ微々トシテ南邊ニ蟄在シ強大ナル北米合衆國ノ威壓ヲ受ケツ、アルノ狀天地ノ變遷實ニ極リナシト云フヘシ
「人口」 當地ノ氣候概シテ順良ナルト其生産力ノ著シキト土地ノ廣袤ニ比シテ人口ノ稀薄ナルトハ東部諸州及諸外國人ヲ多ク之レニ誘フノ結果彼ノ羅府ニ於ケル人口増加率ニ劣ラス急速ノ増加ヲ呈シツ、アルノ狀左ノ如シ

一九〇〇年 人口 一萬七千人 一九〇五年 人口 二萬二千五百人

一九一〇年 同 三萬九千七百人 一九一二年 同 六 萬 人

即チ最初ノ五年間ニ於テハ五千五百人ヲ次キノ五年間ニハ一萬七千二百人ヲ最近ニケ年間ニハ實ニ二萬〇三百人ヲ増加セルナリ斯ノ如キ著シキ人口ノ増加ハ多ク世界ニ其比ヲ求ムル能ハサルヘク而モ尙ホ加州一帯地方ニ於ケル生産事業ノ要求ヲ充サスト云フ、人多ク市街ニ集合シ邊邊ノ生産地ニ進マス從テ田舎地方ニ於テハ人口増加スルナク勞力ハ益々不足ヲ訴フト云フ當市街ニ於ケル在留日本人ノ數ハ約二百人ナルヘク此近在ナル田舎ニテ約三百人ヲ算スヘシ傳ヘテ曰ク「サンデイエゴ」ニ日本人ニシテ始メテ渡來セシハ伊達政宗ノ家臣ニシテ支倉六右衛門ノ一行羅馬ニ使スルノ途次茲ニ立寄リシモノ、如ク恰モ千六百十年ノ交ニシテ我カ徳川家康大ニ新西班牙(今ノ墨西哥)トノ通商ヲ鼓吹セシ當時ナリ恰モ彼ノ葡國航海家「ビスカイノ」ノ當「サンデイエゴ」地方探檢ヲ行ヒタル後ナレハ漸次當地及新西班牙ヲ經テ歐洲ニ渡航シタルモノナルヘシ現ニ當地ヨリ程遠カラス所ニ「エルカホン」ト呼フ所アリ一ツノ草苔淋シキ墓碑ノアルアリ六右衛門ノ隨員ニシテ斃レタルモノナリト傳フ墨西哥ニ於ケル「タバスカン」地方ニ至レハ日本同様ノ風俗習慣ノ

存スルアリテ家ノ建テ方、門ノ造リ方及ヒ日輪ヲ拜ミテ拍手ヲナスカ如キ又同國「コロンビヤ」ノ首府「ホコダ」ニハ純然タル日本人種ノ存在アリテ嘗テ觀世音菩薩ノ像ヲ掘リ出シタリト云フ、コハ決シテ墨西哥ニ存在スヘキモノニアラスシテ日本傳來ノモノタルヤ言ヲ俟タス是レ徳川家康ノ通商以來我國トノ交通貿易盛ナリシ所ナレハサモアル可シ

「氣候」終年多ク變ラズ實ニ温良ナル氣候ナリト市人ハ誇ルト雖トモ來遊者ハ決シテ其言ノ如クアラサルコトヲ感スヘシ殊ニ夏期ニ於テ日中暑熱ノ酷烈ナルコト百度ヲ超ユルコト數々ニシテ炎天人目ヲ眩シ殊ニ市内郊外何處ニ行クモ綠蔭ノ存在スルナク見渡ス限リ赤土ノ連續帶ニシテ而モ雨量一滴ヲ見サルハ殆ント殺風景ト云フノ外ナカルヘシ而シテ夜分ハ氣温急下シテ寒冷トナルヲ常トス只日本ノ夏季ニ比シテ蒸シ暑キノ感ナキハ淡白ナル暑氣トモ謂フヘキカ在留者ハ言フ在留久シキニ渡リテ始メテ氣候ノ良好ヲ知ルト現ニ彼等市人ニシテ中等以下ノ人々ハ夏冬ノ服裝ヲ別ニセス如何ナル炎天ノ日中ト雖トモ厚苦シキ冬着ヲ被リテ平然タリ又白色服ノ如キハ婦人ヲ除キテハ又見ル能ハサル可シ此點ノミニテモ下級人民ニ取リテハ有力ナル得點ナルヘク即チ一枚ノ上衣袴ヲ有スレハ終年又終年事ヲ缺カスト云フ

千八百七十一年來ノ統計ニ依ルニ最高温度百〇一度ニシテ平均セシモノニ依レハ四、五、六、七、八、九月 六十四度右ニ依レハ氣候多ク温暖ナルカ如ク大嵐ノ襲來ノ如キ嘗テアルコトナク從テ田舎地方ノ建築物等ニ於テモ兒戲ノ如キ小木材ヲ集メテ之レヲ成セル等衣ニモ住ニモ多ク苦マサルコトヲ察知スヘシ
港灣ノ設備等モ頗ル簡單粗略ノモノニシテ嘗テ損害ヲ起セシコトナシト云フ降雨期ハ「サンビードロ」地方ト同シク十二月一月二月三月ニシテ他ハ決シテ雨ナク大氣頗ル乾燥シ呼吸器病患者ニ適スト云フ流行風ハ偏北西又ハ偏南トス、氣温ノ日差ハ夏季ニ多クシテ冬季ニ少キヲ原則トスルニモ係ラス「サンデイエゴ」ニ於テハ全然反對ニシテ冬季ニ於テ日差多キヲ見ルハ特例ナリト謂ハサルヘカラス即チ六月ノ平均日差九度四ニシテ一月ハ一三度六ナルヲ見ル、注意スヘキ事項ト考フ(トイマスラッセル氏 氣象學ニヨル)

「市内設備」先年寄港當時ヨリハ市街ノ面目大ニ昂リ大ナル建築物ノ増加ノ如キハ一見頗ル其進歩ヲ窺フニ足レリ道路ノ如キ市内ハ勿論近郊ニ至ル迄美シキ舗石道ヲ以テシ電車ノ通路七十哩ニシテ交通不便ヲ感セス遊覽ノ設備トシテ劇場ノ新築アリ又公園ノ大ナルモノニ三年内ニ成ルヘク、稱シテ「バルボア」公園ト云フ旅館ノ如キモ多額ノ金額ヲ以テ成レル「グラランドホテル」(グラランド將軍ノ孫ニ當ル人ノ設計)ノ如キ其他二十有餘ノ旅館アリ「コロナド」島ノ「コロナドホテル」モ先年ノ趣キヲ改メ益々繁榮ヲ競ヒツ、ケリ電話ハ二様アリテ一萬一千八百人ノ使用契約者アリ其他寺院、病院、圖書館(四萬五千卷ヲ有ス)等アリ醫師ノ治療費ノ如キ日本ニ比較シテ五倍乃至七倍ニシテ在留日本人ノ如キハ最モ病氣ノ際困難スト云フ市街ノ諸店舗ノ如キモ種々ノ様式ヲ以テ之レヲ裝飾シ現ニ加州第三ノ「デパートメントストア」アリ人口ノ増加ハ市街ノ擴張トナリ三年前ノ田舎ヲシキ風態ハ失セテ新都府ノ形態ヲ示セリ
官衙トシテハ市役所、裁判所、移民局、税關、氣象臺、商業會議所及高等學校、師範學校、小學校並ニ飛行機練習所等アリ

瓦斯管三十九哩水管二百六十五哩ヲ備ヘ就中水ノ供給ニ付テハ此地方一帶ノ苦慮セル所ニシテ彼ノ羅府ニ於ケル「ラーエン」河水道工事ニ苦辛セルト同様ニシテ終ニ數年前之レヲ落成セルモノナルカ其水源ハ市街ヲ距ル東方六十哩ノ處ニ求メ水質極メテ純良ニシテ優ニ五十萬人ニ支給スルニ足ルト云フ家庭用水ハ一千「ガロン」八仙乃至十仙ニシテ船用トシテ棧橋ニ於テ給水スル時ハ一噸約七仙ニシテ棧橋使用料一日七弗七十八仙若シ給水船ニテ船側ニ於テ給水セハ一噸約七十五仙タリ
消防機關八ヶ所ニ消防局ヲ置キ各局六十三人ノ消防夫及ヒ三十三頭ノ馬匹ヲ使用シ自動車ヲ以テ急ニ備ヘツ、アリ一ヶ年ノ費額六萬圓ナリ元來當地ハ頗ル火災ノ頻繁ナル所ニシテ碇泊中殆ント毎日火災アリ其都度高音ナル汽笛ヲ以テ長聲數度之レヲ市民ニ報シツ、アリ
「産物」寶石類(近傍ニ小礫山アリ主トシテ水晶ノ類、赤及白瑪瑙、綠玉等)「ラリーブス」「レモン」「蜜柑

類、林檎、蜂蜜、「ラリーブ」油、鐘詰、果物、葡萄酒等尙ホ現今ノ諸糧食品ノ市價ヲ舉クレハ左ノ如シ

品名	數量	價格	品名	數量	價格
コンビーフ及ビーフ	一打	三弗四十仙	薩摩	一斤	一仙半
白砂糖	百斤	五弗六十五仙	馬鈴薯	一斤	二仙乃至二仙半
赤砂糖	百斤	五弗五十五仙	鶏卵	一打	二仙半
麥粉	百斤	二弗四十五仙	牛肉	一斤	十三仙乃至十八仙
蜜柑	一箱	三弗乃至三弗五十仙	鶏肉	一斤	二十仙乃至三十仙
東瓜	一斤	二仙半	豬肉	一斤	三十五仙
玉葱	一斤	一仙半	バナタ	一斤	三十五仙

「商業」(以下ノ統計ハ悉ク一九一一年ニ依レリ)
 桑港以南ニ於テハ加州中第二位ニアル商業地ニシテ銀行取引高八千六百七十二萬五千弗ニシテ銀行預金高千八百萬弗ナリ茲ニ注目スヘキ加州全部ニ渡リテ銀行預金高ニ於テ支那人預金ノ多額ニ上リツ、アル事實ニシテ偉大ナル潛勢力ヲ有スルモノナリ假令黃色人ノ排斥ヲ唱フルニ於テモ到底支那人ヲ根底ヨリ當州ヨリ斥クルコトハ不可能事ニシテ一朝彼等ニシテ連袂遠ク他國ニ去ランカ加州ノ銀行財政界モ頗ル動搖ヲ免レスト云フ此點ニ於テハ在留日本人ノ最モ不得意トスル所ニシテ殊ニ彼等ノ間ニハ一致共同ニテ多額ノ金員ヲ出資シ一事業ヲナス等ノ事ハ望ムヘカラサルコトニ屬シ個々別々ノ行動ヲ探レルハ移民者ノ缺點ニ

ハ在ラサルカ支那人ノ如キハ最モ此點ニ優越セルノ結果ト云ハサルヘカラス
 海上ヨリノ輸入高千二百五十萬弗鐵道ニ依ルモノ千〇三十萬弗ニ達シ桑港ノ三千二百五十萬弗ニ及ハサルノミニテ「シャトル」ノ四百五十萬弗、羅府ノ百萬弗「タコマ」「ボートランド」ノ五十萬弗ニ比スレハ遙カニ之レヲ凌クト云フヘク海陸輸入額ニシテ當市ノ倉庫ヲ通過スルモノ即チ二千二百七十萬弗ニシテ一ヶ月殆ント二百萬弗ニ達スル割合トナレリ
 物産額一ヶ年一千三百四十萬弗ヲ算シ内近郊ノ農園果樹園ヨリスルモノ九百萬弗他ノ四百四十萬弗ハ尙當市内ノ製造場ヨリスルモノナリ
 主ナル輸入品ハ絹布、天鵝絨、綿布、陶器、藥品等ニテ日本ハ其量額ニ於テ第四位ニアリ
 「交通」當市ニ於ケル鐵道三線アリテ「サンタフ井」線ハ羅府ヨリ來リ(羅府ハ百哩餘急行列車ハ三時間ヲ以テ達ス)「クヤマカイースタン」線ハ市内ヨリ起リテ「エルカホン」平原ニ達シ「サンデイエゴ」サザン線ハ當市ヨリ起リテ墨西哥「エンセナダ」ニ達ス(全國境マテ十八哩、五十分間ニシテ達ス)尙ホ此地ニ「サンデイエゴ」アリゾナ」鐵道ト稱スルアリテ千九百九年工ヲ起シ千九百十三年竣工(覺東ナシ)ヲ豫定セルモノニシテ其落成ハ當市ノ將來ニ大ナル影響ヲ與フルモノニシテ此處トノ直接交通開ケンカ距離ノ上ヨリスレハ桑港ニ比シテ當市ハ東部諸州商業中心點ヨリ約三百哩ヲ、中央部棉花產出地ヨリ五百哩ヲ節減スヘク「バナマ」運河開通ト共ニ至大ノ交通機關トナルヘシ該鐵道ハ當市富豪「スプレックル」ノ大部分負擔設計セルモノニテ其傾斜極メテ少ナク殆ント平野ヲ走ルモノニシテ一、四「バートセント」ノ傾斜地ナキニアラサルモ平均スル時ハ〇、四乃至〇、九「バートセント」ニ過キスト云フ
 當市ヨリ羅府へ毎日八回桑港ニ毎日二回ノ鐵道便アリ以上ノ外「サンデイエゴ」バシフィック、ピーチ、アンド、ラホヤ」鐵道線アリテ地方近郊ノ交通ニ供ヘリ
 海上ニ於テハ目下定期線トシテ「バシフィック、ナビグーション」會社「バシフィック、コースト」汽船會社、

北太平洋汽船會社ノ三會社アリテ三千噸乃至五千噸ノ船舶ヲ以テ桑港及墨西哥ノ間ニ通ヒ居レリ此ノ他墨西哥汽船會社「アメリカ、ハワイ」汽船會社ノ來航スルアリ尙ホ沿岸航行船、材木船ノ寄港アリ然レトモ目下ノ處汽船ノ頻繁ヲ告クルニ至ルコトナク實ニ寂寞ノ狀「サンビードロ」港ト同ジ

「バナマ、カリホルニヤ博覽會」「バナマ」運河開通ト共ニ加州沿岸ニ於テ博覽會開設ノ事ニ定マリシカ其開設地ノ選定ニ就テハ三ヶ所ノ競争アリキ即チ桑港、羅府、「サンデイエゴ」トナス然ルニ終ニ桑港ノ勝利ニ歸セシカ當市ニ於テハ飽クマテ最初ノ志ヲ翻サス終ニ「バナマ、カリホルニヤ」博覽會ノ開設ヲ決定シテ一九〇九年ヨリ諸種ノ計畫ニ着手シ一九一五年一月一日ヲ以テ開會シ年末ヲ以テ結了スルト云フ而シテ其費額ノ百萬弗ハ諸準備費、百萬弗ハ建築物費、百萬弗ハ應急當座ノ築港費等ニテ彼是レ二年間ニ二百萬弗ヲ投セリ即チ建築物ノ裝飾、市街ノ整理等ニ宛テシモノナルヘシ今後尙ホ二百萬弗ヲ要スヘク D. C. Collinsヲ以テ會長トセリ

加州政廳ヨリハ二十五萬弗ヲ補佐シ尙ホ必要ニ應シテ支出スヘシト云フ同會委員ノ言フ所ニ依レハ同年五月ヨリ十月迄開催サルヘキ彼ノ桑港博覽會ニ對シテ一見競争ノ觀アリト雖トモ決シテ然ル意ノ存スルモノニアラスシテ世界互市ノ利益増進ノ爲メニ技術的及學術的方面ヲ裨益スル目的ニシテ桑港ノ主トシテ商業方面ヲ目的トセルモノトハ自ラ別種タリト稱スレトモ事實ニ於テハ勿論競争ノ然ラシムルヲ免レサルナリ

目下當市ノ東北方ニ於ケル近郊ニ一千四百「エーカー」ノ地ヲトシテ之レニ着手シ一九一四年一月一日迄ニ悉皆建築物ヲ建テ終リ殘餘ノ一ヶ年ヲ以テ地面庭園ノ整理裝飾等ニ費ヤサルヘク現今計畫ニ依リ建築中ノモノハ行政館、入口ニ設ケラルヘキ紀念圓頂塔、加州館トス總テノ建築法及裝飾ノ様子ハ舊西班牙式ヲ用フヘク農園館、園藝館モ特ニ工事ニ着手中ナリ目下ノ所、當博覽會ヲ補佐出品スヘキ方面ハ合衆國西南部墨西哥國其他ノ中米國南米諸邦等トス換言スレハ南北亞米利加州ニ於ケル諸人種ノ世界的集合場トモ解ス

ヘシ又日本政府ノ出品ヲモ頗ル希望スルモノ、如シ

「築港」 曩キニ「サンビードロ」大築港ヲ見シ我等ハ更ニ百哩ヲ距テシ當「サンデイエゴ」港ニ於テモ築港計畫ニ着手セルノ模様アルヲ見ル勿論巴奈馬運河ノ開通ヲ豫期シテ世界ノ商品ヲ集散セントスルモノニ外ナラサレトモ其位置港灣ノ品等設備規模ノ程度及生産上ノ地位等ヨリシテ到底「サンビードロ」港ニ及フヘクモアラサレトモ、去リトテ今日ノ儘ニ放置シ置カハ現狀ヲ維持スルタニ難キコトニ立チ到ルヘク自然ノ必要ニ迫ラレシモノナルヘシ

當港ハ北部ニ海拔四百尺ノ「ポイントローマ」丘陵ノ突出アリテ流行風タル偏北風ヲ防キ南西面ハ「コロナド」ニヨリテ遮ラレ夏期ニ於ケル偏南ノ風波ヲ防クヘク一個ノ小地形ヲナセル港灣ニシテ港口實ニ狹隘ニシテ殊ニ砂洲多ク決シテ出入ノ便利ヲ有セス港口ヨリ奥行キ十六哩アリ全面積二十二平方哩ヲ有セリ從テ潮ノ昇降ニ際シテ著シキ流レヲ起シ碇泊船ノ數ニシテ多數ヲ占ムルハ甚タ困難ナルノミナラス諸種ノ設備モ到底充分ナルハ望ムヘカラス潮時昇降ノ差六呎タリ底質細砂泥ヲ交ユ

爾來當港灣ハ加州政廳ノ支配下ニ在リシカ當度請願ニヨリテ全然當市有ニ歸シタルヲ以テ市廳ハ直チニ市債二百萬弗ヲ募集シタルニ賛成者七千二百人ニ對シテ不賛成者百八十三人ヲ以テ可決シ益々奮發シテ築港ノ舉ニ出テシト云フ先ツ海底ヲ浚深シテ碇泊地ヲ三十六呎ヨリ六十呎（勿論港口ノ深サニシテ碇泊地ニ在ラス）ニ成スヘク目下ハ二十六呎ヨリ九十六呎（港口ヲ云フ）ノ深サヲ有ス最奥部ハ二十呎ヨリ二十五呎ノ水深ヲ有セリ

當灣ニハ河流ノ流レ込ミナキヲ以テ毎年浚深スルノ必要ナキハ最モ好都合ナルヘシ碇泊地トシテハ幅千五百呎ヨリ二千四百呎ニシテ七哩ノ奥行ヲ有スルモノトナシ水深ハ三十六呎ヨリ四十呎位ノ水深トナスヘク陸岸ニ接シテハ一千呎ノ長サヲ有スル棧橋ヲ四十個建設シテ其水深ヲ三十五呎タラシメントスト云フ而シテ繫船岸ノ全延長二萬二千呎トナルヘシ而シテ一千「エーカー」ハ倉庫敷地、五百「エーカー」ハ倉庫事務用

敷地ニ充ツヘク全部ノ計畫ヲ終ルニハ六百萬弗ヲ要シ十ヶ年ノ歲月ヲ費スト云フ
石炭貯藏所ニ於ケル石炭ハ「ナナイモ」炭ニシテ一噸八弗五十仙トス
棧橋人足賃一人一時間三十五仙乃至四十五仙

「マリン、レールウエー、ドライドック」會社ノ所有セル船架アリ

全長 八百五十呎 「グレールド」ノ長サ 百八十呎

高潮時ニ於ケル「キール、ブルック」ノ吃水 前八呎 後十五呎六吋

揚載力 六百噸

以上

「サンデイエゴ」港出帆ノ現狀

職員 十二名 但山田三等運轉士病死、佐々木船長下船、小關新船長就任

學生 百二十五名

備人 四十四名

計 百八十一名

吃水 前部 十六呎六吋

吃水 後部 十九呎十吋

吃水 平均 十八呎二吋

排水量 三呎四吋

「メタセンター」ノ高サ 三千八百九噸

三呎六吋

飲料水 百噸

但シ以下壓艙水函ニ清水ヲ充タシアルヲ以テ之レヲ補フコトヲ得

壓艙水函

「フォアービークタンク」 一噸

第一「バラストタンク」 九三噸

第二同 一〇八噸

「エンジンタンク」 五〇噸

「ボイラータンク」 二二噸六

第一「アフターデイープタンク」 一四四噸八

第二同 七一噸

「アフタービークタンク」 一七噸三

計 五百六噸七

石炭

石炭庫内 三〇噸

補充石炭庫内 二五〇噸

計 二百八十噸

糧食 百二十七噸八

自北米「サルデイエゴ」港至「セントヘレナ」島「ゼームスタウン」港

十月十七日 出港

暑氣甚シ午前六時水先人モリス氏來船セシヲ以テ錨ヲ拔キテ「ザンタフ井」棧橋ニ繫留シ給水ニ着手セリ同十一時清水百七十噸(噸約七仙ニシテ水質佳良ナリ)棧橋料二分七弗七十八仙ヲ支拂フヲ搭載シ終ルヤ直チニ出港ス水先料入港時ト同額ヲ支拂フ、船ノ棧橋ヲ離ル、ヤ多數ノ内外人ハ茲ニ群集シテ帽子白巾ヲ振ツテ出帆ヲ送り碇泊中ノ諸艦船ハ信號旗ヲ掲ゲ、或ハ汽笛ヲ吹鳴シテ之レヲ祝セリ在留日本人有志者ハ一隻ノ小蒸汽艇ヲ離シテ遠ク港口ニ送り來リ彼我相應シテ別ヲ惜メリ同時ニ水先人ヲ下ロシ港口浮標(北緯三十二度三十七分 西經百十七度四十四分)ノ東一鍵ニ於テ針路ヲ西南(真針路)ニ定ム蓋シ大陸沿岸流行風タル北西風ヲ利用シテ能ク限リ早ク陸岸ヲ離レ西經約百三十度北緯二十七度ノ地點迄進ミ能クヘクンハ尙ホ西方ニ出テ、北東恒風ノ強部ヲ捕ヘテ少シク東偏シツ、南下シ北緯七八度ニ於テ之レヲ失ヒ變風帶ニ於テハ不規則ナル風向ヲ利用シテ更ニ南航シ漸次ニ南東恒風帶ニ接近シテ偏南東風ヲ左舷一杯ニ受ケテ赤道ヲ西經百二十度乃至百二十五度ノ間ニ於テ航過シ低叢島ノ東方ヲ南東風ニ駕シテ南下スルノ豫定ナリキ

出港後炎暑甚シク僅カニ北西ノ軟風アリ午後五時(北緯三十二度十八分 西經百十七度四十分)ノ地點ニ於テ汽走ヲ止メ總帆ヲ展シテ帆走ニ移リシモ風力尙ホ微弱ニシテ日没後ハ殆ント無風トナレリ

十月十八日 正午位置(北緯 三十二度二十五分 西經 百十七度五十四分)

天氣晴朗ニシテ風波ナク操舵ニ堪ヘス午後ニ至リ偏西南ノ軟風アリシモ永續セス又日没後偏南風ヲ生セシモ須臾ニシテ風ク船ハ只海流ノ影響ヲ受クルノミニシテ殆ント進マス羅府日本人會ヨリ本船乘員ニ宛テタル左ノ無線電信ヲ受領ス

「切ニ乘員諸君ノ安航ヲ祈ル」直ニ返電シテ厚意ヲ謝セリ本日ヨリ日課ヲ開始ス氣温平均六十五度

十月十九日 正午位置(北緯 三十二度四十一分 西經 百十七度五十九分)

船尙ホ「カリホルニヤ」灣内ニ漂ヘリ終日曇天ニシテ無風ナリ只夕僅カニ不規則ナル長浪ヲ感スルノミ氣温漸次下降シテ清涼ヲ覺ユ

船内大掃除及洗濯ヲ執行ス其先キ火災操練ヲ行ヒ船長ハ之レニ對シテ講評及訓戒ヲ與フ

船進マサルモ北流スル海流ノ一派ハ影響シテ船ヲ北方ニ壓流セリ日没後西南西ノ和風至リ右舷一杯開キヲ以テ航走シ速力三哩半ヲ得ルニ至ル

十月二十日 正午位置(北緯 三十一度四十二分 西經 百十八度三十六分)

夜來ノ偏西風ハ漸次北西風ト變シ風力モ増加シテ四トナリ速力五哩乃至六哩ヲ得テ右舷一杯開キヲ以テ豫定針路ニ向ツテ航走セリ風位風力幾分ノ變轉アリト雖トモ概シテ一定シ波浪亦稍々之レニ伴ヒテ高ク薄暮諸輕帆ヲ疊收シテ夜間ニ備フ船體ノ動搖漸ク繁シ氣温下リテ冷氣日ニ増ス概ネ曇天ニシテ夜分ハ折々明月ヲ雲間ニ認ム乘員ノ元氣頗ル旺盛ナリ

十月二十一日 正午位置(北緯 二十九度三十六分 西經 百二十度二十二分) 及二十二日 正午位置(北緯 二十八度十一分 西經 百二十二度二十二分)

終日曇天ニシテ波稍々高ク波頂白シ偏北西ノ長浪アリテ船體ノ動搖繁シ風力強盛ナレトモ折々強弱ノ變化アリ又風位ノ變轉ヲ見ルト雖トモ概シテ北西ニ一定シ平均五哩半乃至六哩ヲ得タリ常ニ針路(西南真針路)ニ向ツテ航走スルコトヲ得晴雨計示度二九吋九六ニシテ日差正シク氣温最高六十三度最低五十九度ニシテ稍々冷涼ナリ海温平均六十三度ナルカ「サンデイエゴ」出帆後加州灣ヲ出ツルニ從ヒ此ノ如ク海温ノ低下ト共ニ流向常ニ偏西南ニシテ多大ノ流程ヲ見ルヲ常トスルカ是レ加州沿岸ヲ南方ニ洗フ寒流ノ流域タレハナリ夜分ハ月光暗雲ノ間ヨリ洩ル

十月二十三日ヨリ二十五日ニ至ル

多クハ曇天ニシテ日光ヲ洩ラサ、リシカ二十四日頃ヨリ雲モ去リ青空ヲ示シ日光輝ケリ偏北ノ風モ漸次偏東北風トナリシモ力漸次衰へ僅カニ之レヲ左舷船尾ニ受ケテ南微西(真針路)ニ向ヒ航走セリ一時間三哩乃至四哩ヲ得タリ偏北西ノ長浪アリテ船體ノ動搖激シク二十五日ニ至リテハ風殆ント死シ海面油ノ如クニ平靜ナレトモ長浪ノ弄フ所トナリテ動搖殊ニ激シ二十四日午後五時半ヨリ針路ヲ南南西(真針路)ニ

定メシモ殆ント航走セス二十五日朝來風ナカリシモ正午過キヨリ偏北ノ微風アリ即チ針路ヲ西南微南ニ定メ風ヲ右舷船尾ニ受ク氣温稍々昇リテ六十九度トナリ日中ハ乗員ノ衣服敷布等ヲ甲板ニ乾燥ス晴雨計示度漸ク高マリ來リ三十吋〇三ヲ示スニ至レリ是レ太平洋東部ニ存在スル永久的高氣壓部位ニ接近シ來レルカ爲メトス

海流ハ連日ノ如ク偏南西ニシテ其影響ヲ受クルコト一晝夜十四、五哩ニ及フ又續イテ漸次北赤道海流ノ影響ヲ受クルナルヘク恒風帶區域ノ最東端ニ在ルカ爲カ未タ恒風ラシキモノヲ見ス
十月二十六日 正午位置 (北緯 二十四度 二分 西經 百二十五度 五十四分)

夜來偏東ノ軟風起リシカ漸次吹キ暮リ午八時頃ヨリ風力モ頓ニ増加シ一時間四哩半ニ達ス午四時ヨリ針路ヲ南微西(真針路)ニ定メテ左舷開キトナセリ蓋シ尙ホ西航シテ北東恒風流行區域ニ入り而シテ其風力ヲ利用シテ南下センカ爲メナリ午後ニ及ヒテ其ノ力モ更ニ一層加ハリ波浪又高ク殊ニ夜來北西ノ長浪アリテ船體ヲ翻弄スルコト甚シク午後ニ於テ殊ニ烈シクナリシヲ以テ午後三時更ニ針路ヲ南二分ノ一西(真針路)ニ變更シ風ヲ右舷船尾ニ受ケテ航走セリ此時漸次風位東方ニ遷ルノ様子アリ滿天薄雲ニテ蔽ハレ多ク日光ヲ出サス氣温六十八度ニシテ晴雨計示度三十吋日差ト異狀ナク艦カニ北東恒風帶ニ入り込ミシモノニ外ナラス天氣乾燥シテ日光ヲ見サルモ亦心地好シ本日船内大掃除及總員洗濯ヲ行フ夕方右舷前方ニ一隻ノ三本橋帆船ノ南方ニ航走スルヲ見ル

十月二十七日 正午位置 (北緯 二十一度 十四分 西經 百二十六度 五十分)

前日來ノ風ハ更ニ吹キ暮リ力六ニシテ風位モ北東トナリ波浪高ク北西ノ長浪尙ホアリ曇天ナレトモ颯、雨等ノ襲來ナク大氣ハ乾燥セリ正午天測ノ結果西方ニ約三十哩ノ流程ヲ見タリ是レ北赤道海流ニヨルモノニシテ貿易風ノ強キカ爲メニ流程モ亦從ツテ増加シツ、アルモノ、如シ前夜疊收セシ、「メーンズル」
「クロジヤツキ」ヲ天明後開展シテ總帆ニ強勢ナル恒風ヲ孕ミテ波ヲ蹴ルノ狀實ニ壯觀ヲ極ム平均速力七

哩餘ヲ得タリ漸次晴雨計ノ下降アリ

十月二十八日 正午位置 (北緯 十八度 十四分 西經 百二十六度 五十二分)

前日ノ恒風ハ力強ク依然トシテ吹キ續キ波浪高ク僅カニ風位ノ變轉アリト雖トモ比較的北東ニ一定シ風力六ニシテ毎時七哩乃至七哩半ノ航程ヲ得ルコト前日ト同シ
午前九時ヨリ針路ヲ南二分ノ一東(真針路)ニ變定ス蓋シ風ヲ充分ニ受ケテ速力ヲ得ンカ爲メト一ツハ稍々豫定通りノ恒風帶ニ入りシヲ以テ殊ニ西流スル海流ニ遭遇セル様子アルカ爲メニ少シク針路ヲ折ツテ豫定ノ赤道通過經度點モ達センカ爲メ徐々ニ之レヲ變更セシモノナリ折々青雲ヲ雲間ニ認ムト雖トモ概シテ曇天ニシテ夕方ニハ水平線上ニ亂雲ノ發生アリ時々微弱ナル驟雨ノ襲來アリ日没後ハ諸輕帆ヲ疊收シテ夜間ヲ警戒セリ

元來恒風帶タルヤ多ク天晴レ海上穩カニシテ只僅カニ波頂ノ白キヲ見ル位ニテ強テ強カラス風亦中庸ニシテ所謂心地好キ航海區域ナルモ今次北東恒風帶ニ入りシ以來風力著シク強勢ニシテ滿天暗雲ニ鎖サレ波浪又高ク長浪サヘ訪ヒ來リ一見颯風ノ襲來カト疑ハシムル位ノ天候ナリキ只氣壓ノ昇降日差一定ニシテ著シキ變化ヲ見サルノミ此一帶ニハ珍ラシキモノト云フヘシ尙ホ北米西沿岸ヨリ角岬又ハ南米沿岸ニ達スル帆船ニ取リテハ此ノ赤道通航期迄ヲ最モ航海ノ平和ナル難所ト目セルモノナルカ茲ニ本船ニ於テハ實ニ珍ラシキ風威ニ浴シ總帆ヲ展シテ航走シ良好ナル速力ヲ得シハ實ニ珍重ナリトス
試ミニ本船第五次航海ノ途上此近傍ニ於ケル天候ト比較スルニ其間著シキ相異アルヲ認ム
想フニ恰モ滿月時ニシテ而モ太陽未タ赤道ヲ距ル遠カラサルノ時ニシテ日月共ニ最モ地球ニ對シテ其引力ノ偉大ナル時ナレハ自然大氣モ茲ニ其影響ヲ受ケテ氣壓ノ變動ヲ見從テ大氣ノ動搖ヲ起シ著シキ風ヲ發生スルモノニアラサルカ爾來多ク此兆ヲ實驗スルコト多シ
氣温上昇シテ七十四度トナル

第五次遠洋航海ニ於ケル北東恒風帶天候

月日	緯度	經度	針路	航程	海流向	流速	風向	風力	晴雨計	氣温
九月七日	北度分 二四〇六	西度分 一三三三	南三二四	三	不明	不明	北	三	元九七	六
八日	三三〇七半	二二〇三半	南二一四	三	無	無	北々東	二	元九九	六
九日	三三〇七半	二二〇三九	南五西	三	全	全	北微東	二	元九六	七
十日	三二二五	二二〇四七	四八四	三	北三〇西	五	全	二	元九二	七
十一日	二〇〇四	二二〇一六	南二二東	七	不明	不明	北	三	元八五	七
十二日	一八六六	二二〇二六	南三四東	六	全	全	北微西	二	元八六	七
十三日	一八七七	二二〇三八	南一東	四	全	全	無風	三	元八七	六
十四日	一七三二	二二〇五半	南三五東	六	北七西	四	北東微東	三	元八六	六
十五日	一六〇〇半	二二〇三三	南一三東	五	北七四西	九	北東	四	元八四	六
十六日	一四二四	二二〇二六	南一〇東	六	北八二西	五	北東微北	三	元七六	六
十七日	一三六六半	二二〇〇八	南一二東	六	北七三西	三	北	一	元七三	六
十八日	一三二四	二二〇一〇	南三四	三	不明	不明	無風	一	元八〇	六
十九日	一二四〇	二二〇五半	北四六東	三	全	全	南	一	元八八	六
二十日	一二三九	二二〇七	南八東	四	北七八西	七	北微東	二	元八五	六
二十一日	一二六	二二〇一四	南二一東	六	南四八西	三	全	三	元八〇	六

第八次遠洋航海ニ於ケル北東恒風帶天候

月日	緯度	經度	針路	航程	海流向	流速	風向	風力	晴雨計	氣温
十月二十三日	北度分 二六〇六	西度分 一三三〇	南四九西	二	南四二西	三	北々東	二	元九七	六
二十四日	二五二四	一三二八半	南二八四	七	南五九西	二	北東微東	二	元九八	六
二十五日	二四六六半	一三二六半	南二一四	七	南三一西	三	北	一	元〇四	七
二十六日	二四〇二半	一三二五半	南三九四	七	北八七西	五	全	三	元〇四	七
二十七日	二三二四半	一三二五	南一七四	六	南七四西	元	北東微北	五	元〇三	七
二十八日	一八二四	一三二五	南	八	南八東	五	全	五	元九九	七
二十九日	一五二五	一三二四	南一東	六	西	六	北	四	元九四	七
三十日	一二三二	一三二〇五	南五西	五	南七六西	七	全	四	元八五	六

十月三十日 正午位置 (北緯 十二度二十一分 西經 百二十七度五分)

連日ノ北東恒風ハ依然トシテ吹キ續キ風力五ヲ示シ速力七湮宛ヲ得タリ日没後ヨリ颯ノ發生アリ本日ハ概シテ空晴レシモ氣温頓ニ上昇シテ七十八度ニ達シ船中暑氣甚シ北赤道海流ノ影響ヲ受ケテ西方ニ流程三十七哩ヲ見ルハ蓋シ北東風強勢ナルカ爲メニ自然偏西流モ力ヲ増セシナルヘク此近傍ニ於テハ同海流ノ速度ハ平均一時間一哩位ナルヲ常トス

本日火災操練、乗艇配置、防水部署及「コリージョンマツト」ノ使用法ニ就テ練習ヲ行フ

十月三十一日 正午位置 (北緯 十七度七分 西經 百二十六度五十四分)

朝來豪雨沛然トシテ到リ終日雨天ニシテ蒸シ暑キコト云ハン方ナク風位モ漸次北東ヨリ北及ヒ西ヲ經テ

南西風トナリシヲ以テ右舷一杯開キニテ航走ス氣温八十一度

十一月一日 正午位置 (北緯 九度 西經 百二十五度八分)

本日青天ヲ望ミシモ折々雲ヲ生シ夕刻ヨリ曇天トナリ時々驟雨アリ風位偏南南西ニシテ力二乃至三氣温同様八十一度ヲ示シ濕氣多キ爲メニ暑氣殊ニ著シ本日學生各部及其用室ノ變更ヲ行フ

十一月三日 正午位置 (北緯 八度 西經 百二十四度一分)

風位南ヲ中心トシテ一二點ノ間ヲ吹キ續ク其力折々衰フト雖トモ多クハ四位ノ風力ヲ保チ波稍々アリ二日ハ午前午後兩回上手廻ハシテ行フテ風上ニ逆行セントセシモ到底本船ニ於テハ充分ノ効果ハ望ミ難ク左舷開キヲ以テ西方ニ向ハンカ南太平洋低叢島ノ東方ニ進ムコト不可能トナルヘク右舷開キヲ以テ東方ニ向ハンカ此近傍ニ存在スル西南季候風帶ニ入ルノ恐レアリ依テ終ニ三日午後四時三十八分 (北緯八度四十分 西經百二十四度)ノ地點ニ於テ帆走ヲ止メテ汽走ニ移リ針路ヲ南(真針路)ニ定メテ航走セリ風力三波稍々アリ驟雨交々到リ船内暑氣甚シ

十一月五日 正午位置 (北緯 三度 西經 百二十四度十八分)

本日モ引キ續キ汽走ヲ繼續シタルニ平均速度力六哩半ヲ得ルノミナルモ南西方ニ海流ノ影響ヲ受ケシモノト共ニ漸次船ハ南下スルコトヲ得タルモ風位ハ僅カニ移リテ南南東トナリシノミニテ風力三乃至四從テ波浪モ稍々アリ爾來恒風帶ニ入りシモ天氣不良ニシテ心地好キコト少ナカリシノミナラス蒸シ暑キコトノ著シキト驟雨ノ應接遑ナキコトハ實ニ衛生狀態不良ナリシモ幸ニシテ新患者ノ發生モナク意氣旺盛ヲ保持セリ然ルニ本日ハ一天晴レ渡リ好天氣ト化シ從テ意氣更ニ昂レリ

午後四時 (北緯三度 西經百二十四度十八分)ノ地點ニ於テ汽走ヲ止メテ總帆ヲ展シ南南東ノ和風ヲ左舷一杯ニ受ケテ帆走ス

十一月六日 正午位置 (北緯 一度 西經 百二十五度四十六分)

夜來引キ續キ偏南東ノ疾風アリテ平均五哩半宛ヲ得午前中稍々曇リシモ午後ハ好天氣ニシテ愈々南東恒風帶ノ北界限ニ入りシヲ示セリ船南赤道海流ノ影響ヲ受クルコト二十九哩

靖國神社祭典ニ就キ休業ス

十一月七日 正午位置 (北緯 零度 西經 百二十七度二十一分)

南東恒風ハ稍々力ヲ減セシモ天氣快晴ニシテ吹キ續キ天空海面共ニ靑濛色ヲ呈シ波頂ノミ僅カニ白キヲ見ルノ狀、實ニ壯大ニシテ美シ午後八時三十分西經百二十七度四十五分ノ地點ニ於テ赤道ヲ航過シ南半球ニ入レリ

前年略ホ同一地方ヲ南下セシ第五次航海及當次ニ於ケル北東恒風帶ノ天候表ヲ附加セシカ當回ハ終ニ無風帶ヲ見スシテ直チニ南東恒風帶ニ入りシハ稀レナル事實ニシテ斯ル事ナキニアラサルモ多カラサルモノトナス只兩恒風帶ノ中間三百哩ノ間ハ中米近海ニ起ル偏西南ノ信風遠ク波及シ風強ク波高ク驟風豪雨ノ襲來頻繁ナルト温度ノ上昇温度ノ多量等ハ實ニ不快ノ感ニ堪ヘサラシメス

十一月十一日 正午位置 (南緯 四度 西經 百二十九度五十五分)

赤道通過ノ後ハ天氣一般ニ靜穩平和ニシテ靑空ニ日光ノ輝クヲ常トセリ風向ハ多ク東南東ニシテ之レヲ左舷一杯ニ受ケテ南下セリ風力二ニシテ平均三哩半ヲ得タリ南赤道海流々域ニアリシヲ以テ西方ニ壓流サル、コト多ク概シテ西北西方ノ海流ヲ感セシカ如シ氣温日中ハ七十九度ニシテ朝夕ハ七十四、五度ナルヲ常トセルモ清涼ノ好天氣タリ氣壓ニ異狀ナク驟等ノ發生少ク航海頗ル平和ナリ

十一月十四日 正午位置 (南緯 八度 西經 百三十度四十九分)

引續キ至輕風ノミニシテ平均一晝夜ノ航程六十哩乃至七十哩ニ過キス風位ハ東南東ヨリ東南微東ノ風多ク海面平穩ニシテ靑空ト對シ晝ハ旭光甲板ヲ照ラシ夜ハ群星爛トシテ降ルカ如ク氣壓、氣温著シキ變化ナク船ハ僅カニ其進航ヲ保チ來リシカ本日曉明ヨリ東南東ノ風、力ヲ増シ來リ總帆能ク孕ンテ速度一時

間六哩ヲ示スニ至レリ然レトモ連日海流ノ爲メニ西方ニ壓流サル、コト依然タリ晝間乗員ノ寢具、衣類ヲ乾燥ス騰ノ襲來殆ントナシ

午後六時十五分ヨリ後甲板ニ於テ學生總員ヲ集メテ信號火箭、救命焰及ヒ信號焰管ノ使用法實驗ヲ行フ
十一月十五日 正午位置(南緯 十三度三十一分 西經 百三十三度三十一分)

前日來偏東ノ風ハ午前八時南東方ニ發生セル強盛ナル驟雨ノ襲來ト共ニ風位偏東北東ニ轉シ疾風ト化シタルヲ以テ船ハ左舷一杯開キヲ以テ且ツ幾分速力ヲ得ルニ勉メツ、航走セシカ南南東(眞針路)ニ向フヲ得タリ蓋シ勉メテ南太平洋ニ散在スル珊瑚島ノ風上ニ出ントスルモノナリ

十一月十八日 正午位置(南緯 十五度 七分 西經 百三十三度三十九分)

漸次日ヲ逐ヒ南下スルニ從ヒ南東恒風ハ多ク東方ニ偏シ來リ其力又弱カラス而シテ風位永ク定マラス時々其方向及ヒ風力ヲ變轉セリ波浪敢テ高カラス平均四哩半宛ヲ得折々驟雨ノ襲來ヲ蒙リシト雖トモ強盛ナラス晴雨計平均示度漸次赤道通過以來高マリ來ルヲ見ルト共ニ海流ノ南西方ニ向フモノアルヲ感ス是レ南赤道海流ハ西經百二十五度ノ邊リニテ二分シ其一ツハ依然トシテ西流シ他ハ南西方ニ向フモノアレハナリ終日卷積雲ヲ生シ旭影輝ケリ氣温八十三度ニシテ炎暑強シ

磁氣赤道通過數日前ヨリ頗ニ本船原基羅盤自差ノ少變ヲ見ル殊ニ船首南方ナル時ニ於テ從來ヨリモ偏東自差ノ増加セルヲ認ム蓋シ船體ノ傾斜二、三度ヲ常トセルヲ以テ傾船差ノ爲メナルヘシ
十一月二十日 正午位置(南緯 十七度三十七分 西經 百三十三度三十九分)

數日吹キ續ケシ偏東ノ風ハ十九日曉明ヨリ漸次南方ニ偏シ來リ時ニ衰ヘ時ニ強マリテ驟雨ノ發生アリ殊ニ夜半前後ヨリ曉明ニ於テ多クノ驟雨ヲ生シ二十日ニ於テハ空曇リ層卷雲ヲ生シ船内鬱陶氣温八十度風向東南ニシテ力三乃至四、日沒後ハ臘月ノ帆面ニ映スルヲ見ル
十一月二十一日 正午位置(南緯 十九度 五十一分 西經 百三十三度五十一分)

漸ク船ハ「ツアモツ」群島(土人語ノ「Tanotau 所謂雲在セル多數ノ島ノ意)ノ散在區域ニ近接シ來ルヲ以テ天候モ從テ變化シ易ク驟雨ノ發生應接ニ違アララス風偏西南ニシテ愈々同群島中ノ「アクテオン」(Ateon Ids) 諸島附近ヲ通航スルニ決定セリ

十一月二十二日 正午位置(南緯 二十五度四十分 西經 百三十五度三分)

前日來天氣不良ニシテ日光ヲ洩ラサス驟雨ノ襲來交々アリ正午僅カニ船位ヲ確ムルヲ得タルニ船ハ同群島ヲ距ル北七十度西九十度ノ處ニアリ風位モ一定セサリシカ多クハ偏東ノ和風若クハ疾風ニシテ海流又從テ南西方ニ十數哩ノ速力ヲ有ス蓋シ當地ノ海流タルヤ西方ニ流ル、ヲ常トスレトモ偏西風ノ逞シキ時ニ當テハ東北東方ニ一晝夜約七哩ノ流程ト化スルヲ常トスル由依テ案スルニ目下偏東風ノ頻リナルヨリスレハ必ス海流ノ西方ニ流レツ、アルヤ明カナリ依テ正午ヨリ針路ヲ南四十五度西(眞針路)ニ定メ同群島中ノ「マルテア」島及「テナルンガ」島ノ中間ニ向フコトニ定ム風位偏東ニシテ幸ヒ豫定ノ針路ニ從フコトヲ許シ一時間四哩乃至五哩ヲ得驟雨頻リナルト未明ノ内ニ群島近傍ニ進ムコトノ危險ヲ避ケテ諸輕帆ヲ減收セリ氣温冷涼ト變シテ七十五度トナル午後十一時ヨリ更ニ針路ヲ轉シテ西(眞針路)ニ改メ群島ノ北側五哩ノ點ニ達セントス夜半ヨリ天空時々晴レ雨止ミ風力疾シ見張リヲ嚴ニシ警戒怠ルコトナク航走セリ

該「アクテオン」群島ハ即チ南太平洋中ノ諸叢島ノ一ニシテ「ツアモツ」群島中ノ一部ナリ勿論悉ク珊瑚礁ニシテ頗ル低ク水面上僅カニ數呎ヲ常トシ只僅カニ種々ノ草木ノ叢生ヲ見ルノミニシテ夜間又ハ天氣不良ノ時ニ於テハ最モ識別困難ナルモノナリ

「アリテラン」群島ハ一八三三年「タヒチ」島ノ船舶ニシテ「アンビトライト」號ニ乗組メルトマス、エブル氏ニ依リテ始メテ發見セラレタルモ世間ニ公表セシハ船長ロード、エドワード、ラツセル氏ノ手ニ依リシモノニテ折々船舶ノ通りカ、レルモノナキニアラサルモ其數多カラス只三四ノ報告ノ存在スルノミ

ト云フ而シテ群島ノ數ニ就テモ或ハ三個ナリト云ヒ或ハ四個ナリト云フモ本船ハ二十三日通航ノ際確カニ四小島ノ存在ヲ認メタルハ確實ナリトス中二三島ニハ人畜ノ棲息セルモノアルカ如シ此群島ノ南東方百餘哩ノ所ニ介在スル「マンガレバ」島ハ海拔千三百十五呎ノ高サヲ有シ中ニ錨地及清水アリ島民モ多ク好良ノ目標物タリ諸島ノ間ハ土人ノ小船ニテ交通シツ、アルモノ、如シ漁舟等ヲ見ス

十一月二十三日 正午位置 (南緯 二十一度三十分 西經 百三十六度四十五分)

午前五時既ニ明シ五時三十分豫定ノ如ク左舷前方十餘哩ノ所ニ一ツノ低キ珊瑚島ヲ見ル蓋シ「テナラロ」ガ島タリ漸クニシテ「バハンガ」及「テナラロ」島及左舷真横方ニ當リテ「マツレイ」島ヲ見タリ依テ方位ニ依リ位置ヲ確メ漸次針路ヲ變シテ航走シタリ是レヨリ先キ豫メ汽走ノ準備ヲナセリ蓋シ群島間ハ風向海流不規則ニシテ加フルニ測量不精確ナルカ故ニ、カ、ル箇所ニ於テ風ニ任セテ漂浪ニ任スルハ最モ危險千萬ナルヲ以テ急速ニ通航スルノ必要アレハナリ即チ午前九時四十分總帆ヲ收メテ南緯二十一度十分西經百三十六度四十二分ノ地點ニ於テ汽走ニ移ル同十時四十分終ニ「テナラノ」島(群島ノ最西端ノ島)ヲ東(真方位)ニ望ミ三哩四分ノ一ノ距離ヲ以テ航過セリ而シテ午後五時南緯二十二度十一分西經百三十七度ノ地點ニ於テ汽走ヲ止メ總帆ヲ展シテ帆走ニ移ル風位北東日没前後ヨリ驟雨ノ襲來頻リナルモ幸ニシテ豫定針路南三十九度西(真針路)ニ向テ航走スルコトヲ得タリ速力二哩乃至三哩ノ得

本船ニ於テ實際目撃セル群島ハ三個共ニ殆ント數哩ニ近接シタルカ各々珊瑚島常有ノ鹹湖ヲ有シ島上白砂ニ白波ノ洗フ所椰子樹其他ノ草木之レヲ蔽ヒ實ニ低ク到底夜間其他荒天ノ場合ハ之レヲ認ムル能ハサルヘク此諸島ハ近傍ニ多クノ珊瑚礁堆ノ突出ナキハ明カニシテ只最西端島ノ「テナラロ」島ノミハ北西及北東角ニ其突出アルヘク波浪ノ打上クルヲ見タリ尙ホ本船ノ實測セル結果ニ依レハ英版海圖(一八七二年)記載ノ位置ト幾分異リ居ルヲシク海圖ノ位置ヨリモ何レモ殊ニ「テナラノ」島及「バハンガ」島ハ約三哩位ハ實際南方ニ偏在セルモノト信ス又天測ノ結果「バハンガ」島ノ經度ハ百三十六度三十四分ニシテ

「テナラロ」島ノ緯度ハ右ノ海圖ト略ホ一致セルコトヲ確ム各々見取圖ヲ附シテ之レヲ示ス一ツハ橋上ヨリ見下ロシタルモノ他ハ甲板上ヨリ見タルモノトス要スルニ此近海ノ航海ハ海圖ノ位置ニ信ヲ置キ難シ

十一月二十六日 正午位置 (南緯 二十四度 西經 百三十七度三十四分)

「アクテアル」群島ヲ過リテ南下シテ以來風向一定セス殊ニ時々豪雨沛然トシテ到ルコトアリ又時々颯ノ襲來アリ連日曇天ニシテ船位ヲ確ムル能ハサリシカ二十五日午後五時「アクテアル」ノ南西方百哩ノ所ニアル一個ノ珊瑚島「モラネ」島(頗ル低ク草木ノ叢生ヲ見ル)ヲ左舷真横北北東方ニ於テ幸フシテ橋上ヨリ認ムルコトヲ得テ以來能フ限リ之レニ遠カルコトニ勉メシカ漸次風位モ偏東南ニ定マリ風力モ四乃至五トナリ之レヲ左舷一杯ニ受ケテ西南ニ向テ進航スルコトヲ得タリ蓋シ能フ限リ早ク南下ニ勉メ南緯四十四度ノ邊リニ於ケル強盛ナル偏西風ヲ捕ヘテ東航センカ爲メナリ本日久シ振リノ好天氣ナリシカ冷氣頓ニ加ハリ船内總黑服ニ改ム氣温七十二度卷雲ノ蔓延セルヲ見ル海流不規則ニシテ一定セス

十一月二十七日 正午位置 (南緯 二十五度七分 西經 百三十八度四十分)

午前總員ヲ以テ防火、乗艇操練ヲ行ヒ終テ學生總員ヲ以テ上手廻ハシ二回ヲ行フ舵柄風下ニ一杯ノ時ニ風下ニ於テ一ツノ浮遊物ヲ海中ニ投セシカ愈々八分間ニシテ上手廻ヲ遂行セシ時右浮遊物ハ本船ノ風下遠カラサル所ニ認メタリ即チ上手廻ハシニ於テ船ノ後退多カラサルヲ知ルヘク溺者ノ救助ニ際シテ特ニ益々有効ナルヲ證スルト云フ可シ、偏東南ノ和風ナリ

十二月二日 正午位置 (南緯 三十一度二十一分 西經 百三十九度三十九分)

爾來風位多クハ偏東ニシテ風力三乃至四ニシテ之レヲ左舷一杯ニ受ケテ航走シ勉メテ南下ヲ企テタリシカ漸ク南緯三十度ヲ超ヘシヲ以テ針路ヲ南南東(真針路)ニ定メテ風位ノ許ス限リ且ツ速力ヲ得ルニ勉メツ、航走スルコトニセリ蓋シ風位偏東ヨリ漸次北東ニ轉シ時ニ北風ヲ送ルコトアルニ至リシヲ以テナリ此間速力平均三哩乃至四哩ヲ得午後ニ於テ風位北西トナリ而シテ一天曇リ降雨アリ爾來數日、時ニ颯又

ハ降雨ノ通過アリシモ比較的多カラス天氣多クハ快晴ニシテ而モ逐日冷氣ヲ覺ヘ來リ氣温平均六十七度
タリキ氣壓示度漸ク高キヲ示スニ至リ二十時〇二海流尙ホ偏西方ニ向フヲ見タリ
十二月四日 正午位置(南緯 三十三度四十四分半 西經 百三十八度十一分)

二日以來北西風ヲ眞後ニ受ケテ南東方ニ航走シ來レルカ本日午前九時過キ南西方ニ發生セル強勢ナル颶
ハ激烈ナル風力ト降雨ヲ伴フテ襲來スルト共ニ漸次風位ヲ轉シテ偏南東ノ疾風ト化シ波浪又高マリ來レ
リ同時ニ微少ナレトモ晴雨計ノ下降數時間ニ涉レルヲ見タルト共ニ氣温急ニ下降シテ六十四度ヨリ六十
一度乃至五十九度トナレリ船ハ之レヲ右舷一杯ニ受クルト共ニ即チ總員ヲ以テ諸帆ヲ疊收シ僅カニ「ト
ツブスル」及一葉ノ「コース」ヲ以テ之ニ對ス爾來風位多ク移ラス風力時々頗ル強盛トナリ悔ルヘカラス
午後五時三十分當直員ヲ以テ下手廻ハシテ左舷一杯開キトナシ西南方ニ航走スルノ止ムナキニ至
レリ總シテ曇天ニシテ陰雨霏々トシテ至ル翌五日ニ於テモ依然トシテ南東風ノ吹クアリ波浪低カラス晴
雨計ノ昇降不規則ヲ免レス氣温六十度ヲ示シ曉明後天空晴渡リタルモ風位移ラス
斯カル偏南東ノ「ゲール」ノ流行アルハ比較的珍ラシカルヘク殊ニ東航船ニ就テハ注意ヲ要スルモノナル
ヘク又其風力ノ著シキコト等モ記スルニ足ラン

十二月五日 正午位置(南緯 三十四度三十二分半 西經 百四十四度十六分)
午前九時ヨリ一時間總員ヲ以テ荒天準備操練ヲ行フ號令一下ノ後總帆ヲ絞收シ終ル迄七分間ヲ要セリ
寒氣漸ク加ハリ晝夜ノ差約四度乃至五度ニシテ時ニ細雨到リ多クハ亂層雲ヲ以テ蔽ハル風位南東ニシテ
力四波浪亦アリ船豫定ノ針路ニ向フ能ハスシテ西南方ニ航走スルノミ
十二月九日 正午位置(南緯 三十六度十七分 西經 百四十一度五十七分)
五日以來多ク偏南東風ノミ吹キ續ク時ニ無風トナリ時々疾風ト化シ強颶強雨ノ襲來繁ク風後時ニ偏東ト
ナルコトアレトモ多ク移ラス六日正午頃ヨリ晴雨計(此地方晴雨計公稱示度ハ二十九時九九) 逐次下降ノ

狀態ヲ保チ來リ終ニ本日午前四時ニ至レリ其示度二十九時二七ヲ示スト共ニ俄然上昇ヲ始ム茲ニ於テ南
西方ニ風位ノ變轉ヲ豫想シ警戒ス天候ハ滿天曇リ時々細雨ヲ致セシカ果シテ風位著シキ變轉ヲ生シ來リ
漸次東南東ヨリ南方トナル即チ當直員ヲ以テ下手廻ハシテ右舷一杯開キトナセリ須臾ニシテ南西方
ヨリ強颶ノ強雨ヲ伴ヒ來ルニ遇フト共ニ風位又南西トナリ波浪高ク風力七乃至八船體ノ傾斜甚シキヲ以
テ午前七時學生總員ヲ以テ強雨ヲ犯シテ「アツバートツブスル」ヲ疊收ス以來風位移ラス晴雨計ハ著シク
上昇シ始ムルト共ニ天候頗ル好良ナリ日光輝ク即チ針路ヲ南東微南(眞針路) 二定メテ航走ス晝過キヨリ
諸帆ヲ開屏シ速力六浬半ヲ得ルニ至レリ
十二月十日 正午位置(南緯 四十一度五十三分 西經 百三十五度四十三分)
本日荒天ニ備フル爲メニ「ローヤルヤード」ヲ卸ロシ無線電信柱ヲ「ローヤル、マスト、ヘッド」ニ移ス而シ
テ第五、第六救助船ヲ甲板上ニ引キ入ル尙ホ又「フライングジブ、ガフトツブスル、クロジヤツキ」帆ヲ取
リ外ツシテ收納ス北西風ハ時ニ南南西風トナリ互ニ其風位ヲ交代シツ、力五乃至六ヲ以テ吹キ續ク晴雨
計モ稍々偏南東ニ高ク偏北風ニ低キヲ見ルモ其關係一般ニ此地方的ノモノトナラス波アリ時ニ曇リ時ニ
晴ル、次第ニ寒冷ノ度ヲ増セリ颶ノ襲來アリ
十二月十六日 正午位置(南緯 四十四度四十二分 西經 百二十六度四分半)
概シテ本日迄ハ西南西ノ風多シ之レヲ右舷船尾ニ受ケテ航走セリ風力時ニ増加シ海上又荒ク優勢ニ快走
スルコトアルモ忽チニシテ衰ヘ海上平靜多ク進マサルニ至ルコト折々ナリ未タ偏西風ノ確實ナル流行ヲ
見ス

十二月十九日 正午位置(南緯 四十四度二十八分 西經 百十九度三十分半)
十八日午前ニハ溺者救助、防火、防水、總員乘艇ノ諸操練ヲ行フ
晴雨計ノ日差ハ整齊ナルモノナク漸次上昇シテ本日正午三十時二四ヲ以テ停止シ多ク動カス風位モ西南

ヨリ南ヲ經テ時ニハ南南東トナリ風力一定スルコトナシ多クハ曇天ニシテ細雨至ル氣温五十度水山區域ニ入リシヲ以テ橋上ノ見張ヲ増加ス午後五時左舷船尾十餘哩ノ所ニ一隻ノ汽船東航スルヲ見ル同六時船位(南緯四十四度二十七分)ニ於テ水深約六十尋ノ海温ヲ計リシニ五十三度半ナリシカ表面温度ハ五十四度ナリキ

十二月二十四日 正午位置(南緯 四十七度四十六分半)

十七日以來上昇ノ傾向ヲ保チシ晴雨計ハ益々高示度(二十時二八)ヲ示スト共ニ風力全然衰亡シ海面波ナク偏南ノ長浪ノミ至ル航程一晝夜ニ僅カニ四十餘哩ノミニテ二十三日迄ヲ過ス蓋シ南太平洋南東部ニアル高氣壓部位ニ入リシ爲メ風力ヲ見サルモノナルヘシ從テ勉メテ南下スルニ盡シ漸ク氣壓ノ微降ヲ認ムルト共ニ偏西ノ風吹キ暮リ終ニ疾風トナリテ速力増シ波浪漸ク高カラントス以來多ク認メサリシ東向ノ海流ヲ見ル針路ヲ南南東(真針路)ニ定メ風ヲ右舷船尾ニ受ケテ走ル驟雨ノ襲來又多シ

十二月二十七日 正午位置(南緯 五十七度二十一分)

二十四日以來下降シ始メシ晴雨計翌二十五日午前五時二十九時六三ヲ限度トシテ上昇ヲ始ム北西風ハ漸次遷テ南ヨリ南南東トナリシカ日没後ハ南南西ノ至輕風トナル二十六日モ氣壓上昇シテ風ナク海上穩カニシテ天氣稍々可ナリ正午氣壓三十時〇三ヲ限度トシテ更ニ下降ヲ示セリ夜半ニ於テハ風位北北西ト變シ風力三空暗黒ナリ

二十七日ハ朝來風力加ハリ晴雨計ノ下降殊ニ著シク其變動四時間毎ニ、〇八時乃至、一九時ニ達ス午後四時示度二十九時五トナリ北北西ヨリ北北東ノ強風威ヲ逞フシ轟々トシテ波浪高シ夕刻「ローワートツブスル」及「ストームヘツドスル」ヲ殘シテ悉ク之レヲ收メ針路ヲ南東二分ノ一東(真針路)ニ定メ風浪ヲ左舷真横後ニ受ケテ走ル氣壓ノ下降ハ引キ續キ二十八日午前一時半ニ及ヒ其運動漸ク停止シ須臾ニシテ

上昇ノ模様アルト共ニ強勢ナル偏北風ハ忽チニシテ力ヲ失ヒ波浪又治マラントス然ルニ午前二時過キ俄然南西ノ烈風更ニ吹キ來リ風力猛烈荒浪ヲ起シ雨サヘ伴フ風威ハ益々暮リ晴雨計モ益々上昇ス水沫ノ爲メニ海面甚々暗シ

風浪ヲ右舷船尾ニ受ケテ東微北(真針路)ニ進ム此ノ時僅カニ一葉ノ「フオア」トツブマストステイスルニテ五哩ノ速力アリ氣温四十四度寒氣強シ船内ノ警戒嚴ナリ午後ニ至リテ風威漸ク治マリ晴雨計ノ運動モ著シキモノナク荒浪頭ヲ收ム日没後風向西微北トナリ力四、之レヲ左舷船尾ニ受ケテ東微北(真針路)ニ航走セリ漸次疊收セシ諸帆ヲ展ス

颶風ニ遭遇セシ當時ノ天候

月日時	緯度	經度	晴雨計	氣温	海温	風向	風力	波向	波浪狀態	天候
十二月二十六日 正午	南緯 四九・〇	西經 一〇六・五	NO-011	五〇	五	南 西	二	南々 西	二	晴
午後 一時			NO-011	五〇	五	南 西	二	南 西	一	全
二時	南緯 四八	西經 一〇六・五	NO-011	五〇	五	南 西	二	南 西	一	全
三時			NO-011	五〇	五	西 南	一	西 南	一	全
四時			NO-011	五〇	五	西 南	一	西 南	一	全
五時			NO-011	五〇	五	西 南	一	西 南	一	全
六時			NO-011	五〇	五	西 南	一	西 南	一	全
七時			NO-011	五〇	五	西 南	一	西 南	一	全
八時			NO-001	五〇	五	全	一	全	一	全

正午	十一時	十時	九時	八時	七時	六時	五時	四時	三時	二時	正午	十一時	十時	九時	八時	七時	六時	五時
五二二				五二〇						五二六半	五二三							五〇四六
一〇四二半				一〇四四半						一〇五三	一〇五八半							一〇六〇五
二九三六一	二九三六一	二九三六一	二九三六一	二九三七一	二九三七一	二九三七一	二九三七一	二九三七一	二九三七一	二九三七一	二九三七一	二九三七一	二九三七一	二九三七一	二九三七一	二九三七一	二九三七一	二九三七一
四六	四六	四五	四五	四五	四五	四五	四五	四五	四五	四七	四八	四八	四八	四八	四八	四八	四八	四八
全	全	全	全	南	南	南	南	全	全	南	北	北	北	北	北	北	北	北
九	九	十	十	十	十	十	十	九	八	七	七	七	七	七	七	七	七	八
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

五二

四時	三時	二時	正午	十一時	十時	九時	八時	七時	六時	五時	四時	三時	二時	正午	十一時	十時	九時
五〇三五			五〇二								四九四二			四九二五			
一〇六三			一〇七二半								一〇七四六			一〇八三			
二九五二	二九五二	二九五二	二九五二	二九五二	二九五二	二九五二	二九五二	二九五二	二九五二	二九五二	二九五二	二九五二	二九五二	二九五二	二九五二	二九五二	二九五二
四九	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
八	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
雨	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

五二

午後一時	五元二七	103.11	二元二六	七	南四微西	九	南四微南	六	全
二時	五元二〇	103.11	二元二六	七	西南西	八	南四微西	六	全
三時	五元二〇	103.11	二元二六	七	西微南	七	南四微西	五	全
四時	五元二〇	103.11	二元二六	七	西微南	六	南四微西	五	全
五時	五元二〇	103.11	二元二六	七	西微南	五	南四微西	五	全
六時	五元二七	103.11	二元二六	七	西微北	四	西	五	全
七時	五元二七	103.11	二元二六	七	西微北	四	西	五	全
八時	五元二七	103.11	二元二六	七	全	五	北	五	全
九時	五元二七	103.11	二元二六	七	全	六	全	五	全
十時	五元二七	103.11	二元二六	七	全	六	全	五	全
十一時	五元二七	103.11	二元二六	七	全	六	全	五	全
正午	五元二七	103.11	二元二六	七	全	六	全	五	全
午前十一時	五元二七	103.11	二元二六	七	全	六	全	五	全
十二時	五元二七	103.11	二元二六	七	全	六	全	五	全
十三時	五元二七	103.11	二元二六	七	全	六	全	五	全
十四時	五元二七	103.11	二元二六	七	全	六	全	五	全
十五時	五元二七	103.11	二元二六	七	全	六	全	五	全
十六時	五元二七	103.11	二元二六	七	全	六	全	五	全
十七時	五元二七	103.11	二元二六	七	全	六	全	五	全
十八時	五元二七	103.11	二元二六	七	全	六	全	五	全
十九時	五元二七	103.11	二元二六	七	全	六	全	五	全
二十時	五元二七	103.11	二元二六	七	全	六	全	五	全
二十一時	五元二七	103.11	二元二六	七	全	六	全	五	全
二十二時	五元二七	103.11	二元二六	七	全	六	全	五	全
二十三時	五元二七	103.11	二元二六	七	全	六	全	五	全
二十四時	五元二七	103.11	二元二六	七	全	六	全	五	全
二十五時	五元二七	103.11	二元二六	七	全	六	全	五	全
二十六時	五元二七	103.11	二元二六	七	全	六	全	五	全
二十七時	五元二七	103.11	二元二六	七	全	六	全	五	全
二十八時	五元二七	103.11	二元二六	七	全	六	全	五	全
二十九時	五元二七	103.11	二元二六	七	全	六	全	五	全
三十時	五元二七	103.11	二元二六	七	全	六	全	五	全

五四

九時	五元〇一	103.11	二元二六	七	北西微西	四	北西微西	四	全
十時	五元〇一	103.11	二元二六	七	全	三	全	四	全
十一時	五元〇一	103.11	二元二六	七	全	三	全	四	全
正午	五元〇一	103.11	二元二六	七	西微北	三	西微北	三	全

十二月三十一日 正午位置 (南緯 五十一度四十九分 西經 九十六度十六分)

強猛ナル颶風ニ遭遇セシ後ハ風力逐次衰へ風向一定スルコトナク晴雨計ノ如キモ亦變化ナク空モ晴レ寒氣加ハリ速力僅カニ一時間二哩位ナルヲ常トセリ南緯四十度ノ緯線ヲ航過シテ以來殆ント一定ノ風力流程等ヲ得ルコトナク終年勢ヲ逞スルト云フ偏西風帶タルカヲ疑ハシム位ニシテ恰モ變風帶ノ夫レニ類スル航海ヲ繼續シ豫定以外多數ノ日子ヲ費スニ至レルハ又止ムヲ得サル所ナリ思フニ夏季ハ斯ル風力ノ不規則ヲ示シテ衰フ時ハ殆ント無風トナルモ一度吹キ來ランカ非常ノ威ヲ振フカ如キ傾キアルヲ認メサル能ハス船ハ漸ク年末ニ際シ茲ニ舊年ヲ送り新歲ヲ迎フヘク大掃除入湯洗濯等交々之レヲ行フ偏北ノ和風アリ速力四哩ヲ得

大正二年一月一日 正午位置 (南緯 五十二度三十三分 西經 九十三度五十一分)

午前九時半總員正服用ノ上北西ノ方宮城ニ對シ遙拜式ヲ行ヒ更ニ中甲板ニ於テ御勅語御勅諭ノ奉讀式ノ後開散ヲ命ス乗員ノ意氣大ニ振フ偏北ノ和風アリ天氣穩カニシテ旭影帆面ヲ照ラス氣温四十八度一隻ノ帆船右舷方ヲ東航スルヲ認ム

一月五日 正午位置 (南緯 五十五度二十三分 西經 七十五度二十八分)

永ク定風ヲ得ルニ苦シシカ元旦ヲ迎ヘテ以來風力一定シテ六乃至七トナリ一晝夜ノ航程百六十哩宛ヲ得タリ流程多カラズ晴雨計ノ運動著シカラス氣温四十六、七度位ニシテ夜間殊ニ短ク僅カニ午後十時過

五五

キヨリ海嘯ク午前一時前ニハ白ミ始ムルヲ常トセシヲ以テ氷山ノ警戒上頗ル好都合ナリキ船漸ク角岬近傍ニ進ミ來リ本日ハ「マゼラン」海峡ノ入口タル「クープビラー」ヲ距ル南南西百五十哩ノ處ニ達ス即チ針路ヲ東南東(眞針路)ニ定メテ「デイエゴラミエズ」島(角岬ノ南方五十餘哩ノ處ニ散在スル小列島最高峯ノ高サ五八七呎)ニ向テ航走ス蓋シ風位何レニ變移スルモ轉針ノ餘裕ヲ保タンカ爲ナリ本日ハ寒冷ニシテ波高ケレトモ天氣良好ナリキ朝方一隻ノ帆船我カ右舷方ヲ東航スルヲ認ム夕刻ヨリ強變襲來頻々タリ上帆ヲ收メテ警戒ス

一月六日 正午位置 (南緯 五十六度十七分 西經 七十度二十五分)

朝來天候不良ト變シ空模様頗ル悪シ加フルニ晴雨計ノ著シキ下降ヲ示シ始ムルト共ニ偏北西ノ烈風ト變シ雨ヲモ加ヘ波浪頗ル高カラントス氣温四十七度

正午ヨリ針路ヲ「デイエゴラミエズ」列島ト角岬ノ間ニ定メテ斯ノ風威激浪ヲ我カ船尾ヨリ受クルト共ニ帆船ノ往來及氷山流域タル同列島沖合ノ危險ヲ避ク然ルニ刻々晴雨計ハ下降シ來ルト共ニ西北西ノ烈風ハ又益々猛烈ノ威力ヲ逞フシ怒濤轟々水沫人目ヲ眩シテ爲メニ暗ク加フルニ間斷ナク襲來シ來ル強變ハ或ハ船體ヲ破碎スルカト疑ハシメ木ノ葉ノ如ク飄弄セラル、船體ノ苦闘到底筆紙ノ能クスル處ニアラス是ヨリ先キ既ニ諸帆ハ收メラレ僅カニ一葉ノ「メーンローワートツブスル」及「ストーム、ヘッドスル」ノミヲ以テ之ニ當リ尙ホ且ツ測程線ハ八哩ノ速力ヲ示スニ於テオヤ甲板舷側悉ク之レヲ密閉結縛シテ警戒一失ナシ

其後風ハ益々狂ヒニ狂ヒ叫ヒニ叫ヒシカ午後十時半頃ヨリ漸ク暗ミ始メシ大空暗ニ包マレントスル激浪人ヲシテ轉々凄壯ノ感ヲ深カラシム而モ乗員ノ意氣愈々頑健ナリ

風位一、二點ノ變移アリシモ航走ヲ續ケ終ニ陸影ヲ認ムルコトナク無事七日午前一時半頃角岬ヲ距ル南方約二十哩ニ於テ之レヲ繞航シ同三時轉針シテ「スタテン」島ノ東端ニ向フヲ得タリ此日朝方ヨリ風威波

浪共ニ治マリ只細雨ノミ至ル即チ諸帆ヲ開展ス本日又々一隻ノ帆船東航スルヲ見ル

一月十日 正午位置 (南緯 五十五度四十五分 西經 五十五度二十二分)

八日ニハ既ニ「スタテン」島ノ東方約三十哩ヲ距テ、之レヲ航過シ夕刻ヨリ吹キ來レル偏南西ノ疾風ニ駕シテ北東(眞針路)ニ向テ快走スルコトヲ得ルニ至レリ此日午後七時(南緯五十四度二十八分 西經六十一度五分)「バードウッド」堆ノ測深ヲ行ヒシカ七十尋ヲ得底質珊瑚石、十日ニハ「フオークランド」島ノ東側四十哩ヲ距テ、之ヲ過キ終ニ其北東方ニ達スルコトヲ得タリ是レヨリ漸次風向ヲ利用シテ北東方ニ進ミ成ルヘク風力ヲ失ハス緯線ヲ航走シテ一方氷山ノ警戒ヲ嚴ニスルト共ニ航走ノ効果ヲ得ントス

一月十二日 正午位置 (南緯 四十七度三十八分 西經 四十七度三十八分)

偏西南ノ疾風ハ晴雨計ノ下降ニ伴フテ漸次西北西ニ移ルト共ニ風力モ著シク増加シテ細雨折々至ル多クハ曇天ニシテ氣温稍々上昇シ五十三度トナル

午後七時恰モ本船ノ右舷方ヲ航走シテ北進シツ、アル四橋「バーク」形帆船ト邂逅シ其距離約二哩ニ達セル時彼我信號ヲ交換シタル所左ノ如シ

本船	他船
國旗	獨逸商船旗
J N G H 大成丸	R L P G Henriette, Hamburg, 2882 ton, Register
V X F 練習船	回答旗
S H 汝ハ何處ヘ行クヤ	A E U Y Liverpool
S I 汝ハ何處ヨリ來レルヤ	A V D E Antofagasta, Chile
Q Y N 汝ハ幾日ヲ費ヤセシヤ	V H Code 三十二日
離距漸ク遠カルヲ以テ	

H P Z 訣別ノ意ヲ表ス

回答旗

回答旗

T D L

安航ヲ祈ル

X O R 感謝ヲ表ス

回答旗

國旗禮ヲ交換シ午後七時半本船ノ前方ヲ横切リテ北航シ去レリ

一月十四日 正午位置 (南緯 四十四度四十六分 西經 四十四度三十六分) 偏南西ノ疾風ヲ右舷船尾ニ受ケ勉メテ東北東ニ向ヒ快走中ノ處十二日夜半(晴雨計示度二十九時三〇)ヨリ上昇ノ傾向ヲ保チシ晴雨計ハ十四日午前十時、二十九時八九ニ達スル迄上昇シテ茲ニ下降ヲ始メ漸ク衰ヘントセル偏南西風ハ西及北西ヲ經テ北微西ノ疾風トナリ強颯ハ雨ヲ交ヘテ來リ其勢侮リ難キモノアリ船ハ之レヲ左舷真横ニ受ケテ東方ニ航走セシカ正午過キヨリ逐次諸輕帆諸大帆ヲ疊收シテ警戒ス終日多ク沃亂雲ヲ以テ蔽ハレ日光洩レス夕刻ヨリ風威著シク強勢ヲ加フト共ニ晴雨計ノ下降モ殊ニ甚シク且ツ著シク不規則ナル運動ヲ示セリ即チ正午ヨリ午後四時迄ハ一時間ノ平均下降〇、〇一時乃至〇、〇二時ニ過キサリシカ別項天候表ノ示スカ如ク五時ヨリ六時ノ間ニ於テハ〇、〇七時ヲ下リ更ニ七時ニ至ル迄ハ多ク動カス反テ幾分上昇ノ傾向ヲ示セルカ其ノ後ハ更ニ急激ナル下降ヲナセリ即チ八時九時ノ間ニ於テ〇、〇五時ヲ、九時十時ノ間ニハ〇、一二時ト云フ未タ嘗テ本船ノ遭遇セシコトナキ急激ナル下降ヲナシ尙ホ十一時迄下降ヲ續ケ次キノ一時間ニハ〇、一〇時ノ急昇ヲナシテ更ニ又下降ヲナシテ終ニ翌十五日午前二時ニ至リ示度二十九時五五六ヲ限リトシテ順次上昇ヲナセシモノニテ之レヲ弧線ヲ以テ示サンカ恰モ鋭キ鋸齒狀ヲ呈スルニ似タリ

カ、ル氣壓ノ急變動ハ其比勿論多カラサルヘク其急昇降ヲナセシ當時ノ風力ハ短時間ナリシト雖トモ殊ニ強猛ヲ極メ波浪亦從テ怒リ狂ヘリ而モ南方ニハ時々電光ノ反映ヲ見ル、是レヨリ先キ九時頃ヨリ總員ヲ以テ殘リノ諸帆疊收ニ勉メシカ時餘ニシテ全ク之ヲ遂行シ「フオアトツブマストスタイルス」及「ジ

ツガーステースル」ノ二葉ヲ殘シテ操舵ニ便シ風浪ヲ成ルヘク船尾ニ受ケテ航走シタルニ優ニ六哩ヲ得タリ風位ハ此ノ間依然トシテ移ラス偏北微西ノ烈風ニシテ陰雲ヲ以テ閉サレシ空ハ十一時半頃俄カニ雲破レテ蒼天ヲ望ミ星群ノ輝キヲ見ルコト須臾ナリシト共ニ茲ニ晴雨計ノ急昇アリ同時ニ風位ノ變轉ヲ起シテ北西風トナリ約三時間ヲ過シ午前三時晴雨計ノ上昇ト共ニ西風トナリ天明ノ後ハ西南西ヨリ南南西トナリ風力モ逐次衰ヘテ三乃至四トナル之レヲ右舷船尾ニ受ケテ東北東方ニ航走シ諸帆ヲ開展セリ時ニ午前六時

彼ノ風威最トモ強暴ナリシ當時ノ前後電光南方ニ頻々タリシカ降雨殆ント至ラス只翌日午前二時過キヨリ風力ノ稍衰退セシ頃ヨリ細雨霏々トシテ至リシノミ氣温ノ如キモ連夜ニ比シテ高ク湿度モ比較的多量ナリキ

案スルニ南太平洋ニ於テハ颶ノ發生多カラサル所トハ云ヘ尙ホ且ツ強烈ニシテ廣サ他ニ比シテ狭ク且ツ中心進行ノ遅々タル颶風發生ノ實例ニ乏シカラサルヨリ見レハ本船當回ノ暴風タルヤ其氣壓下降ノ狀況温、湿度ノ上昇セシカ如キ風位ノ左方ニ變轉セシカ如キ天上蒼空ヲ見、南方ニ電光ヲ認メタルカ如キ及船體橋索ニ叫フ颶風特有ノ夫レニ似タルカ如キハ其條件充分ニシテ船ハ即チ颶ノ左半圓前部ヨリ圈内ニ入り中心ハ我カ南方遠カラサル處ヲ通過シタルモノナルヘクモ只晴雨計ノ運動他ニ其ノ例ヲ見サル頗ル不規則ナリシ事實ハ幾分ノ疑ヲ挾サマシムト雖トモ之レヲ推スルニ中心ノ速力速カナラサルヲ以テ直進セス左右ニ錯雜ノ進行ヲナセシモノニアラサルカ船位恰モ「アルゼンチン」國沿岸ヲ距ル東方約一千哩ノ地點ニアリシヲ以テ該沿岸沖合ニ發生スル最トモ恐ルヘキ南西ノ暴風「パムペロー」(Pampero)ノ一種ニアラサルカヲ思ハシムト雖トモ其流行地帯ヲ距ル遠キニ過クルト其ノ風位南西方ニ於テ少シモ強烈ヲ示サ、リシト其特有タル長キ捲狀雲ノ發生ナキト及ヒ其時間ノ餘リ永カリシトハ「パムペロー」ニ屬スヘキ性質ノモノニアラサルヤ論ナク之レヲ颶風ノ一種ト見做スヲ至當トス

當時ノ天候表ハ次ノ如ク尙ホ「バムベロー」ニ就テノ實例ヲ附加セリ

一月十四日颶風遭遇當時ノ天候

日	時	風位	風力	天候	乾寒暖計	濕寒暖計	海水温度	晴雨計
一月十四日	正午	北微西	四	曇	五五・中	五三・	五三・	廿九・八六六
	一時	全	四	晴、曇	五七・	五四・	五三・	廿九・八六六
	二時	全	四	曇	五八・	五四・中	五三・	廿九・八五六
	三時	全	三	全	五六・	五三・	五三・	廿九・八四一
	四時	全	三	晴、曇	五八・	五四・	五三・	廿九・八二一
	五時	全	五	曇	五六・	五三・中	五二・	廿九・八二一
	六時	全	六	全	五五・	五三・中	五二・	廿九・七五六
	七時	全	七	陰	五四・	五三・	五二・	廿九・七六一
	八時	全	七	全	五四・	五二・中	五二・	廿九・七四六
	九時	全	九	全	五四・中	五二・中	五二・	廿九・六九一
	十時	全	十一	全	五五・	五二・中	五二・	廿九・五六六
	十一時	全	十一	雨、曇	五五・	五二・	五二・	廿九・五三六
正子	北	七	陰、晴	五五・	五二・中	五二・	廿九・六三六	
一月十五日	一時	全	晴	五五・	五三・	五二・	廿九・五八六	
	二時	全	晴、曇	五五・	五三・	五二・	廿九・五七一	

時	風位	風力	天候	乾寒暖計	濕寒暖計	海水温度	晴雨計
三時	北西微西	九	陰、雨	五五・	五三・	五二・	廿九・五五六
四時	全	九	雨、陰	五四・	五三・	五二・	廿九・五七六
五時	西微北	七	陰	五四・	五三・中	五二・	廿九・五八六
六時	西	五	全	五四・	五三・中	五一・	廿九・六六六
七時	全	四	霧、曇	五四・	五三・	五一・	廿九・六六六
八時	西南西	四	全	五三・中	五二・	五一・	廿九・六九六
九時	南西	四	全	五二・中	五一・	五一・	廿九・七二一

Pampero ニ就テ

「バムベロー」ト稱スル風ハ「アルゼンチン」及其ノ附近ノ地方ニ於テハ漠然トシテ稱ヘラル、ト雖トモ實際ハ南西ノ急激ニシテ猛烈ナル短期ノ強颶ヲ指スモノニシテ必ス電光、雨滴及ヒ捲狀ノ長キ雲形ヲ伴フ
 デー、クリスチャン(D. Christian)氏ハ「バムベロー」ノ直進的風タルコトヲ説テ曰ク「バムベロー」ノ來ルヤ晴雨計ハ二日乃至四日前ヨリ比較的整然トシテ下降ヲ始メ其通過後ハ之レニ反シテ兩三日間上昇ヲナスモノナリ而シテ晴雨計ノ運動ト暴風發生位置トノ關係ニ就テハ明カナラスト雖トモ其來襲近キ數時間前ヨリ氣壓ノ上昇ヲ見ルヘシ之レト同時ニ温度ノ上昇ヲ來スモ愈々來襲センカ更ニ忽ニ下降スヘク而シテ多クハ雷鳴電光ヲ伴ヒ多少ノ雨アリ其來襲前或期間偏東ノ和風若クハ疾風ヲ送リテ而シテ後南西ノ烈風ニ急轉スルヲ常トスルカ如シ而シテ其最トモ猛烈ナル間ハ十分間乃至三十分間ニ過キスシテ後ハ全ク休止スルカ或ハ風力ヲ減シテ暫ク吹キ續クカニアリ而モ其來襲前後及來襲ノ際ハ必ス大氣上層部ノ風向ハ全然下層ト反對ニシテ北西ヨリ南東方ニスルヲ普通トセリ、以上
 次キニ「バムベロー」ニ遭遇セシモノ、著シキ實例ヲ擧クルコト左ノ如シ

某年十一月某日ノ朝方比較的強キ北東風アリキ空ハ曇リ勝テニシテ南西ノ水平ニハ別ニ特種ノ雲塊ヲ見サ
 ルモ東方ニ長キ尾ヲ延キテ西方或ハ幾分偏南セル方向ヨリ極メテ静カニ動クヲ認メヌ午前八時南西方ヨリ
 綿束ノ如キ雲頂上ニ來リテ濃厚ニシテ整然タル長キ同幅ノ二隊形ヲナスト共ニ他ノ雲ト少シモ混交スルコ
 トナク恰モ固形體カ雲間ヲ進行スルカ如ク何等ノ抵抗ナキカ如シテ二雲隊各々其色ヲ異ニシ一ツハ濃
 灰色ヲ呈シ他ハ船舶ノ煤煙ノ如ク黒色ヲナセリ而シテ其兩端共ニ水平ニ没シタルヲ以テ其全長ハ推スルニ
 由ナシト雖トモ優ニ五十哩ヲ算スルニ足ルヘシ幅員ハ決シテ廣カラスシテ其水平ニ達セントスルノ頃ハ一
 本ノ絲線様ヲナセリ此第一雲隊ノ通過セシ時ハ尙ホ北ノ和風ナリキ然レトモ此頃ヨリ漸次北ヲ經テ南西方
 ニ移ルト共ニ強勢ニシテ寒冷ナル烈風トナル第二ノ雲塊通過スル迄繼續セリ此二個ノ雲ハ雷雨何レモ洩ラ
 サ、リシカ後ヨリ空一面ニ散布セシ陰雨ト共ニ直チニ之レヲ見タリ
 而シテ此ノ暴風繼續中空ニ陰雲雷雨ヲ以テ充サレタルモ比較的過激ニハアラサリキ之レヲ以テ風向温度及
 ヒ雲形ノ如何ヲ知ルト且ツハ又直進騷 line squall ナルコトモ自ラ明瞭セン (by Hon. Ralph A Bercomby)
 又水路誌ノ一節ヲ擧ケンニ

Off the River Plata, between 30's and 40's, as far east as 45° w, there are very heavy south westerly gales,
 frequently attended with thunder, heavy hail, Known as Pamperos (by Findly) 之ノニヨリ略ホ其ノ流
 行區域ヲ知ルヲ得
 又或人ハ曰ク

「バムベロー」ハ夏季冬季ニ於テ性質ヲ異ニシ夏分ハ直線的騷ナルモ冬分ハ颶風の性質ヲ帶フト云フモノア
 尙ホ次キニ古ク英國某軍艦ニ於ケル Hopkins 氏ノ報告ヲ擧クレハ
 一八二九年一月三十日 Beagle 號ハ Maldonado 灣ニ向ヒ海面ヨリ進ミツ、アリキ正午前ニ北北西ノ軟風ア

リ正午過キ和風トナル而シテ天氣鬱陶シク且酷暑トナレリ是レ雷雨ノ前兆ナリキ過去三晩ノ間南西方ノ水
 平線ニ雲塊ノ發生常ニアリテ遠ク雷光ノ反射ヲ見タリ晴雨計ハ二十五日以來徐々ニ且ツ整然トシテ下降シ
 ツ、アリキ三十日正午ニ於テハ二十九日四時ナリテ温度七十八度午後三時頃ニハ北西ヨリ北東間ニ變轉常
 ナキ至輕風トナリシカ面モ南西方ニハ確然タル雲塊ヲ生シ晝間ニ於テ尙ホ且ツ時ニ電光ヲ認ムルニ至レリ
 續イテ頻々トシテ熱蒸セル (Gust) 突風ノ來ルアリ四時ニハ北北西ノ疾風ヲ起シタルヲ以テ總テ諸輕帆ヲ收
 ムルノ止ムナキニ至レリ五時過キニハ南西方ハ暗黒トナリ電光彌々増加ストツブスル及「フォースル」ヲ
 「リーフ」シ六時少シ前ニハ南西方ノ上層雲ハ黒キ綿束ノ如ク捲狀ヲ呈シ來リ天候甚タ不穩ナルヲ以テ終ニ
 新シキ「フォースル」一枚ヲ殘シテ他ヲ悉ク疊收スルニ至ル而モ暑苦シキ「ガスト」ハ一分毎ニ襲來シ風位又
 變轉シテ終ニ南西ノ烈風トナリ愈々強激トナル船體爲メニ傾斜シ「フォースル」既ニ破レ「トツブマスト」及
 「ジブブーム」ヲ損傷シ或ハ覆ヘランカラ疑ハシム乗員二名及左舷艇ハ波ニ洗ヒ去ラル等言語ニ絶セル暴風
 ニナルト共ニ未タ嘗テカ、ル強風ニ遭遇セシコトナシ七時ニハ既ニ雲去リ風ハ南西ノ強風ナルモ一定ノ風
 力ヲ保チ天候自ラ回復シテ空晴ル

次キ「Rio de La Plata」ニ永ク在テ該地方ノ沿岸航海ノ經驗ニ富メル Captain Peter Heywood 氏ノ「バム
 ベロー」ニ就テ説ク所ヲ擧クレハ
 「バムベロー」ノ前兆トシテ數日間東方又ハ北東方ノ至輕風ニシテ終ニ無風トナリ暑氣ヲ増ス而シテ次キニ
 冷カナル至輕風ハ南方又ハ南東方ヨリ來ル然レトモ之レハ大氣ノ下層部ニ限ラレ其上层部ニ於テハ全々相
 反シテ北西方ヨリ南東方ニ運動スヘシ日没トナルニ從ヒ北方ノ水平線ハ暗黒トナリ重キ低キ雲塊ヲ生シ同
 時ニ東方又ハ北東方ニ電光ヲ認ムヘシ而シテ偏南風止ミテ偏北ノ不定風來ルヘシ同時ニ重キ雲塊カ電光雷
 鳴ヲ伴フテ漸次進ミ來ラン此時風位ハ漸次西方ニ移リ而モ強勢ナル「ガスト」ヲ送ルヘシ雷鳴及電光ハ益々
 強烈ノ度ヲ増シ終ニ南西方ノ暴風ト化シ最モ強烈ヲ極ムト共ニ須臾ニシテ好天氣トナルヘシ 以上

一月二十日 正午位置 (南緯 四十一度三十七分 西經 二十九度三十三分)
 強烈ナル暴風ニ遭遇シテ以來十六日正午頃迄ハ晴雨計ハ上昇ヲ續ケ偏南西ノ至輕風流行セシカ其下降ト共ニ風位漸次移リテ北西ノ和風トナリ或ハ疾風トナリ概シテ多クノ變移アルコトナク曇天多クシテ朝夕ハ霧霧ヲ發生スルヲ常トシ時ニ濃厚トナルコトタニアリキ細雨又至レリト雖トモ少量ニ過キスシテ湿度多ク鬱陶シキ天氣ナリキ氣壓ハ尙ホ十九日ニ至ル迄微降ヲナシツ、アリシカ同日正午前後ニ於テ幾分ノ上昇ヲ呈スルト共ニ風向變シテ南西トナリ力モ幾分衰ヘシカ夕刻ヨリ氣壓下降シ始ムルヤ風向又々移リテ西微北ノ軟風トナリ二十日朝方ヨリ風力頓ニ衰ヘ定風ナク午後ニ至リテハ殆シト無風トナレリ而シテ各風位ノ變轉タルヤ決シテ急劇ナルコトナク漸次ニ變スルヲ以テ適帆等充分ノ餘裕アルモノトス氣温モ爾來漸次上昇シテ本日ハ晝過キ六十四度トナリ針路ハ勉メテ東航シ東北東(真針路)ニ向ヒ航走シ來レリ颯ノ發生等少ク總帆ハ絶ヘス開展シ速力ノ如キ平均六哩宛ヲ得タリ海流不規則ニシテ一定セス

一月二十一日 正午位置 (南緯 四十一度三十一分 西經 二十九度二十七分) ヨリ二十三日正午位置 (南緯 四十四度四十分 西經 二十三度四十分) ニ至ル

前日午刻ヨリ殆シト風止ミ海上油ノ如ク長浪ノミ總帆ヲ拍動セシメシカ夜半ヨリ偏北東ノ軟風至リ速力二哩半ヲ示セシカ船ハ之レヲ右舷一杯ニ受ケテ航進シ風位ノ移ルヲ待チシモ其効ナキカ故ニ午前七時當直員ヲ以テ下手廻ハシテ行ヒ左舷一杯開キトナシ漸ク東南東(真針路)ニ航進スルヲ得タリ尙ホ晴雨計ハ前日夕方以來下降シツ、アリテ運動著シカラサルモ停止セス

天氣密蒙ナラントスルノ傾向アリ霧滴露々トシテ飛ヒ水平朦朧タリ午後ヨリ風力ヲ加ヘ來リ天候不良ノ兆アリ夕刻ニハ豪雨沛然トシテ至ル午後八時ヨリ漸ク晴雨計ハ下降ヲ止メテ上昇シ始メ風位モ漸次北方ヲ經テ北西方ニ移リ豫定針路ニ就クヲ得タリ而シテ終ニ暴風ノ襲來モナク翌二十二日ニ至リテハ風位偏西トナリ朝來好天氣ニシテ總帆能ク風ヲ孕ンテ航走セシカ日没ノ後風威幾分衰退ノ氣味アリシカ又々風向ハ轉シテ北西トナリ終ニ二十三日ニ至リテ偏北ノ疾風トナル此兩三日引キ續キ東方ニ壓流セラレ、ヲ

見ル而モ南太平洋南部ノ航海ニ於テハ南流スル海流多キヲ感セリ流程勿論著シキモノアラス氣温六十一度二十二日午前九時ヨリ荒天準備防火、防水總員乘艇配置ノ諸操練ヲ行フ

一月二十六日 正午位置 (南緯 三十八度五十四分 西經 十七度五十四分)

二十三日偏北ノ疾風トナリシモノ爾來氣壓ノ上昇ニ伴ヒ更ニ又偏西風トナリ二十四日夕刻ヨリハ衰ヘテ至輕風トナリ二十五日ニ至リテハ南方ヲ經テ當地地方ニ於テ稀ナル南東方ヨリ又ハ東方ヨリノ軟風ヲ見ルニ至リシカ風力極メテ弱ク一晝夜ノ航程六十餘哩ニ過キサリキ颯ノ發生ノ如キハ稀レナルモ概シテ陰雲ニ閉サレ時ニ驟雨ノ通過アリキ海上波ナク氣壓ハ引キ續キ上昇シ二十六日正午ニハ三十吋ニ達ス

二十五日夜半ヨリ右ノ偏南東風力ヲ加ヘ來リ二十六日ニ至リテハ一天快晴トナリ風力四乃至五ニ及ヒ速力六哩半ニ達ス此間東北東(真針路)ヲ針路ト定メシモ風位一定スルコトナキヲ以テ東(真針路)及北北東(真針路)ノ間ニ於テ速力ヲ得ルニ勉メテ航走セリ

二十六日夕刻ヨリハ空モ曇リ風位漸次左轉シテ終ニ風位東南東ノ和風トナリ氣壓ハ著シク變化ナキモ絶ヘス微少ノ運動ヲナシツ、アリキ

一月二十七日 正午位置 (南緯 三十六度二十七分 西經 十七度二十九分)

天明後風力モ漸ク加ハリテ偏東ノ疾風トナリ氣壓モ徐々ニ下降ヲ繼ケリ終日陰雲ニ閉サレ細雨時ニ至ルモ強颯ナシ午前十一時風位東微北トナリ更ニ旋轉ノ模様アルヲ以テ下手廻ハシテ行ヒ風ヲ左舷一杯ニ受ケテ航走シタルモ僅カニ南南東ニ向フヲ得ルノミ「ツリススタンダキユナ」(Tristan da Cunha) 群島ヲ距ル西方二百五十哩ノ處ニアリ風向依然トシテ轉セス

一月二十九日 正午位置 (南緯 三十六度四十分 西經 十五度五十八分)

兩三日間逆風ニ遭遇シテ進航意ノ如クナラス天候亦不良ニシテ概シテ陰雲ニ閉サレ海上密蒙ナルコト多ク二十八日午後ニ至リテハ殆シト風死シ不定ノ至輕風ノミ至リシカ二十九日ニ於テハ朝來偏北西ノ軟風

アリ晝過ぎヨリ和風トナルト共ニ朝來密霧ノ天氣ハ晴空ト化シ近來ニナキ好天氣ヲナセザレバ左舷船尾ニ受ケテ東(真針路)ニ航走スルヲ得ルニ至レルモ風力永續セス翌二十日ニ至リテハ全ク衰へ船多ク進ハス

一月三十一日 正午位置 (南緯 三十七度 三十分 西經 十三度 三十分)

爾來數日間向一定スルコトナク時ニ吹キ時ニ衰へ進航意ノ如クナラサリシカ群島ニ近接スルニ及ンテ漸ク北北東ノ和風ヲ吹キ起シテ變轉スルコトナシ之レヲ左舷真橫ニ受ケテ進ミ速力約五哩宛ヲ得シカ本日ハ好天候ヲカキ日和ニシテ展望最トモ佳ナリシカ午後零時十五分漸ク雲表ニ聳ユル「ツリスタン」島ノ高峯ヲ左舷前方一點ノ所即チ東二分ノ一南(真方位)約五十哩ノ所ニ認メタリ漸次進ムニ從ヒ船首ニ方リ「インアクセシブル」島ノ積層雲ノ間ニ表ル、ヲ見ル前者ハ圓錐形狀ヲナセル火山の山岳ニシテ高ク雲表ニ屹立セルノ狀實ニ洋中ノ小富士山ノ趣キアリ後者ハ斷崖峻壁攀登望ムヘクモアラヌ僅カニ鮮苔ヲ以テ蔽ハル、ノミ沿岸二三ノ岩礁ノ散在スルヲ認メタリ終日白雲ヲ以テ包マル、カ如ク時々雲間ニ表ハル、ノミ午後六時半「インアクセシブル」島ヲ北東二分ノ一東(真方位)ニ望ミ距離六哩半ニシテ航過シ終ニ群島ノ南方ニ出テ、之レヲ過キリ夕刻「ナイチンゲール」島ヲ暮霞ノ間ニ認メタリ日没後風力更ニ加ハリ來リ終日晴天ナリシモ追々雲ヲ生ミ暗黒ノ天候ト化ス風力五乃至六速力七八哩ヲ得ルニ至リシカ同様之レヲ左舷ニ受ケテ東航セリ

Tristan da Cunha 群島ニ就テ

當群島ハ夙ニ葡國航海者ニヨリ發見セラレ其後十七八世紀ノ交和蘭人及ヒ佛人ニヨリ手下サレシモ現今ハ名目上英領トナレリ然レトモ島内ハ全ク無政府ノ狀態ニテ何等ノ統一ナキモ島民朴素ニシテ法權ヲ要セス古代民族ノ風アリト云フ四個ノ島ヨリナリテ三角形ヲ成シ最大島ヲ「Tristan」(高サ八千三百二十五呎)

ト稱シ以下 Inaccessible, (高サ千八百四十呎) Nightingale, (高サ千百呎ニシテ小島三個ヨリ成ル)ト呼フ他

ニ一ノ小島アリ概シテ沿岸ニ危險物少ク二哩ノ距離ニ於テ七十尋ノ水深ヲ有スヘタ投錨ハ望ムヘカラス從テ一、二月ノ交強大ナル長浪ノ起ル季節ニ於テハ是等ニ接近シテ航海シ又ハ脚踏スルハ危險ナルコトアルモ其他ニ於テハ何等ノ掛念ナシト云フ「ツリスタン」島ノ高峯ハ優ニ七十五哩ニ於テ認ムルニ難カラスト云フ最大島「ツリスタン」ニノミ島民接息シ其他ニハ居ラス一九〇三年ニ於テ人口七十五人(内男三十六、女三十九)アリ多クハ英人種ナリ島内ニ於テハ多ク馬鈴薯ヲ産スルモ勿論船舶ノ寄港殆ントナキ所ナルヲ以テ輸出等ノ事ナク島民ノ常食ノ一ツナルヘシ種々ノ家畜、羊、山羊、豚等ノ繁殖夥シト云フ海上ニテハ海豹ノ捕獲多ク其他鯨、海獅モ産シ魚類モ多シト云フ古クヨリ清水ノ供給地トシテ船舶ニ便利ヲ與ヘ來リシ所トス其島民ノ質朴單純ノ風ハ恰モ南太平洋ノ孤島「ビットケーン」ト軌ヲ同フスルモノト云フヘシ目下ハ英國ノ一教會アリト云フ毎年英國軍艦ノ寄港ヲ常トセシモ現今ハ屬行セラレサルニ似タリ本船ハ不幸ニシテ風向ノ都合ニ依リ同島ニ近接スルヲ得サリシコトヲ憾ム

二月四日 正午位置 (南緯 三十五度 五十分 西經 一度 五十六分)

「ツリスタン」ダキユナ「群島」ヲ過キテ以來吹キ續ケシ偏北又ハ偏北微東ノ疾風ハ依然トシテ移ラス益々吹キ募リ風力モ時々著シク加ハルコトアリ一晝夜ノ航程平均百五十哩ニ達シ天氣ハ概シテ良好ニシテ朝夕折々陰雲ヲ見ルニ過キス驟雨等至ラサルモ濕度著シク多ク船内乾燥セス船ハ之レヲ左舷一杯ニ受ケテ航走セシカ僅カニ東二分ノ一北(真針路)ニ進ムヲ得ルノミ而モ此兩三日偏南東方ノ流程ノ影響比較的多ク船ノ北上ヲ妨クルコト夥シ水壓平均二十九吋九ヲ示シテ多ク動カス氣温日中七十四度トナリ漸次暖氣ヲ加フ夕刻北西方ヨリ沃雲ヲ起シ強風ノ來襲アリ諸輕帆ヲ疊ミテ之レニ當リシモ須臾ニシテ舊ニ復シ再ヒ展帆ス

二月五日 正午位置 (南緯 三十五度 四十五分 東經 一度 九分半)

本日午前三時三十分南緯三十五度三十五分ノ地點ニ於テ本初子午線ヲ西ヨリ東へ通過ス引キ續キ吹キ續
 ケシ偏北ノ疾風ハ幾分右轉シテ偏北北東ノ強風ト化シ波浪亦タ漸ク加ハル風向益々航進ニ逆ヒ來ルト共
 ニ漸次東航スルノ止ムナキニ至リタリ茲ニ於テ珊瑚港出帆以來茲ニ日ヲ閱スルコト百十有一日ニ及ヒ尙ホ
 此ノ逆風ト戰ヒ時日ヲ費ヤシテ辛フシテ南東恒風帶ニ入りテ目的地(セントヘレナ)島ニ向フモ優ニ尙ホ
 日數二十餘日ヲ費スヘク然ル時ハ豫定期日ニ遅ルコト夥シク本校當局者ノ危憂ヲ醸スノ恐レアルト共ニ
 乗員ノ衛生狀態頗ル亦掛念ノ點多キモノアルアリ而シテ今ヤ南阿「ケーブタウン」港へハ約一千哩ノ距離
 ニ達シ流行風及海流ヲ利用スレハ約一週日ヲ以テ達スヘク碇泊數日ニシテ出帆スルモ多ク全日數ノ上ニ
 差異ヲ起サ、ルヘク茲ニ同港ニ寄港シテ生糧品ノ補給及ヒ乗員休養ノ事ニ決定シ午前九時半針路ヲ轉シ
 テ東南東トナシ風ヲ真横ニ受ケ速力ヲ得テ航走ス

二月九日 正午位置 (南緯 三十四度三十分 東經 十二度三十分)

連吹セシ偏北風モ終ニ六日午後二時半頃漸次北西ニ移リ暫時風威衰ヘルモノアリシカ更ニ偏西風トナリ
 其力ヲ増加シテ吹出セシヲ以テ平均六哩ノ速力ヲ得タリ天候陰曇ニシテ時々豪雨ノ至ルアリ風ヲ船尾ニ
 受ケテ東航セリ八日ニ至リテハ偏西風頗ル強烈トナリ天候不良ノ兆ヲ見ルヲ以テ諸帆ヲ疊ミテ「トツブ
 スル」一枚ノミヲ殘シタリシカ優ニ五哩ヲ得タリ海上又荒シ

在「ケーブタウン」帝國名譽領事セツビー氏及ヒ在留者古谷駒平氏宛ニテ本船寄港ノ趣キ無線電報ヲ發ス
 九日ニ至リテハ風モ衰ヘ快晴ノ天氣ト化ス夕刻ヨリ北西ノ軟風ヲ吹キ起セシヲ以テ諸帆ヲ展シテ東北東
 (真針路)ニ航走ス

二月十一日 正午位置 (南緯 三十四度二十七分 東經 十六度四十七分) 同十二日 正午位置 (南緯 三十三度四十七分 東經 十八度九分)

南東ノ和風アリ朝來天氣快晴且ツ海上平穩ナリシモ風漸ク加ハラントスルモノ、如シ「ケーブタウン」港
 ヲ距ル南西百十哩ノ地點ニ於テ午前九時半總員甲板上ニ整列シテ北東方宮城ニ面シテ遙拜式ヲ行ヒ終テ

中甲板ニ於テ勅語勸諭ノ捧讀式施行ノ後解散シテ業ヲ休ミ謹ミテ佳節ヲ奉祝セリ晝過キヨリ南東風ハ益
 益威ヲ逞フシ來リ高浪船體ヲ翻弄スルコト甚シク從テ豫定ノ針路ニ就クコト能ハス諸帆ヲ疊收シテ一葉
 ノ「メー」ントツブスルヲ以テ右舷ニ風波ヲ受ケ漂躑シテ其治マルヲ待チシカ翌十二日未明ヨリ漸次風力
 衰ヘ海上平穩ニ復セシヲ以テ午前五時四分南緯三十三度四十三分東經十七度二十分ノ地點ヨリ汽走ニ移
 ル同時ニ南東方遙カニ陸影ヲ認ム蓋シ「テーブル」山トナス即チ南七十度東(真針路)ニ針路ヲ定メテ航走
 シ午後一時十四分港口ニ於テ水先人ガ「ネット」氏乗船シ檢疫終了ノ上同二時二十五分第一埠頭ニ繫留
 ス

「サンデイエゴ」港ヨリ當港着ニ至ル迄ノ全航海日數航程及平均速力ヲ擧クレハ

日數	計	百十七日十五時三分
全航程	一萬二千七百五十六哩	
帆走日數	離	百十四日十八時五十九分
帆走日數	離	一萬二千二百九十哩
汽走日數	離	二日二十時四分
汽走日數	離	四百六十六哩
帆走一晝夜ノ平均		百〇七哩一
帆走一時間ノ平均		四哩四六
汽走一晝夜ノ平均		百六十四哩七
汽走一時間ノ平均		六哩八六

二十三日	二十四日	二十五日	二十六日	二十七日	二十八日	二十九日	三十日	三十一日	二月一日	二月二日	二月三日	二月四日	二月五日	二月六日	二月七日	二月八日	二月九日	二月十日	二月十一日	二月十二日	二月十三日	二月十四日	二月十五日	二月十六日	二月十七日	二月十八日	二月十九日	二月二十日	二月二十一日	二月二十二日	
四〇四〇	四〇五〇	四〇六〇	四〇七〇	四〇八〇	四〇九〇	四一〇〇	四一一〇	四一二〇	四一三〇	四一四〇	四一五〇	四一六〇	四一七〇	四一八〇	四一九〇	四二〇〇	四二一〇	四二二〇	四二三〇	四二四〇	四二五〇	四二六〇	四二七〇	四二八〇	四二九〇	四三〇〇	四三一〇	四三二〇	四三三〇	四三四〇	
三三四〇	三三二〇	三三〇〇	三二八〇	三二六〇	三二四〇	三二二〇	三二〇〇	三一八〇	三一六〇	三一四〇	三一二〇	三一〇〇	一二八〇	一二六〇	一二四〇	一二二〇	一二〇〇	一一八〇	一一六〇	一一四〇	一一二〇	一一〇〇	一〇八〇	一〇六〇	一〇四〇	一〇二〇	一〇〇〇	九八〇	九六〇	九四〇	
北七七東	北八一東	北五〇東	北三四東	北一一東	南二二東	南七二東	北四二東	北八四東	不定	北七七東	北七七東	北七七東	北七七東	北七七東	北七七東	北七七東	北七七東	北七七東	北七七東	北七七東	北七七東	北七七東	北七七東	北七七東	北七七東	北七七東	北七七東	北七七東	北七七東	北七七東	
一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	〇九	〇八	〇七	〇六	〇五	〇四	〇三	〇二	〇一	〇〇	九九	九八	九七	九六	九五	九四	九三	九二	九一	九〇	八九	八八	八七	
南六二東	南四八東	北三二東	南七九西	南五一西	全	全	北七一東	北七〇西	不明	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	
二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	
北微西	北微西	東南東	東南東	東南東	東南東	東南東	北微東	北微東	北微東	北微東	北微東	北微東	北微東	北微東	北微東	北微東	北微東	北微東	北微東	北微東	北微東	北微東	北微東	北微東	北微東	北微東	北微東	北微東	北微東	北微東	
二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	〇九	〇八	〇七	〇六	〇五	〇四	〇三	〇二	〇一	〇〇	九九	九八	九七	
二元七三	二元八二	三元〇〇	三元〇〇	三元〇〇	三元〇七	三元〇七	三元〇七	三元〇七	三元〇七	三元〇七	三元〇七	三元〇七	三元〇七	三元〇七	三元〇七	三元〇七	三元〇七	三元〇七	三元〇七	三元〇七	三元〇七	三元〇七	三元〇七	三元〇七	三元〇七	三元〇七	三元〇七	三元〇七	三元〇七	三元〇七	
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八

七五

三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二
四〇四〇	四〇五〇	四〇六〇	四〇七〇	四〇八〇	四〇九〇	四一〇〇	四一一〇	四一二〇	四一三〇	四一四〇	四一五〇	四一六〇	四一七〇	四一八〇	四一九〇	四二〇〇	四二一〇	四二二〇	四二三〇
八六三	八〇五	七六六	七〇五	六四五	六二六	五八八	五五〇	五一二	五〇三	四八四	四六五	四四六	四二七	四〇八	三八九	三八〇	三六一	三四二	三二三
南七〇東	南八〇東	北八九東	南七二東	不定	北六二東	北五六東	北三七東	北三二東	北五三東	北六三東	北五三東	北七九東	北七〇東	北七九東	北七三東	北七二東	北七二東	北七二東	北七二東
一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	〇九	〇八	〇七	〇六	〇五	〇四	〇三	〇二	〇一	〇〇	九九	九八	九七
全	全	南四〇東	不明	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二
全	全	北微南	北微西	北微西	北微西	北微西	北微西	北微西	北微西	北微西	北微西	北微西	北微西	北微西	北微西	北微西	北微西	北微西	北微西
二元八八	二元七四	二元六四	二元六四	二元六四	二元六四	二元六四	二元六四	二元六四	二元六四	二元六四	二元六四	二元六四	二元六四	二元六四	二元六四	二元六四	二元六四	二元六四	二元六四
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七

七四

十二日	三	不	全	不	不明	南々東	二	元	益	益
十三日	「ケーブタウン」	全	全	全	全	全	全	全	全	全

「ケーブタウン」港碇泊日誌

二月十二日 水曜 午後二時二十五分第一繫船埠頭ニ繫留ス在留日本人古谷駒平氏特ニ歡迎ノ爲メ來船アリ碇泊中ノ學生見學上ニ就テ打合せヲナス

二月十三日 木曜 船長ハ午前十時ヨリ南阿總督子爵グラッドストーン氏、總理大臣ボサ大將、市長ハンズ氏及ヒ喜望峰殖民地警備軍司令官少將ヒクマン氏ヲ、專任教官ハ税關郵便局、南阿鐵道會社ヲ公式訪問ス學生總員終日外舩拭掃塗裝ヲ行フ夕刻ヨリ士官六名古谷氏ノ晚餐會ニ招カル

本日次年度經費節減ノ報ニ接シタルヲ以テ當航海豫定航路ヲ完了スルノ見込ナキヲ以テ英國寄港ヲ中止スルノ件ニ付本校ニ電報ヲ以テ申請ス

二月十四日 金曜 午前九時名譽領事ゼツビー氏來船アリ乘員一同之レヲ舩門ニ送迎ス

午後一時ヨリ船長、一等運轉士、英語教官及ヒ學生半舩ハ當地教會ニ於テ催セル故スコット大佐ノ表品會ニ參列シ專任教官及學生半舩ハ恰モ開會中ノ南阿議會ヲ傍聽ス

本日朝來水難用水百五十噸ヲ搭載ス

夕刻ヨリ士官六名古谷氏ニ招待サル

故スコット大佐義捐金トシテ英貨八磅ヲ本船乘員一同ヨリ贈金ノ上名譽領事ノ手ヲ經テ市長ニ送達ス

二月十五日 土曜 午前九時ヨリ十一時迄及ヒ午後一時ヨリ四時迄舩内ノ公衆觀覽ヲ許ス來觀者約一千餘名

午前十時總督グラッドストーン子爵代理バグツト大尉及駐屯軍司令官代理リンド大尉ノ公式訪問ヲ受ク

夕刻ヨリゼツビー領事令嬢外數名ノ淑女來船シ學生食堂ニ於テ乘組學生ノ爲メニ特ニ音樂會ヲ開催シ十時閉會ス

二月十六日 日曜 前日同様舩内ノ公衆縱覽ヲ許可ス

午後零時半ヨリ學生總員古谷氏ノ茶話會ニ臨ム

船長、一等運轉士ハ名譽領事ノ午餐會ニ士官數名ハ茶話會ニ招待サル

南阿鐵道及港灣總理事ホーイ氏同家族及ヒ同會社役員數名ノ來觀アリ

二月十七日 月曜 午前八時半士官三名及ヒ學生總員古谷氏ノ案内ニテ電車行軍ヲ行ヒ午後四時歸船ス

午後六時本船士官食堂ニ於テ晚餐會ヲ催フシ名譽領事ゼツビー氏及ヒ家族、古谷氏及家族ヲ招待ス

本日石炭五十三噸ヲ搭載ス一噸代金二十四志

二月十八日 火曜 學生及ヒ下級船員半舩宛市内自由散步ヲ許ス

本日ヨリ南阿鐵道會社ヨリ特ニ當市附近ニ限リ一般本船乘員ニ對シテ無賃乘車ノ特典ヲ與ヘラル

午後七時ヨリ古谷氏ハ當地演劇場ニ於ケル幻燈會ニ學生總員下級船員若干名招待サル

二月十九日 水曜 學生總員ロンドンデボツチテニス會ノ招待ニ依リ參會シ競技ヲ觀覽ヲナセリ

本日航路變更認可ノ電報ヲ受領ス

二月二十日 木曜 船長外士官一名及ヒ學生總員ハ早朝ヨリ當市登山會主催者レーガー氏外數名ノ好意的案内ニテ「テールブル」山ニ登リ夕刻歸船セリ

二月二十一日 金曜 當市ガリーリック商店ヨリ特ニ本船ノ爲メ店內其他屋上ノ眺望等便宜ヲ與ヘ度旨申込アリ

午後一時ヨリ船長外士官二名及學生總員ハ當地舊城跡ナル警備隊衛舎ノ觀覽ニ赴キ一同茶菓ノ饗應ヲ受

夕刻ヨリ士官數名及ヒ若干ノ學生ハ氣象幻燈會ノ觀覽及ヒ他ノ若干學生ハ當地シーメンズミツシヨ
(海員教會)ノ招待ニ應シテ之レニ參會シ特ニ市長ノ歡迎挨拶等アリテ頗ル好意ヲ受ク

本日當地競馬會ヨリ臨場券四枚ヲ添付シテ觀覽招待ノ申込アリ

二月二十二日 土曜 午後三時ヨリ本船後甲板ニ於テ學生ノ柔道擊劍試合ヲ行ヒ茶菓ヲ與ヘテ當地知名ノ
士女ヲ招待セシカ約四十名ノ來賓アリ彼我交々歡ヲ盡シ午後五時半閉會セシカ何レモ満足シテ三々伍々
船ヲ辭セリ續イテ古谷氏家族ニ晚餐ヲ供ス

二月二十三日 日曜 午前九時ヨリ十一時迄及ヒ午後一時ヨリ四時迄船内ノ公衆觀覽ヲ許ス觀覽者約一千
名

午前午後學生及ヒ下級船員半舷宛自由散步ヲ許可ス

本日學生若干名日本名譽領事邸ノ庭園内ニ設ケアル「テニス、コート」ニ招カレ競技ヲ試ミ歸船ス

夕刻ヨリ學生部ニ於テ古谷氏家族ヲ學生食堂ニ招待シテ茶話會ヲ開催シ碇泊中ノ厚意ニ酬ヘリ

二月二十四日 月曜 午前學生及ヒ下級船員半舷上陸自由散步ヲ許可シ午後三時ヨリ學生總員ハ專任教官
引率ノ下ニ當地天文臺見學ニ趣キ臺長以下諸技師ノ懇篤ナル説明ヲ受ケテ同七時歸船ス

二月二十五日 火曜 午前學生下級船員半舷上陸ヲ許シ午後船長士官一名及ヒ學生總員當地ニ開催セル南
阿農園會ヨリ案内ヲ受ケテ觀覽ニ赴ク

船長ハ日本名譽領事、鐵道港灣、主務大臣、鐵道廳及其他二三ノ向ヘ告別ノ爲メ公式訪問シ專任教官ハ
港務部其他二三ノ向キヘ告別挨拶ニ赴ク

二月二十六日 水曜 午前九時「セント・ヘレナ」島ヘ向ケ出港ス

南阿「ケーブタウン」港事情

先年本船ハ當港ニ寄港シ當時ノ報告ニ其事情ハ既ニ詳カナルヲ以テ之レヲ省キ單ニ當港ニ關係アル海商其
他港灣ノ事情ニ就テ最近ノ統計ニ依リ其近況ヲ報スルニ止メントス

去ル一九一〇年五月三十日南阿聯邦組織ノ實施ヲ見タル以來南阿ニ於ケル諸種ノ事業設備ハ能ク整理統一

セラレ而カモ其ノ改進ヲ促シタルノ結果益々地方一般ノ好況ヲ呈シ來リ其ノ結果當市ノ年次貿易額ヲ増加

シ從テ船舶ノ出入頻繁ヲ加ヘ旅客ノ往復又繁ク南阿ノ倫敦港トシテ商業貿易ノ中心ヲ占ムルコト依然タリ

而シテ南阿聯邦組織ノ結果中央政廳ハ杜國「ブレトリア」府ニ移リシモ立法機關ハ當市ノ占ムルコト依然タリ

テ事實上南阿ノ首府タルヲ失ハサルナリ夫レ當港ハ後部ニ茫漠タル大牧場鬱蒼タル森林、累々トシテ盡ク

ルコトヲ知ラサル大金礦及ヒ金剛石礦等ノ生産地ヲ控ヘ而カモ南阿ノ他港ニ比スレハ生産地方ヘノ交通連

絡ノ優良、其距離ノ近少、港灣海陸ノ設備ノ優レルト世界商工業ノ中心タル歐米ヘノ最近距離ニ位スルコト

及ヒ其ノ天賦ノ美景ト特良ナル地方的氣候トハ相俟ツテ其牛耳ヲ執ル所以ナリ

今其港灣ノ事ヲ説クノ始メ其官憲制度ノ概要ヲ記セハ次ノ如シ

南阿聯邦ハ鐵道港灣ニ關スル監理ヲ統フルニ逓信大臣ヲ以テシ其一機關トシテ鐵道院及ヒ稅關港務部ヲ統

理スル「レールウエー、エンド、ハーバー、ボード」ト稱スル官衙ヲ設ケ之レニ委員三名書記官一名ヲ任命シ

他ニ技師長以下十名ノ技師ヲ有シテ南阿全部ニ於ケル監理ニ任シ居レリ今該官省ノ人員ノ如何ヲ示セハ

一九一一年十二月末ニ於テ白人ノ官吏總數二八、六〇六人ニシテ之レヲ前年ニ比スルニ八五五人ノ増員ア

リ然ルニ有色人ノ役員數ハ二六、一四六人ニシテ前年ニ比シテ一、四一四人ノ増員ヲ見ル勿論有色人ヲ高級

官吏ニ登用スルコトナシ

今更ニ之レヲ分類シテ一九一〇年一九一一年ノ兩年度ニ於ケル員數ヲ比較スレハ

鐵道院		一九二一年十二月	一九二〇年十二月
監督官		一四八	一四四
庶務部員		三、八二七	三、五四二
技手及ヒ見習		五、八二一	五、一五九
他ノ白人役員		一三、七五三	一三、五五一
白人工夫		三、八一二	三、九四二
白人總計		二七、三六一	二六、三三八
有色人及ヒ土人		二一、二七五	一九、八〇四
印度人		三、七七二	三、八一三
全總計		五二、四〇三	四九、九五五
港務部稅關		一九二一年十二月	一九二〇年十二月
監督官及上級官吏		二八	二七
庶務部員		二〇五	二〇〇
技手及見習		一九七	三六五
白色人役員		七五一	七四一
白人夫		六四	八〇
白人部合計		一、二四五	一、四二三
有色人及土人		九二〇	九二五
印度人		一七九	一九〇
總計		二、三四四	二、五二八
			一八四減

以上

港務部ノ白人官吏ノ數一六八減員セシハ港務部ニ屬セシ工場及屬員カ他ノ機械課ニ併合セラレシニ依ルモノニシテ又鐵道部ニテ白人工夫ノ減少ハ是レ等人夫ニ屬セシ仕事ノ轉移ニ伴フモノニシテ他ノ方面ニ於テハ六六一人ノ増員ヲナセルヲ見ル、以上ノ如ク全體ニ於テ増員ヲ見ルハ事業ノ發展ニ伴フテ止ムヲ得ストトハ謂ヘ營業者ハ其結果ノ如何ヲ掛念スルノ模様アリ

斯ノ如キ統理ニ依リ取扱ハレシ全聯邦ニ於ケル最近ノ貿易額ヲ示セハ著シキ其活潑ノ跡ヲ窺フニ足ラン
 輸入額 一九二一年 三四、九四五、四四七磅(即チ二・八パーセントノ増加)
 一九二〇年 三四、〇〇七、一七八磅(即チ二九・七パーセントノ増加)
 一九〇九年 七、七六八、六〇八磅
 然ルニ只南阿政廳ノ輸入額ノミハ減退スルノ狀アリ即チ
 一九二一年 一、九七九、九三七磅(即チ二七・二パーセントノ減少)
 一九二〇年 二、七二〇、一八九磅
 以上合計輸入額
 一九二一年 三六、九二五、三三四磅
 一九二〇年 三六、七二七、三六七磅
 増額一九八、〇一七磅即チ前年ニ比シテ〇・五四パーセントノ増加トナル
 尙之レヲ品目ニ依リ細別スレハ次ノ如シ

輸入品目	一九二一年	輸入品目	一九二一年
粧飾品美術品	二、七二二、四二六	煙	一八八、六〇六
		草	

武器彈藥類	二六一、八五二	蠟	一九七、一三六
藥製作物	三六五、〇一六	木	一、一〇六、一四三
藥材料及化學品	二、九九二、七二〇	毛織物	八九一、七六九
電線及其用品	九三〇、二五一	帽子	二四三、六七六
糧食及飲用品	四八六、六二六	農具	四〇二、三八八
家具類	六、三三六、二六二	鐵及鋼	一、二二九、〇〇五
家用器具類	六九四、九五六	革製作品(靴類ヲ含ム)	一、五四九、三四六
グリース類	五三一、六一一	機械	二、九五八、九五五
小器類	一、七九二、四一〇	油類	六八三、三四六
鐵器類	一、七七八、四〇七		

八二

之レカ輸入先ヲ百分比例ニテ示セハ

英國	五八・三パーセント	加奈陀	一・八パーセント
印度	二・四	濠洲及ピタスマニア	四・三
他ノ英領諸殖民地	一・六		
合計	六八・四		
白耳義	二・一	北米合衆國	八・〇
佛蘭	一・六	獨逸國	九・六
和蘭	一・八	瑞典國	一・九
ブラジル國	一・七	他ノ諸國	四・九

輸出額 三二・六

一九一一年 五七、〇二四、〇〇〇磅
 一九一〇年 五三、六〇九、三四〇磅
 増額三、四一四、六六〇磅即チ前年ニ對シテ六・四磅パーセントノ増加トナル
 但シ一九一一年ニ於テ
 (一)南阿品ヲ海外ニ出セシモノ
 (二)南阿品ヲ北方「ローデシヤ」地方ニ出セシモノ
 他ノ殘額ハ輸入品ヲ更ニ輸出セシモノ

五四、九〇七、二六三磅
 四八二、〇九〇磅

更ニ此等輸出品目ヲ示シテ前年度額ト比較セハ

品目	一九一一年	一九一〇年	品目	一九一一年	一九一〇年
蘆荳(藥品)	七、九〇九	七、五二六	飼草	三〇、一四九	四、七七八
動物物	五〇、〇一六	四、六〇七	糧食及酒類	七五、九七七	九六、一四〇
生石絨	二五、二一〇	二、二二五	毛	三五、〇六四、三四四	三、七九〇、七九五
幾那皮(藥品)	二八、九五七	二、九四三	獸皮	九七、七八四	九〇三、一六四
爆發物	一三、九三七	二五、〇一九	角類	一、二六四、四三二	一、三〇九、五三七
ブチユール	二九、六四七	二、四四八	鯨油	一〇、六七九	九、二五五
石炭	一〇、八八〇、八八〇	九、九一四、八六六	錫	六、一六三	六、一九四
銅	五七三、七三七	四、七六、七三三	煙草	二、四、六九一	一、七五、九九四
金剛石	八、二八一、九〇七	八、四七九、三六六		二〇、六八八	一、八、九二四

八三

萬年花	二二五三、四〇	二二七二、八四六	二二、六二七	二二、九四四
鳥羽	五、二四五	七、四七八	三、八九八、八八	三、八〇〇、八三〇
駝		羊	殘	物

八四

次キニ寄港地「ケーブタウン」(當地ニテハ港ヲ指スニ「ケーブル」灣ト呼ヒ市街ヲ呼フニ「ケーブタウン」ト稱フルカ如シ)ノ貿易状態ヲ示スニ先チ其ノ古キ築港ノ歴史及ヒ現況ヲ述ヘントス

往昔葡國航海家バーソロミューチャーニスニ依リ發見セラレシ喜望峯、次テバスコダガマニ依リ冒險的迂廻航ノ遂行アリシ後和蘭人バンリエベツグニ依リ開發ノ曙光ヲ與ヘラレシ當港モ治亂興亡幾年ヲ送リ和蘭ノ勢衰ヘテ終ニ十八世紀ノ初葉英國ノ羈範ニ屬スル迄東亞ニ往復スル帆船ノ輻輳織ルカ如キノ觀ヲ呈セシカ元來此「ケーブル」灣ハ後方ニ高サ三千五百餘呎ノ「ケーブル」山アリテ其絶壁ヨリノ吹キ下ロシハ風力猛烈ヲ極ムルコト頻々ニシテ幾多ノ船舶人命ハ此ノ靜波鏡ノ如キ灣中ニ葬ラレシモノニシテ夙ニ人工ノ防波堤ヲ築造スルノ議ハ多クノ人士ニ認唱セラレシカ未タ南阿ノ寶庫ハ土深ク埋隱セラレシ當時ニシテ其財源ヲ求ムルニ由ナク僅カニ一七四三年和蘭政府ノ手ニ依リ強テ第一着手トシテ今日ノ「マヴイルボイント」燈臺(現今ノ港口ヨリ北西方四哩ノ所ニアリ)附近ヨリ防波堤ヲ設計セシト雖トモ資力續カス勿論不成功ニ終リ現今尙ホ當年ノ餘跡ヲ存シテ白浪ニ洗ハレツ、アルヲ認ム而シテ終ニ一八五六年英國海軍測量技師ウベツチ大佐ニ依リ有力ナル築港計畫ノ實現ヲ見ルマテハ只空シク不便利ヲ忍ヒ來リシモノトス大佐ノ計畫ハ悉ク英本國政府ノ採用スル所トナリ一八五八年ニハ其財源支出ノ方法既ニ講セラレテ故サ「ジョンクード」氏築港委員長トナリ三千呎ノ防波堤及ヒ内外二個ノ濕船渠ノ計畫案成リ其費額ヲ三九九、〇〇〇磅トナセリ而シテ一八六〇年アルフレッド親王殿下ノ來臨アリテ築港第一礎石ヲ据ヘ玉フアリ而シテ九年間工事ヲ繼續シテ一八六九年即チ北方「スエズ」運河ノ開通ト又南阿ノ大寶庫金剛石礦ノ發見ト時ヲ同ウシテ工事ヲ終リ同年十一月船舶ノ出入ヲ公許シタルモノトス

翌年七月十一日再ヒアルフレッド親王殿下臨場ノ上竣工式ヲ舉ケラル、ニ至レリ當時防波堤ノ延長僅カニ一、七九〇呎ニシテ最端ニ重量八十噸ノ「コンクリート」製石塊ヲ据エテ強牢ナラシメアリキ然ルニ一八七六年築港委員長クード氏臨檢ノ結果更ニ其擴張ノ必要ヲ認メテ終ニ又其後工ヲ起シテ竣成シ今日ノ港灣ヲ見ルニ至レリ即チ防波堤全長三、六四〇呎ニシテ尙ホ延長ノ餘地ヲ保チ加フルニ船渠内部ニ繫船岸ヲ築造シ之レニ埠頭ヲ突出セシメシモノトス然レトモ現今既ニ諸設備一般ニ老朽ニ近ツキ水深等充分ナラス改築問題ハ時々云爲セラル、モノ、如シ

繫船岸ハ第一、第二、第三、第四、第五、第六、第七、第八ノ八箇所ヲ有シ第八繫船岸トハ東繫船岸ノ一部ヲ云ヒ第一繫船岸トハ南繫船岸ノ一部ヲ云フ港内ノ突堤ハ第一、第二、第三、第四ノ四個ヲ有シ濕船渠ヲ大小二個ニ區分シ外船渠ヲ「ビクトリア」船渠ト稱シテ全面積六十七英加ヲ占メ最深部三十五呎最淺部二十呎(低潮面)トス而シテ右四個ノ突堤ハ即チ此ノ内ニ設ケラレアリ次キニ内船渠ヲ「アルフレッド」船渠ト稱ヘ面積八英加半

東繫船岸及ヒ第二繫船岸ヲ以テ船渠ノ入口ヲ形成シ前者ノ全長七八六呎後者ノ五三〇呎ヲ有シ入口ノ幅員二五〇呎タリ而シテ南繫船岸ハ防波堤ノ南方一、六六六呎ノ所ニ東方ニ一、〇六〇呎ノ延長ヲナシ其端ニ右ノ第二繫船岸ハ北方ニ向ヒ屈曲シテ連レルモノナリ而シテ各繫船岸ノ全長ヲ舉ケレバ

第一、千九百七十呎 第二、五百三十呎 第三、(第二繫船岸ノ外側ヲ云フ) 第四、第五、不詳 第六、六百〇呎 第七、四百九十呎 第八、七百三十八呎ナリ

突堤ノ全長 第一、六百呎水深十九呎 第二、五百呎水深二十七呎 第三、五百七十呎水深三十呎 第四、六百七十呎水深三十呎

内船渠繫船岸全長二千四百呎入口ノ長サ二百呎入口ノ幅百呎ニシテ全港ニ涉リテ船舶ヲ繫留スヘキ岸壁埠頭ノ總延長二哩四分ノ一トス

八五

之レニ電氣裝置ノ揚貨機及ヒ石炭揚卸機ヲ備ヘ揚貨機ノ最大ナルハ五十噸ニ堪ユルモノ一臺アリテ海陸ノ設備可ナリニ整備セルモノトス

防波堤ノ破損 千九百十年七月、八月ノ交ニ於テ北西ノ暴風アリ強浪ヲ伴フテ來襲シ防波堤ニ多大ノ損害ヲ醸セルヲ以テ直チニ修理ニ取リ掛リ「コンクリート」六百四十九噸ヲ投シテ四個ノ大ナル防波物ヲ造リ又七百六十五立方碼ノ容積ヲ有スル砂礫製防波物一個ヲ建立セリ且又防波堤上ノ運動通路モ著シキ損害ヲ受ケシモ悉ク修理セリ

繫船岸突堤モ船舶ノ往來頻繁ナルヲ以テ漸次老朽スルモ一々修理ヲ加ヘツ、アルヲ以テ目下ノ所差支ナシト云フ但シ費額ノ増大ヲ加フルハ免レス

(浚渫事業) 目今使用中ノ浚渫機械ヲ用井必要ニ應シ絶エス之レヲ勵行シツ、アリ尙ホ二百噸形ニシテ最新ナル浚渫機ヲ具フル船體モ近々出來上ルヲ以テ更ニ該事業ヲシテ進捗セシムヘシ

乾船渠及ヒ船架各一個ヲ有ス

乾船渠 全長五百二十九呎六 底部ノ長サ五百呎
入口ノ幅六十五呎九 高潮時ノ深サ二十四呎四 所有者、Table bay harbour board.

船 架 全長八百六十呎 Cradle ノ長サ百八十四呎

高潮時ニ於ケル Keel block ノ吃水 前部十五呎 後部二十二呎
揚卸力 千噸 所有者 Do.

乾船渠ハ千九百十一年ニ於テ百九十七日ノ執業日數ヲ要シ船舶三十六隻ノ入渠船アリ内九隻ハ港務部ニ屬スルモノトス現今ノ船渠門扉ハ老朽ニ屬スルヲ以テ漸次新物ニ換フルノ豫案アリ又十五噸ノ揚貨機ヲ据エ付クル筈ナリト云フ

船架ハ千九百十一年ニ於テ五十二隻ノ上架船アリ二百八十八日ノ執業日數ヲ要シ内二十三隻ハ港務部所屬

船トス

清水ノ供給、船舶ノ出入近時頻繁ヲ加フルヲ以テ自然給水高モ増加スルハ當然ナルガ

一九一一年 船舶ノ搭載セシモノ 三一、〇二一、九五〇ガロン
其他ノ用水 三〇、五〇五、六五〇

一九一〇年 全 二二、八六〇、六〇〇
全 二六、〇九〇、七〇〇

水質ハ良好ナレトモ淡赤色ヲ帶フ一噸ノ現價一志六片

(果物輸出ノ裝置) 近時六棟ノ冷蔵庫裝置完成シ一九一〇年十二月ヨリ開始シタルヲ以テ果物ノ船積季節ニハ非常ノ便宜ヲ與ヘ從テ荷物ノ聚集高ヲ増加シタルコト多大ナリトス該冷蔵庫ノ全容積五百五十噸トス防波堤上ノ道路鐵道ノ修理モ現今既ニ結了シ倉庫ノ不足セシ分モ填補建立ヲ了セリ船渠構内及其他へ通スル船渠鐵道ノ全延長一九一一年末ニ於テ二十三哩五十三鏈ヲ算セリ

(防波堤燈臺) 電氣裝置ヲ以テ點火ス防波堤端ニアリ高サ四十四呎白赤混交ニ塗色セリ北三十七度西(磁針方位) 南八度西(磁針方位)ノ間即チ二百二十五度ノ間ヲ照ラシ赤色明暗燈ニシテ光期十秒間暗期五秒間トス

(時計臺) 「アルフレッド」船渠ニ設立セラレ南阿地方時(東經二十度ノ平時)ヲ指示シ中央天文臺ヨリ電氣裝置ニ依リ之レヲ動カシ各五十秒及六十秒時ニ於テ電流計ノ偏向ヲ示サ、ル時ハ正確ナルコトヲ意味シ直チニ經線儀ノ比較ニ適スルモノトス

報時球ハ小高キ港務部船渠構内ノ棟上ニアリ南阿地方標準時正午五分前ニ頂上ニ上リ正午ニ落下ス(休日ヲ除ク)

(新事業) 第六繫船岸ヲ擴張スルコト是ニシテ該所ニハ五十噸揚貨機ノ据エアリシ場所ニシテ一九一〇年八

月ヨリ工事ヲ開始シ現今尙ホ人夫ヲ使役シテ工事中ナルヲ見タリ即チ長六百呎幅五十呎ニ擴張シ東端ニ於テ水深三十四呎六吋西端ニ於テ二十八呎タルヲ期スルモノトス該工事完了ヲ俟ツテ更ニ第二突堤ノ木造ヲ改良シテ岸壁タラシムルノ計畫アリ其後更ニ繫船岸増設ノ設計等アリト云フ然レトモ到底充分ナル増設ハ現時ノ防波堤内ニ於テハ六ヶ敷カルヘク若シ之レヲ行ハント欲スレハ最大工事タル防波堤ノ延長ヲ行ハサルヘカラサルモ容易ノ事業ニアラサル可シ

(新曳船)マルコニー無線電信機及ヒチエース式曳船機ヲ有スル「タツクポート」一隻注文建造中ナレハ不日進水スヘシ尙ホ百噸揚貨機ヲ有スル浮船ノ計畫アリト云フ

今次ニ右ノ港灣ニ於テノ最近海運業ノ數字ヲ示シ年次著シキ貿易ノ發達ヲ示シツ、アルノ狀ヲ報セントス「ケーブタウン」港ニ陸揚ケセシ貨物ノ噸數

一九一〇年 六八八、二五〇噸
一九一一年 七三三、七三二噸 前年ニ比シテ六・五パーセントノ増額

全港ノ輸出品ヲ大別セル金額

一九一一年 一九一〇年

金 剛 石 八、二八一、九〇七 八、四八〇、八七五
金 三四、〇〇〇、五八一 三三、二六八、一二二
南阿ノ物産 一、三八六、七五四 一、一七三、四〇三

全港輸出貨物ノ噸數

一九一一年 二六二、六三〇噸 一九一〇年 一五六、〇八七噸

同輸入金額 六、〇〇四、六七五磅

出入船舶數及總噸數

一九一一年 汽船 一、二三四隻 總噸數合計 五、七三四、二四四噸
帆船 二九隻

一九一〇年 汽船 一、〇七二隻 總噸數合計 四、八一六、四九三噸
帆船 三七隻

即チ一九一〇年ニ比シテ一九一一年ニ於テ一五四隻總噸數九一七、七五一噸ノ増加ヲ示セリ此外ニ尙ホ軍艦ノ出入アリ左ノ如シ

一九一一年 九隻 總噸數合計 二六、六三五噸
一九一〇年 十四隻 同 八〇、五八八噸

旅客ノ往復數

上陸者 一九一一年 三二、二七五人 前年ニ比シ 増加二、六九三人
一九一〇年 二八、五八三人

渡航者 一九一一年 二八、七〇二人 前年ニ比シ 増加七、二八六人
一九一〇年 二一、四一六人

旅客附屬荷物噸數 一九一一年 九九、六七八噸 前年ニ比シ 増加一〇、〇四三噸
一九一〇年 八九、六三五噸

當港ニ於テ取扱ハレシ貨物噸數ヲ類別シテ前年ト比較スレハ次ノ如キ増加ヲ見ルヘシ尙ホ石炭ノ表額ノ如キモ前年ノ算定法ト相違セシ所アルヲ以テ事實ハ更ニ増加スヘキモノトス

品目	種別	一九一一年	一九一〇年	増	減
陸揚		四,011,100	三,741,105	三,599,950	

總 計	石		穀類及產物		木		雜貨					
	炭		材		貨		貨					
	轉船	陸揚	轉船	陸揚	轉船	陸揚	轉船	陸揚				
	計	計	計	計	計	計	計	計				
一、二四八〇五	八二、九〇八	二六〇、六三〇	七九、二六七	五〇八、〇六四	七六、九〇一	二五、八六六	三〇五、二九七	八六、四四二	六〇、八八七	二、四四三	一〇、四〇九	
四九五、二八八	六〇、一三四	一五、〇八七	七九、〇六七	三四〇、五二六	五七、三五六	二六、一五四	二五七、〇〇六	一〇三、八八〇	二、四四三	三、三三五	一七、四三八	
一八九、五二七	三、七七四	一〇四、五四三	六二、一〇〇	一六七、五四八	一九、五四五	九、九七二	四八、二九一	一七、四三八	六九	六九	七五	

九〇

雜貨及石炭ノ著シキ増額ヲ見テ他ノ二項目品ノ約一、六七七噸ノ陸揚高、減少ヲ見ルモ是レ自國生産物ヲ自己ノ需用ニ供ヘタルカ爲メ陸揚船積共ニ減少セシ所以ニシテ一方内地鐵道ニヨリ運搬セラレシ是等ノ數量ハ前年ニ比シテ三倍強ヲ呈セルヲ見テモ明カナリトス然レトモ玉蜀黍ノ船積ハ前年ニ比シテ五、八六二噸ノ増額ニシテ三四四、四四一袋ノ輸出ヲナシ又果實類モ増加セルコト三三〇噸ニシテ一九一一年ノ輸出高一、九五六噸タリ

石炭ハ當港ニ於ケル諸課稅率ノ減額ト種々ノ改良手段ノ實施ニ依リ前年ニ比シテ著シキ増加ヲ呈シタルモノニシテ殊ニ一九一〇年九月ヨリ急ニ増加ノ現象ヲ呈シ始メタリ而シテ「ナタル」炭、「ウエルツシ」炭、「ヲ占メリ」尙ホ石炭ニ對スル萬端ノ手段ハ改良セラレツ、アルヲ以テ益々増加ヲ呈スヘク又決シテ價格暴騰等ノ事ナカルヘシ現價一噸二十四志トス

船渠構内及ヒ市街間ノ鐵道交通ノ狀況ヲ示セハ
 一九一一年 切符賣上高(單個) 一週間分 二四五、五一七人
 一ヶ月分 二、四〇九人
 一九一〇年 切符賣上高(單個) 一週間分 一、五一一人
 一ヶ月分 一、四三三人
 一ヶ月分 一、四三三人
 最後ニ當市ノ人口最近ノ數ヲ示セハ
 一九一一年 六七、一七〇人(白色有色人トモ)
 内 白色人 二九、八六三人
 尙當市ニハ最近ニ於テ無線電信局ヲ設置シ公衆ノ用ニ供ス

本船碇泊中ノ諸食糧品現價一覽ヲ示セハ左ノ如シ

品名	數量	價格	品名	數量	價格
魚類	一	七志	鶏肉	一	一志
牛	一	六志	ハム	一	一志
鶏卵	一	一志	パスタ	一	一志
同薯	百	八志	水塊	一	一志
馬鈴	百	九志	バナナ	一	一志
玉葱	百	一志	ボロ	一	一志
蜜柑	百	一志	ミル	一	一志
麥粉(パン用)	百	三志	ボロ	一	一志
赤砂糖	百	六志	ボロ	一	一志
白砂糖	百	九志	ボロ	一	一志
コンビーフ及ビーフ	一	九志	ボロ	一	一志
スビーフ	一	六志	ボロ	一	一志

「ケーブタウン」港出帆ノ現狀

職員 十二名
 學生 百二十五名
 備人 四十四名
 計 百八十一名

吃水 前部 十六呎一時
 吃水 後部 十八呎
 吃水 平均 十七呎五吋
 吃水差 一呎十一吋
 排水量 三千四百十五噸
 「メタセセンター」ノ高さ 二呎九吋
 飲料水 七十八噸
 但以下壓艙水函ニ清水ヲ充タシアルヲ以テ之レヲ補フコトヲ得
 フオアービークタンク 七五〇
 第一パラストタンク 一五〇
 第二同 二三〇
 エンジンタンク 一七〇
 ボイラータンク 三七五
 第一アフターディーブタンク 五一五
 第二同 七一五
 アフタービークタンク 一七五
 計三百九噸
 石炭 石炭庫内 一七〇
 補充石炭庫内 五〇
 計二百二十噸
 糧食 六十五噸

自南阿「ケーブタウン」港至「セントヘレナ」島

二月二十六日 午前九時十二分「セントヘレナ」島へ向ケ出港ス

港口ニ於テ水先人ヲ卸ロシ針路ヲ西北西(真針路)ニ定ム午前十時十二分(ロツベン)島燈臺ヲ右舷北北東(真方位)距離三哩四分ノニテ航過シ午後四時南緯三十三度三十四分東經十七度二十七分ノ地點ニ於テ汽走ヲ止メ總帆ヲ展ス偏西ノ微風アリシモ漸次衰ヘ殆ント無風トナル

二月二十七日 正午位置 (南緯 三十三度 十五分 東經 十七度 二十五分)

正午過キヨリ偏南南東ノ和風漸ク起リ夕刻ニハ疾風トナリ波稍加ハリ長濤ヲ伴フ速力優ニ八哩宛ヲ得ルニ至ル蓋シ南東恒風帯ニ入りシモノナルヘシ天氣良好ニシテ颯雨ノ至ルナシ朝夕ハ冷涼ヲ覺エタリ

二月二十八日 正午位置 (南緯 三十一度 七分 東經 十四度 四十八分)

終日南南東ノ恒風ハ風力五ヲ示シ之レヲ左舷船尾ニ受ケテ快走ス速力同様八哩宛ヲ得波頂白ケレトモ強テ高カラス長浪モ失セ海上頗ル平穩ニシテ氣温六十八度偏北ノ海流十七哩餘ヲ感觸ス風位變轉スルコト少ナシ本日「ローヤル」ヤードレヲ揚ケテ之レヲ展帆ス

三月三日 正午位置 (南緯 二十六度 十四分 東經 七度 二十九分)

連吹セシ南南東ノ疾風ハ漸次南東方ニ變轉シ風力又本日未明ヨリ衰ヘ來レリ北西四分ノ三西(真針路)ニ保チシ針路ヲ二日朝ヨリ北西微西二分ノ一西(真針路)ニ轉針シタルモ尙ホ船尾ヨリ風ヲ受クルノ不利ヲ醸シツ、アルヲ以テ北西微北(真針路)及ヒ北西微西二分ノ一西(真針路)ノ間ニ最モ航力ヲ得ルニ勉メテ操舵スルコトニ定ム正午過キヨリ又風漸次加ハリ來ルモノ、如ク波頂白ク三哩乃至四哩ヲ得朝夕ハ多ク曇天ニシテ晝間ハ概シテ晴ル、ヲ常トシ一時冷氣ヲ覺ヘシカ本日ハ日中ノ氣温稍々加ハリ七十三度ニ達ス颯雨等ナシ

三月五日 正午位置 (南緯 二十四度 四十三分 東經 五度 四十八分)

三日正午前後ヨリ衰微セシ恒風ハ終ニ殆ント力ヲ失シ引キ續キ本日ニ至ル迄吹來セス僅カニ船體ハ海流ト至輕風トニヨリ幾分ノ進航ヲナスニ過キス氣壓連日整然トシテ平均二十九吋九ヲ示シ朝夕ハ同様雲ヲ生シ日中ハ晴ル、ヲ常トス本日ノ如キハ天空拭フカ如ク快晴シ海面又鏡ノ如ク僅カニ長濤ノ至ルアルノミ氣温日中七十七度ニ達シタルヲ以テ總員夏服ヲ用フ

午前九時ヨリ火災及ヒ防水部署操練ヲ施行シテ最後ニ溺者救助操練ニ移リ折カラノ至輕風ニヨリ脚躡法ヲ行ヒ右舷第五號艇ヲ卸ロシ最初溺者ニ擬セタル空樽及ヒ同時ニ投下セシ救命浮環ノ拾ヒ取り方ヲ行ヒ無事十五分時ニシテ之レヲ救收シ二十分時ニシテ歸船セリ、夕刻ヨリ偏南南東ノ軟風至リ之レヲ左舷船尾ニ受ケテ航走スルヲ得タリ漸次風力ヲ増スモノ、如シ

三月八日 正午位置 (南緯 二十二度 三十分 東經 二度 十六分)

五日夕刻ヨリ吹キ起セシ南南東風ハ其後力ヲ加ヘ來リ六日ニハ時々五哩乃至六哩ノ速力ヲ示スニ至リシモ風力永續スルコトナク夕刻ヨリ又々減衰シ風向モ漸次左轉シテ南東ヨリ東南東ヲ經テ終ニ偏東風トナルコトアリ殊ニ翌七日ノ如キハ北東ノ軟風ヲ吹キ送ルコトスラアリテ斯ノ南東恒風帯ノ流行風トシテハ珍ラシキモノトス日没頃ヨリハ全ク風衰ヘ僅カニ操舵ニ堪ユルノミトナル、風帆垂レ海面又鏡ノ如ク星群輝キテ降ランカ如ク八日ニ至リテモ終日風ナク日光甲板ヲ照ラシテ炎暑漸ク強シ氣壓整然トシテ著シキ變動ナク平均二十九吋九ヲ示シ颯雨ノ襲來更ニナシ、本日ハ乗員ノ寢具被服類ヲ甲板ニ乾燥消毒ス海流ノ影響多カラサルモ概シテ北流スルカ如シ兩三日間引キ續キ快晴ナリ

三月十一日 正午位置 (南緯 二十度 二十五分 東經 零度 二十五分)

九日午後五時頃ヨリ漸ク南南東ノ輕風ヲ起シ二哩宛ヲ得ルニ至リシカ翌十日ニ至リテハ風力稍々加ハリ風位時々變移スルモ概シテ南東ノ軟風ニシテ速力三哩半宛ヲ得シカ日没後ニ於テハ四哩餘ニ達セリ毎日

快晴ニシテ日光輝キ日中ノ温度七十七度ナルモ甚シク炎暑ヲ覺エヌ朝夕ハ冷涼ナリ
十一日午前六時四十分南緯二十度三十二分ニ於テ本初子午線ヲ通過シテ再ヒ西經ニ入レリ朝來風力ヲ増
シ偏南東ノ和風トナリ速力六浬ニ達セリ天候頗ル佳良ニシテ平穩無事ナリ午後八時半右舷前方ヨリ一隻
ノ汽船ノ航過スルニ遇ヒ彼レ先ツ發光信號ヲ以テ本船名ヲ尋ネシヲ以テ直チニ之レニ應シ左ノ如キ信號
ヲ交換セリ

本 船

Japanese Training ship "Taisei maru"

他 船

What ship?

St. Helena.

Where bound?

What Ship?

Whakatane, Newzealand.

Where bound?

St. John to Melbourne.

Good-bye.

終ニ距離遠カリシヲ以テ信號ヲ止ム

三月十三日 正午位置 (南緯 十七度五十九分 西經 三度四十分)

十一日以來ノ南東恒風ハ稍々勢力ヲ加エテ連吹シ平均五浬ノ速力ヲ以テ航走シ目的港ヘ直航スルコトヲ
得シカ十三日未明ヨリ一天陰曇ト化シ驟雨ノ襲來繁ク風位又一定スルコトナク正午過キヨリ風力頓ニ衰
ヘヌ氣壓ノ變異ナク天候ハ良好ナリ折々日光洩ル微弱ナレトモ連日偏東南東ノ海流ヲ感スルヲ常トセリ
午後ニ至リ更ニ又南東ノ和風至リ豫定ノ針路ヲ保チ速力五浬宛ヲ得

三月十四日 正午位置 (南緯 十六度四十四分 西經 五度四十分)

天氣快晴ニシテ南東恒風ハ勢ヲ加エ來リ着港日沒後ニ及フヲ以テ正午頃ヨリ諸帆ヲ減收シテ「トツブス
ル」三枚ヲ以テ航走ス午後二時十五分「セントヘレナ」島ヲ左舷前方北西二分ノ一西(真方位)距離約四十

五浬ノ處ニ望ム

三月十五日 入港

午前六時二十四分諸帆ヲ疊ミテ汽走ニ移リ島ノ東側ヨリ北角ヲ過キリテ「ゼームスタウン」港ヘ向フ

午前八時二十分港内ニ投錨ス水深十四尋錨鎖七十五尋海底細砂

錨地方位 「ラダーヒル」信號竿 南二十五度西

「ヒツクシャル」角 南七十三度西

「マンデン」岬 南五十度東 (方位ハ磁計方位)

「クープタウン」港ヨリ當港着ニ至ル迄ノ全航海日數航程及ヒ平均速力ヲ擧クレハ

日數總計 十七日一時十二分

全 航 程 一千七百十三浬

内

帆 走 日 數 十六日十五時二十七分

帆 走 距 離 一千六百四十四浬

帆 走 一晝夜ノ平均 九十九浬〇四

帆 走 一時間ノ平均 四浬一三

汽 走 日 數 九時四十五分

汽 走 距 離 六十九浬

汽 走 一晝夜ノ平均 百七十二浬五

汽 走 一時間ノ平均 七浬一九

着港吃水 前部十四呎十吋

後部十八呎〇吋

第八次遠洋航海往航自「ケーブタウン」至「ゼームスタウン」

月日	緯度	經度	針路	航程	海流向	流速	風向	風力	晴雨計	氣温	海温
二月 二十六日	南度分 三三・七	東度分 一八・三	不定	三	不明	不明	南西微西	一	元八五	七	七
二月 二十七日	三三・〇	一七・五半	北四〇西	四	北一〇東	四	北西微北	一	元八九	七	七
三月 二十八日	三三・七半	一四・八	北四七西	一三	北七東	七	南東微南	五	元九五	六	七
三月 二十九日	三三・九	一二・三半	北五〇西	一七	北八二東	二	南微東	四	元八五	七	七
三月 三十日	三三・七半	九・九	北五〇西	一七	北二六東	九	南東微東	四	元九四	七	七
三月 三十一日	三三・七半	七・九	北五九西	二	南七五東	二	南東	二	元九三	七	七
三月 一日	三三・四半	六・七	北四九西	二	不明	二	東南東	一	元九三	七	七
三月 二日	三三・二	五・八	北四九西	五	不明	五	東南東	一	元九三	七	七
三月 三日	三三・二	四・三半	北四〇西	六	全	全	南東微南	一	元九三	七	七
三月 四日	三三・二	三・三半	北四〇西	六	全	全	南東微南	一	元九三	七	七
三月 五日	三三・二	二・六	北五三西	一三	南九東	四	東微南	三	元九三	七	七
三月 六日	三三・〇	一・六	北六五西	二二	南三四西	三	北東微東	三	元九三	七	七
三月 七日	三三・〇	〇・五	北四七西	二二	東	三	東微北	一	元九三	七	七
三月 八日	三三・二	〇・五	北四九西	七	北三八西	三	東南東	二	元九四	七	七
三月 九日	三三・五	〇・五	北五二西	七	南五〇東	二	南東	三	元九八	七	七
三月 十日	三三・七	〇・五	北五七西	二	南四五東	五	南東	三	三〇一	七	七
三月 十一日	三三・七	三・四	北四四西	二〇	南五東	六	南々東	三	元九六	七	七

「セントヘレナ」島「ゼームスタウン」港碇泊日誌

三月十五日 土曜 午前八時二十分入港投錨ス検査醫來船ノ上定規ノ手續ヲ了ス
 船長ハ直ニ本島政廳ノ公式訪問ヲナセシニ引キ續キ知事代理トシテ、マシユー陸軍少佐返禮ノ爲メ來船セリ
 學生ハ外舷ヲ拭掃ス、昨年十一月中旬頃迄ノ郵便物ヲ受領ス
 三月十六日 日曜 學生下級船員半舷宛ヲ上陸自由散步ヲ許ス、ナポレオン一世ノ故墓故居ヲ訪フモノ多ク船内來觀者亦多シ
 三月十七日 月曜 學生下級船員ノ半舷上陸ヲ許ス
 本日清水三十二噸(本島ノ二十一噸即チ二百五十二「ガロン」ヲ一噸トナセリ)ヲ搭載ス、一噸代金六志當地「バブテラスト、チャーチ、インスチテウト」ヨリ乗員全部ニ對シ其ノ所轄ノ圖書室、遊戯場等ヲ開放シテ休憩ニ宛テタキ旨ノ申込ミアリ追次學生ノ訪フモノ多ク厚意ヲ受ク
 三月十八日 火曜 學生下級船員ノ自由散步ヲ許ス
 本日午前六時「ユニオンカッスル」會社汽船一隻英國ヨリ寄港シテ正午南阿ニ向フ
 午前九時英國軍艦「ハイアシンス」號入港投錨ス船長ハ直チニ之レヲ公式訪問セシニ折返シテ同艦長アンダーソン大佐ノ答禮アリ
 三月十九日 水曜 午後三時半ヨリ本島知事官舎庭園ニ於テ特ニ本船ノ爲メニ園遊會ノ開催アリ船長以下士官數名及ヒ學生半舷員之レニ參會シ尙ホ島内主ナル士女ノ來會者多數ニシテ茶菓ノ饗應、諸遊戯等ノ

催シアリ彼我交々歎ヲ盡シテ午後六時散會ス

船長ハ本日午前十時ヨリ政廳其他碇泊中厚意ヲ受ケシ向キヘ告別ノ爲メ公式訪問ヲナス

三月二十日 木曜 本日午前十一時出港南米「リオデジャネイロ」港ニ向フ

「セントヘレナ」島事情

本島ハ南太西洋中ニ起伏スル火山脈系ノ高峯ニシテ南方二千三百二十哩ノ「ツリスタンダキユナ」群島及ヒ北西方七百哩ノ「アツセンシヨシ」島トハ其系ヲ一ツニスルモノトス島ノ北西部ニ位スル「ラダーヒル」觀測所ハ南緯十五度五十五分西經五度四十二分三十秒ニ位ス其廣袤僅カニ四十七平方哩ニシテ長サ(東西)十哩半、幅(南北)六哩半ニ過キササル小島ニシテ悉ク火山ノ熔岩ヨリ成リ沿岸ハ峻壁ニシテ嶮絶水深麓ヨリ深シ最高峰ヲ「デアアナスビーク」ト呼ビ海拔二千七百四呎ニシテ次キニ「カツコルドビーク」又海拔二千六百七十七呎ヲ有シ以下多クノ丘陵起伏シテ平地ハ殆ンド見ルコトナシ海上ヨリ之レヲ望見スレハ頗ル殺風景ヲ呈スル赤土秃境ノ觀ヲ呈スルト雖トモ一度上陸シテ羊腸タル坂路ヲ攀シテ丘峻ヲ超ヘンカ内部ハ樹木草苔面白ク茂リ恰モ日本式庭園ノ如ク牧羊牧牛ノ三々伍々タル孤島ノ風景頗ル妙タリ、古ヘ其發見當時ニ於テハ海岸ヨリ既ニ草木繁茂シテ人ノ攀登タニ疑ハシキノ思アリシト云フモ現今ハ全ク然ラスシテ海岸地方ハ秃頭ヲ呈セルモノ是レ追次薪材、建築等ニ亂伐ヲ企テタルカ爲メニシテ從テ降雨ノ量ヲ減シ河水ノ汎濫ヲ起ス憂ヲ醸セリト云フ人口全島ニ於テ三千五百二十人(一九一一年調)ヲ有ス

「歴史」 試ミニ本島ノ歴史ヲ尋ヌルニ西紀千五百二十一年五月二十一日葡國海將ジユアンデノバスコテラ東印度方面ヨリ歸航ノ途中圖ラスモ發見スル所ニ係リ恰モ當日ハコンスタンタイン大帝ノ母君セントヘレナ后ノ生誕日ニ相當セシノ故ヲ以テ其名ヲ島名ニ冠セシモノナリト云フ其後千五百十三年同國特志家フアノナンドロベス幾多ノ困難ヲ排シテ黒奴數名ヲ具シテ茲ニ移住セシ迄ハ殆ント何人モ之レニ關スルモノアラザリシカ如ク以來追々印度方面ニ往復スル船舶ノ給水地トシテ僅カニ認メラレシニ過キサリキ而シテ其後百餘年間ハ只漠トシテ何等傳フルモノナカリシカ一六四五年ニ至リ葡國ハ本島ノ利得少キヲ見テ終ニ之レヲ放擲スルニ至リシカ其頃漸ク隆盛ヲ來セル和蘭國ノ着目スル所トナリテ葡國ニ代リ一時施設スル所アリシモ亦終ニ放擲スルニ至リシカ一六五一年終ニ所謂本島ノ開拓者タル英國東印度商會ノ手ニ歸シ効顯幾分表ハル、ヤ一六七二年再ヒ蘭人ハ其回復ヲ圖リ一時ハ兵力ヲ以テ之レヲ奪取スルニ至リシモ勿論翌年ハ同商會ノ爲メニ追放セラレ茲ニ確實ナル所有權ハ樹立セラレ同時ニ英王チャール二世ハ其所有權ヲ勅認シタルモノトス而シテ一六八七年ニ至リ英國々旗ヲ掲揚スル迄ハ依然トシテ東印度商會旗ノ飄々タルヲ見タリキ而シテ商會ハ千八百三十六年ニ至リ之レヲ英國政府ニ讓渡シ純然タル英領トシテ今日ニ及ヒタルモノトス但同商會所有時代ニ於テ一八一五年ヨリ一八二一年迄ノ五ケ年間ハ彼ノ有名ナルナボレオン一世配誦ノ事アリシ當時ニシテ島權ハ政府ノ監スル所トナリシ事アルノミ

本島ハ古來多ク配誦ノ地トナレリ即チ最初ノ移住者葡人ロベスノ如キ更ニ有名ナル奈翁ノ配流ノ如キ近クハ杜國征伐當時ノ俘虜監禁地タリシカ如キモノ是レナリ就中奈翁ノ配誦ハ最トモ有名ナルモノニシテ本島ノ世界ニ有名ナルハ蓋シ帝ノ故事アルカ故ニシテ他ニ何物モナキ所タリ帝ハ一八一五年英艦「ノーザンバランド」號ヲ以テ護送セラレ本島ニ着セシモ當時ハ未ダ海底電線ノ設ケナク島ニハ何等帝ヲ迎フルノ準備トテモナカリシカハ三日間ハ艦内ニ起臥シ終ニ特ニ人目ヲ避ケテ夜分上陸シ現今ノ「ゼームスタウン」海岸ノ一小舎ニ憩ヒシカ翌日ハ「バイアー」ト稱スル現今海底電信局ノ設ケアル箇所ノ一商人宅ニ宿リテ二ケ月間ヲ過シ「ローングウード」ノ居宅ノ修理成ルヲ待テリ而シテ後彼處ニ移リシモノトス帝ノ最初上陸ノ後一夜ヲ過セシ小舎ニハ圖ラスモ後年英帥ウエリントン公ノ印度地方ヨリノ歸途茲ニ立寄り休憩セシコトアリトカ奇緣ト云フヘシ現今其小舎ナシ「ローングウード」ハ海拔一千七百八十呎ノ高地ニシテ近傍廣濶ナレトモ寂寞實ニ失意流竄ノ英雄ヲシテ血涙ヲ飲マシメシモ故ナキニアラザルナリ

帝ノ故居ハ一七四三年時ノ島司ダンバーカ穀倉トシテ建立シ後副島司ノ居宅トナリシモノニテ終ニ茲ニ帝ヲ幽居セシメシモノトス現今尙ホ依然トシテ残り當年ノ面影ヲ思フニ足ルヘク十房ヨリナルモ天井低ク建築粗造ニシテ薄暗ク居宅トテモ名計リニテ更ニ趣キナシ現今ハ番人ヲ付シテ此家ニ居住セシメ只帝ノ應接間居間食堂ノミヲ開放シテ公衆ノ觀覽ニ供セリ居間ハ即チ帝ノ薨去セシ所ニシテ其跡ニハ石蠟製ノ模像半身臺ノ据エアルヲ見タリ而シテ此ノ故居ノ前方ニ方リ少シ低キ場所アリ更ニ大ナル古ヒタル家屋ノ殘レルヲ見ル今ハ百姓ノ住居トナリ居レルモ是レ當年帝ヲ移住セシメンカ爲メニ特ニ新築セシモノナリシトカ然レトモ其落成ヲ見サル内帝ノ薨去アリタルモノト云フ帝モ亦此ノ新宅ヲ好マサリキトソ實ニ其新宅モ頗ル位置不良ニシテ心知惡シキ建築物タリ要スルニ帝ノ配諒後英本國ヨリホドソソノット呼ブ島司來任シ斯ノ英雄ヲ遇スルニ幾分冷酷ヲ以テシ幾多ノ束縛ト耻辱トヲ與ヘタルハ事實ラシク後年英本國識者ノ間ニ議論轟々タルモノアリシト云フ帝ハ只本國ヨリ從ヒシ從者ト騎馬ニテ溪谷ノ間ヲ馳驅スルヲ以テ唯一ノ娛樂トナシタリシカ氣候ノ不適ト精神ノ悶憂トハ終ニ其身心ヲ疲勞セシメ一八二一年空シク此孤島ニ没シ其遺骸ハ生前彼レノ最トモ好ミシ「セラニアムバレー」ト呼フ谷間ニ埋葬セラレシカ一八四〇年ニ至リ佛國政府ハ軍艦「ラベルポール」號ヲ送リテ其遺骸ヲ迎ヘ巴里ニ送リテ「ドンデインラリデー」ニ埋葬セシト云フ現今ハ只其ノ跡ニ一間四角ノ扁平無記録ノ切石ヲ据エ園ラスニ鐵柵ヲ以テシ附近番衛ヲ付セルノミ遠征行旅ノ人一度此ノ故地ヲ訪ハンカ當年ノ感想湧クモノ多キヲ覺ヘン

古來本島ニハ黒奴ノ賣買盛ナリシカ一八一八年ヨリ一八三二年ニ於テ全ク彼等ハ自由ヲ與ヘラレタルモノトス現今モ黒奴ノ末孫多ク純白人ハ官吏商會員ノ外多カラス用語ハ英語ナレトモ諸種ノ國語ヲ交ヘテ不規則ナリ一八〇一年南阿戰爭當時四千六百五十餘人ノ俘虜ヲ監禁シタルコトアリシカ悉ク天幕内ニ生活ヲナサシメタリト云フ有名ナル杜軍司令官クロンゼ將軍夫妻モ茲ニ送ラレシモノトス一八〇〇年ニハ本島ニ於テ物産品評會ヲ開催セシコトアリト云フ現今島内ニ電信ヲ架設シテ通信ヲ便ニシ路次ハ馬匹、馬車ヲ用フ

ルカ如シ又一八九九年以來「イースタンテレグラフ」會社ノ施設ニ係ル海底電線ハ南阿及ヒ英本國ニ通セリ一九〇〇年以來郵便物ニシテ英國行ハ半「オンス」迄一片トシ小包ハ一「ポンド」迄四片、三「ポンド」一志、七「ポンド」一志、十一「ポンド」三志タリ外國向キハ萬國郵便規定ニ依ル

旅行者ハ別ニ携帶品ニ課稅セラル、コトナキモ只酒、酒精類、煙草等ニハ特ニ課稅セラルヘシ今日ハ稅關吏ノ數モ古ニ比シテ頗ル減少シタルモノナリト云フ

「生産物」本島ニ産物トシテ殆ント擧クルニ足ルモノナク只一九〇七年以來亞麻ノ栽培ヲ開始シテ頗ル好成績ヲ擧ケツ、アルカ如シ其他ハ少量ノ果實、山羊、羊毛、馬鈴薯及ヒ「レース」製作品等ニシテ農産ハ害蟲アリテ此地ニ適セスト云フ今左ニ本島ノ輸出入額ヲ示セハ

輸 入	輸 出
一九〇九年	一九〇九年
二九、三〇三	三七、五七〇
七、八九二	九、二三四
	一九一一年
	四二、四一二
	九、九五九

「亞麻製造所」亞麻ハ元來「ニュージールランド」産ヲ以テ最トモ有名ナルモノトシ百合科植物ニ屬シ長キ葉ノ纖維ヨリ作取スルモノニシテモト本島ニハ之レアラサリシモ元來島地ニシテ小高キ所ニ適スルヲ知リテ終ニ當局者ノ「ニュージールランド」島ヨリ特ニ取寄セテ栽培セシ結果一八七三年ニ於テ百英加一八七七年ヨリ一八八五年ノ間ニハ二百英加一九〇八年ニハ五百英加今日ニテハ六百英加ノ地面ニ之レヲ栽培スルニ至レリ

一八七四年ニハ亞麻製造會社ノ設立アリテ機械ヲ輸入シテ製造方ヲ計畫セシカ亞麻ノ價格暴落ニ際シテ一時會社モ解散ノ止ムナキニ至リシカ一九〇七年十二月以來官設ノ製造所「ローングウッド」ニ設立セラレ

ケ月(二十五日間)約亞麻十噸、麻屑三噸ヲ得製造所ニハ十八人ノ職人ヲ使用シツ、アリ次キニ近年ニ於ケル製産額及價額ヲ表示スレハ (一九一三年ノ價格一噸三十二磅)

種別	一九一一年	一九一〇年	一九〇九年	一九〇八年
亞麻及麻屑ノ賣却高	三、〇九〇	三、三〇四	一、三三七	未詳
製造ニ要スル一切ノ費用	二、八四五	三、〇七二	一、三八〇	五、五〇〇
製作ノ爲メニ用ヰシ葉ノ原料	一、〇五六	九、〇五	四、一	一、七二
亞麻製出高	二九	二天	四半	二
亞麻製出高	三六	三九半	三	不詳
倫敦ニ於ケル亞麻一噸平均價格	九半	九半	二	不詳

一九〇七年七月ニハ「レース」製作練習所ヲ設ケ官立トナシ技藝ノ教授練習ヲ始メ今日ニ及ヒシカ目下二十人ノ生徒ヲ容シテ製作シツ、アリ元來此技術ヲ本島ニ傳ヘシハ一八九七年ノ交島吏某夫人ニヨリ傳ヘラレシニ基因スルモノ、如シ而シテ其ノ近年ニ於ケル製作賣上ケ高ヲ表示スレハ

種別	一九〇八年	一九〇九年	一九一〇年	一九一一年	備考
賣上ケ高	三二二	八五〇	七二	七三	二三八磅ノ賣殘リヲ生ス
諸支出	二〇五	七八	八六	八四	
職工女數	一六〇	一三五	不詳	七四	

「氣候」終年南東恒風ノ流行スルカ爲メニ氣候ハ概シテ清涼ニシテ酷烈ナラス又時ニ偏北風ノ吹來流行アリ永年ノ統計ニ依レハ五月頃ニ於ケル流行風ノ速力ハ一時間十二哩八八ニシテ九月頃ニ於テハ二十哩トナルト云フ次キニ氣温ノ統計ヲ示セハ

月別	最高	最低	月別	最高	最低
一月	六九	五八	七月	六三	五四
二月	七一	六〇	八月	六二	五三
三月	七一	六一	九月	六一	五三
四月	六九	六〇	十月	六三	五三
五月	六八	五八	十一月	六四	五五
六月	六五	五六	十二月	六〇	五六

尙ホ最近一九一一年ノ統計ニ依レハ全年ノ平均温度六十度七ニシテ絶對最高温度七十九度(三月三十日)絶對最低温度五十度(八月二十日)ナリシト云フ

雨量統計表

年別	降雨ノ量	降雨アリシ日數	年別	降雨ノ量	降雨アリシ日數
一八九三年	四〇・三	二二七	一八九六年	四〇・五	二五七
一八九四年	三九・一	二三一	一八九七年	三五・二	二四九
一八九五年	三二・三	二二四	一八九八年	三三・九	二四〇

一八九九年	四七・三	二五二	一九〇六年	四九・七	二七六
一九〇〇年	三〇・九	二四四	一九〇七年	四三・八	二七七
一九〇一年	三八・九	二三二	一九〇八年	三九・三	二七四
一九〇二年	三五・〇	二五一	一九〇九年	四二・三	二二九
一九〇三年	四三・四	二二八	一九一〇年	四四・三	二七一
一九〇四年	四五・七	二五五	一九一一年	三一・六	二二九
一九〇五年	三五・六	二五六			

一八九二年ヨリ十六年間ニ於ケル月別平均雨量表

一月	二・七八	三月	三・八三	五月	二・八九
二月	三・三三	四月	三・六二	六月	二・〇〇
三月	五・二六	五月	三・四八	七月	一・六〇
四月	四・三二	六月	三・九一	八月	二・二六
五月	二・七六	七月	三・九一	九月	二・二六
六月	二・七六	八月	三・九一	十月	二・二六
七月	二・七六	九月	三・九一	十一月	二・二六
八月	二・七六	十月	三・九一	十二月	二・二六
九月	二・七六	十一月	三・九一	全年	三十九時四七
十月	二・七六	十二月	三・九一		
十一月	二・七六				
十二月	二・七六				

「海運状態」一八五五年英國「ユニオン」汽船會社ハ郵便物ヲ毎月南阿殖民地ニ輸送スヘク英本國政府ト協約ヲ結フト共ニ其復航時ニ本島ニモ寄航シテ郵便物運送ノ定期ヲ開キタレトモ英國ヨリ五十四日ノ日數ヲ要スルノ不便免ル能ハサルヲ以テ一八六六年同會社ハ更ニ本島廳ノ補助ヲ得テ更ニ往航ニモ本島ニ寄航スルノ契約ヲ結ヒタリ而シテ一八七六年十月ニハ更ニ同會社ト「キヤツスル」會社ト交互ニ郵便物運送ヲ司リ

テ而モ各々五週及三週毎ニ英國ヲ出帆スルノ定期航海ヲ開ケリ然ルニ一八八九年以來右會社ハ直接補助ヲ本國政府ニ仰クコト、ナリテ島廳ノ負擔ハ免除セラレテ今日ニ及ヘリ尙ホ目今ハ英國「サバムトン」港ヲ出帆シテ十七日ニシテ到着シ南阿「ケーブタウン」港ヘハ六日ヲ以テ達ス往復航共ニ寄港シツ、アルハ前述ノ如シ但シ一等郵便船ハ寄港セス多クハ二等以下ノ船舶ノミ寄港スルカ如シ左ニ旅客貨物賃金ヲ示セハ

「セントヘレナ」島及「ケーブタウン」港間 同上

「セントヘレナ」島及英國間旅客運賃

一等	二十五磅四志
二等	二十一磅
三等	十一磅十一志
上等	十一磅十一志
二等	七磅七志
三等	六磅六志

貨物運賃略表

一噸 英國迄	二磅十志	馬鈴薯特別運賃「ケーブタウン」迄	一噸 一磅五志
同 「ケーブタウン」迄	二磅		
同 「アツセンション」迄	一磅		

稅關課稅略表

煙草(未精製)	「ボンド」	六片	麥酒 瓶入	一打	一志
煙草(精製品葉卷)	「ボンド」	一志	葡萄酒	「ガロン」	二志六片
酒類(酒精百分ノ十以上含マ)	「ガロン」	十志			

港税噸稅等ヲ課セス只輸出輸入品ニ對シテ岸壁通過料及ヒ若シ上屋ヲ使用スレハ其料金若干ヲ課スルノミ
「ゼームスタウン」港船舶出入統計表

全 計	一九〇五年	一九〇六年	一九〇七年	一九〇八年	一九〇九年
内 英 船	二〇九、六九〇	一七九、〇九五	一六〇、六五五	一五、四八二	一五、七六六
	二〇九、六九〇	一七九、〇九五	一六〇、六五五	一五、四八二	一五、七六六

一九一三年大成丸ノ入港ハ近年ノ外國船寄港「レコード」ヲ破リタルモノト云フヘシ
「ゼームスタウン」島ノ北西部ニアリテ三面岨々タル絶壁岩ヲ以テ圍マレ北面僅カニ海上ニ面スル溪谷ニ
位シ小河ノ一流スルアルモ附近悉ク禿土ニシテ風景山頂ノ夫レニ比スヘクモアラズ頗ル殺風景ナル町邑タ
リ此岩壁ハ危險ニシテ往々石塊落下シテ人畜ヲ害スルコトアリト謂フ人口千四百餘人戸數三百ニ充タス多
クハ倭小ナル土造建築ニシテ小商舖タリ商品高價ニシテ供給充分ナラス殊ニ生糧品ノ如キニ至リテハ少額
ニシテ不充分ナリ其現價表ハ後節ニ示スカ如シ市街ノ兩側ニ吃立セルハ「ラダーヒル」及ヒ「マンデン」
丘ニシテ各々昔砲臺ヲ築キシ所ナレトモ現今ハ兵備ヲ見ス只砲身ノ處々ニ突出セルヲ見ルノミ「ラダーヒ
ル」ハ高サ六百十二呎ニシテ頂上ニハ測候所ヲ設ケ且ツ信號竿ヲ有シテ諸種ノ信號ヲ行フ殊ニ市民ニ每時
旗ヲ以テ時刻ヲ報スルモ經線儀ヲ比較スル能ハス故ニ若シ其比較ヲ要スル時ハ「ロイド」代理店ニ於テ直接
之レヲ行フコトヲ得ルノミ、全島、西經五度四十二分三十秒ノ平時ヲ用井居レリ海岸ハ堅固ナル岸壁ヲ以テ
保護シ荒浪ヲ防ケリ海岸上陸地點ニ鐵製揚貨機ニ臺ヲ有シ石炭、諸雜荷ノ揚卸ニ用井居レリ側ニ石炭貯藏
所アリ煉炭ヲ多ク貯フルカ如ク約一千五百噸ハ常時供給ニ堪フルカ如シ一噸代金六十志乃至六十五志一日
約二百噸ノ積載力アリ淡水ハ上等ニハアラサルモ飲用ニ適ス供給充分ニシテ二百五十二「ガロン」ヲ一噸ト

シテ其ノ代金六志ナルコト前述ノ如シ一切船用品其他雜貨類ハ「ソロモン、アンドモス」會社（「ユニオンカ
ツスル」會社代理店）ニ命スルヲ以テ便利トナス
錨地ハ市邑ニ面シテ其海岸ニ聳ユル寺院ノ高塔ト右方「ラダーヒル」ノ麓岸トノ中間ニシテ海岸ヨリ四鏈乃
至五鏈ニシテ水深十四尋乃至二十二尋ノ處ヲ良シトス底質細砂播キハ不良ナラス左方「マンデン」岬ヨ
リ北方浮標ニ至ル一線ヨリ以東ニハ投錨スルヲ禁シ居レリ海底電線ヲ保護スルカ爲メトス、碇泊中ノ船舶
ノ最トモ注意スヘキ事項ハ十月及二月ノ交襲來スルコト多キ「ローラー」ニシテ此季節ニハ必ス何時ニテモ
拔錨出港ニ堪フル準備必要ナリトス殊ニ上陸地點ハ長濤ノ餘波來リテ危險ナルヲ以テ充分ノ注意ヲ要スヘ
ク傳馬船ノ如キハ其船尾ヲ上陸岸階段ニ付クルヲ普通トスルカ如シ市中ニハ島廳、稅關、郵便局、裁判所、病
院、監獄、寺院及官立貯蓄銀行等アリ葡國、那威、丁抹、和蘭及獨逸ヲ兼ネタル名譽領事、瑞典領事、露國副領
事、佛蘭西、西班牙ノ名譽領事駐在セリ、島廳ノ庭園ニハ小サキ博物館、圖書館ノ設備アリ又黒奴買賣禁止ニ
就テ斃レシ勇士ノ紀念碑ヲ見ル又「ラダーヒル」ニ通スルニ山麓ヨリ一直線ニ七百餘ノ階級ヲ有スル段路ヲ
設ケ居ルハ一ツノ奇觀トス海底電信局タル「イースタン」會社ノ建築物ハ市邑ノ小高キ所ニアリ
テ奈帝ノ最初假寓セシ場所トス此下方ニ家號ヲ「キヤムブリアン」カツテ「ト」呼ブ人家アリ廣キ庭園ヲ有
ス嘗テ一八六三年我カ文久三年新曆三月二十六日幕府ヨリ和蘭ニ派遣セラレ軍艦開陽號廻航ノ命ヲ負ヒシ
幕士榎本武揚、赤松大二郎、澤太郎左衛門、内田恒次郎、伊東方成等十數人蘭船ニテ當地ニ寄港シ奈帝ノ故跡
ヲ尋ネテノ歸路當家ノ庭園ヲ賞シ主人ノ饗應ヲ受ケ紀念トシテ各自記名セシモノ尙ホ同家ニ保存セラレ當
時僅カニ九歳ノ少女タリシ今日ノ老媪一人ト十四歳ノ小女トアルヲ見タルニ老媪ハ日本名士ノ紀念ヲ家寶
トシテ保存シ來リシト云フ其後一行ハ開陽艦ニ搭シテ明治初年横濱ニ歸朝シタルモノナリ以來多ク日本人
ノ本島ヲ訪フモノナク本船ノ寄港ハ島民ニ取リテ珍客タリシナルヘシ
尙ホ歴史ヲ案スルニ西紀千五百八十二年即チ本島發見後八十年我カ天正年間九州ノ大友、有馬、大村諸侯カ

其ノ臣伊東義賢、千々石清左衛門、中垣某、原某ヲ羅馬ニ派シ法王ニ敬意ヲ表セシ時彼等ハ本島ニモ寄港セシト傳フ

當港ハ一八八二年以來自由港トシテ諸課稅ナシ但シ貨物ノ揚卸ニハ賦課シツ、アルハ前述ノ如シ
島内二三ノ小學校アリト雖トモ不完全至極ニシテ充分ノ教育制度ナシ多クハ教育ニ志スモノハ英本國又ハ南阿ニ遊學スルモノ、如シ

「ゼームスタウン」港糧食品現價表

品名	數量	價格	品名	數量	價格
雞卵	一打	三志	鹽豚肉	一斤	八志
バナ	一打	六志	魚類	一斤	八志
蜜柑	一袋	十一志	家禽類	一斤	八志
馬鈴薯	一袋	十一志	肉類	一斤	八志
葱	一打	六志			
麵粉	一打	六志			

「ゼームスタウン」港出帆ノ現狀

職員 十二名
學生 百二十五名
備人 四十四名

計 百八十一名

吃水 前部 十四呎十吋
吃水 後部 十八呎四吋
吃水 平均 十六呎七吋
排水 差 三呎六吋
排水 量 三千二百四十六噸

飲料 「メタセスター」ノ高サ 二呎
飲料 水 七十三噸三

但以下壓艙水函ニ清水ヲ充タシアルヲ以テ之レヲ補フコトヲ得

壓艙水函	第一	第二	第三	第四
フオアービークタタンク	一五・五	二二・八	一一・五	五〇・三
エンジンタタンク	一五・五	二二・八	一一・五	五〇・三
ボイラータタンク	一五・五	二二・八	一一・五	五〇・三
第一アフターデイーアタタンク	一五・五	二二・八	一一・五	五〇・三
第二同	一五・五	二二・八	一一・五	五〇・三
アフタービークタタンク	一五・五	二二・八	一一・五	五〇・三
石炭庫内	一七〇	二四	計百九十四噸	
補充石炭庫内	一七〇	二四	計百九十四噸	
糧食	五十八噸			
計	二百八噸四			

自「セントヘレナ」島「ゼームスタウン」港
至南米「ブラジル」國「リオデジヤネイロ」港

一一二

三月二十日 出港

午前十一時九分出港ス直チニ針路ヲ西北西(真針路)ニ定ム蓋シ南緯十五度ノ線ニ沿フテ西航シ比較的恒風ノ常吹スルヲ捕フルコトニ勉メテ南米ニ近接シ適當ノ地點ヨリ更ニ同地方風タル偏北東風及ヒ南西海流ヲ利用シテ目的港ニ達セントスルモノトス拔錨後ハ風ナカリシモ終ニ午後四時汽走ヲ止メテ總帆ヲ展セシニ夕刻ヨリ偏南東ノ至輕風ヲ送リケレハ之レヲ左舷船尾ニ受ケテ豫定針路ニ向ヒ速力ニ湮半ヲ得タリ天候状態頗ル良好ナリシ「ゼームスタウン」碇泊中ノ英國軍艦ニ對シ無線電信ヲ以テ告別ノ意ヲ表セシニ同艦長ヨリ折返シ挨拶ノ返電ヲ受領ス
本日「フオアービー」クタンク「及ヒ第一」「アフター」デイーブタンク「ニ海水ヲ補入ス蓋シ復原力微弱ナルカ爲メトス

三月二十一日 正午位置 (南緯 十五度二十五分半 西經 七度三十二分半)

春季皇靈祭ニ就キ休業ス、偏南東ノ軟風アリシモ漸次衰フ一天快晴海上平穩ニシテ船進マス

三月二十二日 正午位置 (南緯 十五度十一分 西經 八度三十七分)

夜半來偏南東ノ和風ト化シ速力四湮半乃至五湮ヲ得ルニ至リ針路ヲ西(真針路)ニ定メ左右二點ノ間風向ノ變移ニ從ヒテ最トモ速力ヲ得ルカ如ク操舵セシム日中ノ氣温七十三度快晴ニシテ天候良好ナリ本日ヨリ正課ヲ開始ス

三月二十四日 正午位置 (南緯 十五度七分 西經 十二度五十五分)

引キ續キ南東恒風ヲ得テ速力約五湮ノ平均ヲ以テ豫定ノ針路ニ就キテ航走ス天候平靜記事ナシ

午前九時ヨリ第二期學生本船實習前期ニ於ケル特待學生ノ任命式ヲ中甲板ニ行フ

三月二十六日 正午位置 (南緯 十五度五十六分 西經 十五度五十六分)

南東風ハ追々左旋シテ偏北東ノ至輕風トナリ勢力殆ント見ルヘキナク而モ風位一定セス炎暑漸ク高ク日中八十度ニ達ス日毎ニ快晴ナリ只朝夕卷層雲ノ發生少量アルノミ本日午前九時ヨリ總員ヲ以テ上手廻ハシ操練ヲ行フ西北西ノ海流連日數湮宛ノ影響ヲ受ク

三月二十八日 正午位置 (南緯 十五度六分 西經 十七度五十四分)

逐次風力衰微シテ時々偏東ノ至輕風ヲ送ルノミニシテ殆ント快走スルコトヲ得ス一晝夜ノ航程僅カニ六十湮タルコト茲ニ連日タリ炎暑モ其度ヲ増シ日中八十二度ニ達スルコトアリキ海上穩カナレトモ長濤南西方ヨリ至リ船體ノ動搖頻リナリ海流ハ依然偏西ニシテ數湮ヲ示ス

本日ヨリ第一期學生前期試験ヲ開始シ第二期學生ハ全部實業ニ就ク

四月一日 正午位置 (南緯 十六度三十五分 西經 二十一度三十五分)

「セントヘレナ」島ヲ出テ、ヨリ殆ント南東恒風ハ本船ノ西航スルニ從ヒ多ク東方ヨリシ風力微弱ニシテ只至輕風ノミニテ快晴打續キシカ三十一日夕刻ヨリ南西ノ長濤高ク至リ船體ヲ動搖セシムルコト頻リナリケルカ本日ニ至リ一天亂層雲ヲ生シテ東南東ノ和風ヲ起シヌ而シテ長濤尙ホ存シ稍冷涼トナリ夕刻ニ至リテハ風向移リテ東北東トナリシヲ以テ之レヲ左舷船尾ニ受ケテ南西二分ノ一西(真針路)ニ航走セシカ總帆ヲ展シテ四湮ノ速力ヲ得ルニ至レリ正午前珍ラシク細雨ノ通過アリ熱帶地方ノ事トテ氣壓整調タリ第一期生試験ヲ結了ス

四月二日 正午位置 (南緯 十六度三十七分 西經 二十二度五十二分半)

前日來ノ東北東風アリ風力稍々衰フコトアリシモ午後ニ於テ更ニ一天亂雲ヲ生スルト共ニ風力加ハリテ三トナル日中氣温八十二度驟雨ナキモ長濤尙ホアリ午前八時ヨリ針路ヲ西微南(真針路)ニ變シテ航走ス

一一三

正午左舷後方ニ一隻ノ「パーク」形帆船北航スルヲ見ル蓋シ歐洲ニ歸航スルモノナルヘシ
四月五日 正午位置(南緯 二十七度三十三分 西經 二十七度十七分)

三日日没頃迄ハ北東ノ和風アリテ速力四漕半宛ヲ保チシモ衰微シテ輕風トナリ翌四日ニ至リテモ同様風力ヲ増スコトナク又本日モ依然トシテ弱ク平均速力三漕ニ過キサルナリ風向常ニ變轉シテ定マラス時ニ北風トナリ時ニ東風トナリシカ概シテ北東風多ク風位右旋シテ偏東トナルヤ風力ヲ失ヒ更ニ左旋シテ北東ヨリ北北東風トナル、時ニ幾分風力ヲ加フルヲ常トセシカ如シ多クハ快晴ニシテ長濤漸ク跡ヲ斷チ海上平穩タリ爾來多ク偏西ノ海流ニ伴ハレシカ本日ハ南西流ニ會セシカ如シ然レトモ「ブラジル」沿岸ニ至レハ當季節ニテハ勿論一定スルコトアラサルヘシ

四月六日 正午位置(南緯 二十七度三十九分半 西經 二十七度五十五分半)

夜來風衰ヘ僅カニ偏東北東ノ至輕風ノミアリシモ午後ニ至リテハ無風トナルト共ニ大氣ノ溫度著シク蒸熱シテ連日ノ平均溫度七十八度ハ八十二度トナリ夜半ニ於テハ更ニ八十四度ニ上リテ特ニ不快ヲ覺エシメシカ午後四時南東方ヨリ一陳ノ驟雨ノ通過アリシ後空曇リ始メ所々ニ懸雲ヲ生シ風位變轉操帆ニ追ナカラシム日没後細雨霏々トシテ至ルアリシカ終ニ豪雨トナリテ沛然トシテ襲來スルニ會ス是レヨリ先キ「ローヤル」ヲ絞リテ不穩ノ天候ニ備フル所アリキ其後時餘殆ント無風ニシテ空又晴レシカ午後十時過キヨリ漸ク偏東ノ和風ヲ吹キ起シタルヲ以テ之レヲ左舷船尾ニ受ケ諸帆ヲ展シテ南西微西(真針路)ニ航走シ速力四漕ニ達ス

四月十一日 正午位置(南緯 三十一度十六分 西經 三十五度二十三分)

六日日没後ノ驟雨ニ從フテ偏東風ヲ起シ二三點ノ變轉ト風力ノ増衰ヲ見シモ本日ニ至ル迄吹キ止マラス速力時ニ六漕ニ達シ時ニ三漕ニ減シ朝夕ハ屢々豪雨ノ通過ニ遭ヒシモ日中ハ快晴多ク殊ニ炎暑著シク加ハリテ燃ルカ如シ目的港ニ向ヒ直航シテ西南西(真針路)ノ針路ヲ探レリ此一帶海上ニハ北東及ヒ南東季候

風ノ流行スルモノニシテ北東風時ニハ比較的風力逞シク天氣モ良好ナレトモ南東風時ニ於テハ風力微弱ニシテ天氣モ宜シカラス殊ニ南西又ハ西方ニ風位ノ轉スルコトアルト共ニ其際ハ最トモ天氣ノ不良ヲ醸スモノトス然ルニ恰モ本月ハ雨季候風ノ更代季ナルヲ以テ風向風力ノ如何及ヒ南西風ノ來吹ヲ掛念セシモ幸ニシテ偏東風ノミ流行セシハ最トモ都合ナリシモノトス尙ホ當地方海流ハ概シテ規則正シカラサルモ平均南西流多シトス然ルニ此數日間ノ如キハ全ク之レニ反シ常ニ微弱ナル偏北ノ海流ヲ感融セリ尙ホ沿岸ニ達スレハ南西流ノ流行時ト雖トモ反對流ノ存在アレハ注意スヘキ事ナリトス

四月十二日 正午位置(南緯 三十一度三十五分 西經 三十六度四十八分)

黎明前後ヨリ風力頓ニ衰微シテ船多ク進マズ終日風ヲ得ルナク而モ快晴ニシテ炎熱頗ル強ク午後二時頃ニ於テ中下甲板室内ノ溫度九十度ニ近カラントセリ日没後ハ漸次冷涼トナリ月光又漸ク明カナリ

四月十四日 正午位置(南緯 三十二度二十九分 西經 三十八度二十四分)

昨十三日モ殆ント風力微弱ヲ以テ終リ一晝夜ノ航程五十五漕ニ過キス炎暑ノ甚シキコト同様ニシテ殊ニ朝夕ハ驟雨ノ發生頻リナリキ風位一定スルコトナシ本日モ亦僅カニ偏北ノ至輕風アルノミニシテ航進意ノ如クナラス快晴平穩炎暑又強シ午前九時半ヨリ乗員ノ體格檢査ヲ施行ス其結果ハ別表ノ如シ

四月十五日 正午位置(南緯 三十二度三十九分 西經 三十九度五十八分)

午前四時七分諸帆ヲ疊收シテ汽走ニ移リ偏東ノ至輕風アリシモ海上平穩ニシテ波ナシ學生總員船内手入レヲ行フ

午後九時三十分「フライヤ」燈光ヲ西北西(真方位)三十五漕ニ望ム即チ西(真針路)ニ轉針シテ航走ス月明カナリ

四月十六日 入港

午前零時四十五分「フライヤ」燈臺ヲ右舷真橫九漕ニシテ通過シ漸次針路ヲ港口ニトリ海軍小蒸汽艇ノ案

内ニヨリ午前十時三十六分軍艦錨地ニ於ケル浮標ニ繫留ス檢疫等總テ簡略ナリ
自「セントヘレナ」島至「リオデジャネイロ」港航海日數其他左ノ如シ

航海日數 二十七日二時五分
航海日數 二千二百五十哩

帆走日數 二十五日十四時十二分
同 哩數 一千九百五十七哩

汽走日數 七十六哩四七
同 哩數 三哩一九

一日平均 一日十一時五十三分
同 哩數 二百九十三哩

一時間平均 百九十六哩七一
一時間平均 八哩二

第八次遠洋航海自「セントヘレナ」至「リオデジャネイロ」

月	日	緯度	經度	針路	航程	海流向	流速	風向	風力	晴雨計	氣温	海温
三月	二十日	南 一五・七	西 五九	不定	五	不明	不明	正北	一	云	七	七
	二十一日	南 一五・五	西 七三	北七三西	一〇	北五〇西	五	東微南	三	云	七	七
	二十二日	南 一五・二	西 八七	北七七西	一五	北六一西	三	全	二	云	七	七

月	日	緯度	經度	針路	航程	海流向	流速	風向	風力	晴雨計	氣温	海温
三月	二十三日	南 一五・〇	西 一〇七	正西	二〇	北七九西	二	南東微東	三	云	七	七
	二十四日	南 一四・七	西 一二	北八八西	二五	北七八東	二	南東	三	云	七	七
	二十五日	南 一四・五	西 二六	南七九西	三〇	北五西	六	東微南	二	云	七	七
	二十六日	南 一四・三	西 四〇	北八〇西	三五	北七四西	五	南東微東	二	云	七	七
	二十七日	南 一四・一	西 五四	正西	四〇	南三四西	六	北々東	一	云	七	七
	二十八日	南 一三・九	西 六八	北八〇西	四五	南一九東	二	東南東	一	云	七	七
	二十九日	南 一三・七	西 八二	南七八西	五〇	南七七西	五	南東微東	一	云	七	七
	三十日	南 一三・五	西 九六	南七七西	五五	北一四東	七	南	三	云	七	七
	三十一日	南 一三・三	西 一〇〇	南七四西	六〇	南五三西	七	全	一	云	七	七
四月	一月	南 一三・一	西 一〇四	全	六五	北二四西	九	南東微東	二	云	七	七
	二日	南 一二・九	西 一〇八	南六四西	七〇	北二一西	八	東微南	二	云	七	七
	三日	南 一二・七	西 一二二	南八三西	七五	南七三東	六	北東微北	二	云	七	七
	四日	南 一二・五	西 一二六	南七五西	八〇	南三〇東	五	北東	三	云	七	七
	五日	南 一二・三	西 一三〇	南七九西	八五	南四七西	四	全	二	云	七	七
	六日	南 一二・一	西 一三四	南六六西	九〇	南一七西	三	東微南	一	云	七	七
	七日	南 一二・〇	西 一三八	南六三西	九五	北五五西	二	東北東	三	云	七	七
	八日	南 一一・八	西 一四二	南六九西	一〇〇	北三四東	一	全	一	云	七	七
	九日	南 一一・七	西 一四六	南六七西	一〇五	北一〇東	七	東	三	云	七	七
	十日	南 一一・五	西 一五〇	南六三西	一一〇	北四一西	六	東	三	云	七	七
	十一日	南 一一・四	西 一五四	南五一西	一一五	南三七東	五	東微北	三	云	七	七

十二日	三三三	三三三	南七六四	三	南五九四	三	東	三	元	三	三
十三日	三三三	三三三	南六八四	三	南五七四	三	北	三	元	三	三
十四日	三三三	三三三	南五九四	三	南一五四	三	北々東	三	元	三	三
十五日	三三三	三三三	南七七四	三	南	三	北	三	元	三	三
							北	三	元	三	三
							北	三	元	三	三
							北	三	元	三	三
							北	三	元	三	三
							北	三	元	三	三
							北	三	元	三	三

南米「リオデジヤネイロ」港碇泊日誌

四月十六日 水曜 午前十時三十六分海軍小蒸汽艇ノ案内嚮導ニ依リ海軍鎮守府浮標ニ繫留ス檢疫官來船
 帝國代理公使藤田敏郎氏ハ公使館書記生大谷彌七氏ヲ隨ヘ出迎ノ爲メ來船アリテ諸種ノ打合せヲナシテ
 船ヲ辭セリ尙ホ當地在留者總代山縣商會支配人出口峰一郎氏外數名歡迎ノ意ヲ表スル爲メ來船シテ本
 船來航ニ付テ陸上諸案内ノ爲メニ上陸場附近ニ海軍省建築物ノ一室ヲ借り受ケ之レヲ事務所ニ宛テ各交
 代ヲ以テ諸種ノ勞ヲ取ルヘキ事ノ申込ミアリ
 船長ハ在泊中ノ伯國旗艦「ミナスセライス」號及當市長、海軍大臣、遞信大臣、港務部等ヲ屢訪シテ入港ノ
 挨拶ヲナス帝國公使館ハ市内ヲ距ルコト遠キヲ以テ公使館ノ都合上之レヲ略セリ
 四月十七日 木曜 本日ハ天氣不良ノ爲メ一般ノ上陸ヲ見合セリ
 外務大臣代理トシテ同次官ラハエルデメーリク氏及海軍大臣代理トシテ碇泊軍艦「ミナスセライス」號
 艦長テデムコスタ大佐及港務部長ベトロペロゾレベラ氏等夫々答禮ノ爲メ公式ノ訪問ヲ受ク
 本校ヨリ寄港地變更ノ理由開合セノ電報來着ニ付直チニ折返シ無風打續キ風潮不順ナルヲ以テ「シンガ
 ポール」ヲ變更シテ「フリーマントル」ニ改メ度旨返電セリ

本日に留者ヨリ乗員一同ニ對シ當市附近繪ハガキ各一打宛ノ寄贈ヲ受ク
 四月十八日 金曜 學生半艇苑上陸ヲ許可シ自由散步ヲ許ス
 午後四時遞信大臣代理トシテ大臣官房長ジョセバーボザゴンカルベス氏答禮ノ爲メ來船アリ
 海軍大臣ノ好意ヲ以テ本船ノ要スル淡水全部ヲ無料支給スヘキ旨通達アリ本日直チニ一部ノ搭載ヲ行フ
 但八十噸三

藤田公使ノ周旋ニ依リ十九日及二十一日、二十二日ノ三日間ニ限り本船士官學生全部ニ對シ「ベトロポリ
 ス」及當市間ノ無賃往復乘車券給與ノ手續濟ノ通知ニ接ス蓋シ帝國公使館ニ開催セラル、本船乘員招待
 會ノ當日ナルヲ以テナリ
 四月十九日 土曜 本日午前九時ヨリ午後四時迄公衆縱覽ヲ許可ス沖合碇泊ナルカ爲メニ來觀者多カラス
 約三百名トナス
 學生ハ自由散步ヲ許ス

船長以下士官十一名ハ午前八時半發列車ニ搭シテ「ベトロポリス」(帝國公使館所在地)ニ赴キ十時半着ノ
 上特ニ公使館ヨリ用意セル馬車ニ駕シテ公使館ニ到着ノ上藤田公使及館員ノ出迎ヲ受ケ庭園ニ於テ紀念
 撮影ヲナシテ正午定刻懇篤ナル午餐ノ饗應ヲ受ケ午後四時半發ノ列車ニテ歸船セリ當日當地在留日本人
 ノ主ナルモノ二三名來會アリキ
 碇泊軍艦「ボロツソ」號艦長スアントニヲ、イユーリヲデ、ヲリベテラ、サレバイヲ 大佐來船ノ上好意ヲ表
 セラル、又市長モンテイラ氏代理トシテ市廳員一名答禮ノ爲メ來訪ニ接ス
 四月二十日 日曜 午前十時半藤田代理公使ノ來船アリ直チニ學生食堂ニ於テ一同ニ對シ當國情一斑ニ付
 テノ説明講演ヲ乞ヒシニ約二時間ニ渉ル詳細ナル口演アリ一同多大ノ利益ヲ得タルモノトス
 午後三時ヨリ同公使、船長及公使館員一名士官六名在留者三名ハ當地ニアル當國退役海軍大將インディ

ヲテ、ブラジル氏(日本人ニ對シテ多大ノ好意ヲ有スル有色紳士)邸ニ招待セラレ又懇篤ナル茶菓ノ饗應ヲ受ケテ夕刻歸船ス

四月二十一日 月曜 學生半舷員ハ本日帝國公使館ノ催フシニ係ル茶話會臨場ノ爲メ特ニ前夜ヨリ來船中ノ山口書記生ニ導カレテ午前七時ヨリ「ペトロポリス」ニ向ヒ公使館庭園ニ於テ茶菓ノ饗應ヲ受ケテ夕刻歸船ス

下級船員ノ自由散步ヲ許ス

士官數名ハ當地ノ名士メロモラエスファイル博士邸ニ至リ茶菓ノ饗應及諸種ノ寄贈品ヲ受ク本校ヨリ「フレマントル」寄港認可ノ電報ヲ受領ス

本日公衆縦覽ヲ許ス

四月二十二日 火曜 午前七時ヨリ前日同様學生半舷員ハ大谷書記生ニ導カレテ「ペトロポリス」へ赴キ公使館ノ茶話會ニ臨ミ午後七時歸船ス

船長以下士官四名ハ藤田代理公使ニ伴ハレ米國大使ノ開催セル午餐會ニ來會シテ丁重ナル饗應ヲ受ク午後一時ヨリ當地築港見學ノ爲メ同事務所ヨリ差廻ハセル小蒸汽艇ニ搭シテ平原一等運轉士引率ノ下ニ學生半舷員之レニ赴キ懇切ナル説明ト案内ヲ受ケ且又本船圖書室ニ對シ築港説明書十三冊同寫真大版三十五葉及圖面數枚ノ寄贈ヲ受ク

農商務省ヨリ特ニ當國ノ事情ニ關スル諸種ノ美麗ナル書籍七十一部ノ多キニ涉ル寄贈ヲ受ク本日午前十時船長ハ軍艦「バロック」號ニ答禮ノ爲メ公式訪問ス

四月二十三日 水曜 午前十一時ヨリ士官半數當市在留者ノ催フシニ係ル登山電車回遊ノ招待ヲ受ケテ之レニ赴キ絶景ヲ賞シ十二分ノ歡ヲ盡シテ夕刻歸船ス 學生半舷ハ前日同様築港見學ノ爲メ和田專任教官引率ノ下ニ之レニ赴キ歸船ス

他ノ半舷ハ平原一等運轉士引率ノ下ニ海軍兵學校參觀ニ赴キシニ之亦懇切ナル案内ト茶菓ノ饗應ヲ受ケテ歸船ス

「サンバヴロ」方面日本在留民代表者トシテ態々遠路ヲ犯シテ上塚周平氏ノ歡迎ノ爲メ來船セラル、ニ接ス

四月二十四日 木曜 午前十時半ヨリ船長士官五名前日同様在留日本人ノ招待ニ依リ登山電車廻遊ニ赴キ十二分ノ觀ヲ盡シテ夕刻歸船ス

本日農商務省ヨリ重ネテ大冊ノ美麗ナル「ブラジル」ト名付クル書籍一冊ノ寄贈ヲ受ク 學生半舷ハ碇泊中ノ「ドレットノート」型軍艦「サンバヴロ」號見學ニ赴ク

四月二十五日 金曜 午後二時ヨリ船長、專任教官、機關長ハ藤田代理公使ニ伴ハレ當國大統領「ハーメス、ロッド、リゲス、ダ、フォンセカ」元帥ニ同官舎大廣間ニ於テ謁見ス

學生下級船員ハ自由散步ヲ許ス

本日淡水八十八噸五ヲ搭載ス

四月二十六日 土曜 船長ハ「ペトロポリス」市ニ赴キ帝國公使館ニ告別挨拶ヲナセリ

午後八時ヨリハ外務次官主催ノ晚餐會ニ藤田公使、船長、專任教官、機關長、醫員等參會シ他ニ大統領幕僚、外務省員、上院議員等十數名ノ參會者アリテ懇篤ナル饗應ヲ受ケ十一時解散ノ上歸船セリ

當地「デルビークラブ」ヨリ競馬會へ無料招待ノ案内ヲ受ケシモ都合上謝絶セリ

在留日本人明角氏、鹽川氏、蜂谷氏、後藤氏、佐久間氏、松原氏等ノ六氏ハ明日本船ノ開催スル伯國人招待會ニ對シ三鞭酒二打ヲ寄贈セラル

本日淡水三百三十九噸ヲ搭載ス

四月二十七日 日曜 本日午後三時ヨリ當市知名ノ紳士淑女一百三十名ヲ本船ニ招待シテ學生ノ擊劍柔道

試合ヲ觀覽セシメ且ツ後甲板上ニ於テ茶菓立食ノ饗應ヲナシ餘興トシテ船内裝飾及福引等ヲ行ヒ主客共ニ兩國ノ萬歳ヲ唱シ交々歡ヲ盡シテ午後五時半散會セリ來賓ノ主ナルハ海軍大臣及ヒ令嬢當國駐米國大使、海軍工廠長、軍艦「ボロツツ」號艦長、外務省、遞信省、農商務省其他ノ諸官衙官吏等及家族ニシテ實ニ盛大ニシテ彼我ノ交情頗ル佳ナルモノアリキ

四月二十八日 月曜 本日正午本船ニ於テ碇泊中ノ好意ヲ謝スル爲メ午餐會ヲ催フシ藤田公使ヲ始メ公使館員其他在留民約五十名ヲ招待シ終ツテ學生茶話會及茶菓ノ饗應ヲナシ餘興トシテ擊劍柔道試合ヲ觀覽ニ供シ夕刻萬歳ヲ三唱シテ散會セリ

午後二時海軍大將インデイヲ氏夫妻ノ特ニ前日差支ヘノ爲メ來會セサリシヲ遺憾トシテ態々來船アリ學生ノ競技及船内ヲ縱覽シ後甲板ニ於テ三鞭酒ヲ舉ケテ兩國ノ交歡ヲ祝シ船ヲ辭セリ

本日淡水六十二噸三ヲ搭載シ全部ヲ終了ス此噸數五百七十噸一

四月二十九日 火曜 學生及下級船員ニ自由散步ヲ許可ス

四月三十日 水曜 正午英國公使ハツガー氏ハ書記官ヲ從ヘ本船ヲ公式訪問セラレシヲ以テ乘員ハ之レヲ舷門ニ送迎セリ

五月一日 木曜 學生及下級船員ニ自由散步ヲ許ス

午後一時在「ベトロボリス」市英國公使館ニ於テハツガー公使ノ特ニ本船ノ爲メニ催セル午餐會ニ參列ノ爲メ船長、專任教官、英語教官ハ午前八時半「リオ」市發列車ニテ同地ニ赴キ藤田公使夫妻ノ來會アリテ丁重ナル饗應ヲ受ケ午後六時歸船セリ

五月二日 金曜 正午ヨリ船長ハ大谷書記生ノ案内ニ依リ海軍省、遞信省、外務省、農商務省、市廳、港務部、海軍兵學校、海軍工廠、米國大使館及海軍大將インデイヲ氏、シルバー博士、メロモラエスフ井ルホー博

士、在留日本人ノ主ナル向キ等ヲ屢訪シテ碇泊中ノ好意ヲ謝シ尙ホ告別挨拶ヲナセリ

學生及下級船員ニ自由散步ヲ許ス

海軍兵學校生徒十餘名來船セルヲ以テ學生ノ有志者ハ擊劍柔道試合ヲ演シテ觀覽セシメタリ

夕刻外務大臣ラウロムラー氏ヨリ大冊ナル二十世紀ノ「ブラジル」一冊ノ寄贈ヲ受ク

本日山縣勇三郎氏來船アリテ乘員一同ニ對シ「バナ、十九房、蜜柑大籠入二籠ノ寄贈ヲ受ク

五月三日 土曜 出港

「リオデジヤネイロ」港事情

歴史ノ大要 西紀千五百年葡國航海者ベトロールバレス、カブラルニヨリ始メテ今ノ「パヒア」沿岸一帯ヲ發見セラレ當時之レヲ一島ト見做シ「サンタクルーズ」ト命名セシ事實ヲ以テ南米大陸發見ノ曙光トナスヲ通常トス而シテ翌年同國「リスボン」府ニ於テゴンカロコエルホーヲ隊長トセル一遠征隊ノ組織アリ新發見地ニ向ヒ發足セシメシカ彼等ハ更ニ南下シテ西紀千五百年一月一日今ノ「リオデジヤネイロ」灣ニ入りテ投錨セリ該灣及附近ノ模様ハ一見恰モ一個ノ河口ノ如キ觀アルカ故ニ之レヲ「リオデジヤネイロ」(リバーヂヤニユアリー)ト命名セリトゾ彼ノ南米智利國ノ要港タル「バルバライン」ハ「ヴェールオフバラダイス」ヲ意味セリト云ヘルニ照ラシテモ如何ニ當年ノ遠征家カスノ南米新天地ノ風光ニ憧カレシカヲ想見スルニ足ラン「コエルボー」ハ單ニ新發見地「リオデジヤネイロ」沿岸ニ幾多ノ印度人ト且ツ一帯ノ平原アリテ小ナル河流數條且沼澤ノ散在スルアリテ其間「マングローブ」樹ノ繁茂セルヲ認メシニ過ギズシテ直チニ本

國ニ引キ返シ其旨復命セルモノ、如シ蓋シ該一帶ノ平原コソ現今伯國首都ノ繁地ニ外ナラサルモノトス然ルニ本國ニ於テハ國事多端ニシテ此後數年何等施ス事ナカリシカ西紀千五百十九年有名ナル航海者「マゼラン」來航アリテ約二週日ノ碇泊ヲ當灣ニ送リタルモノ、如シ其後香トシテ傳フル者ナキハ葡國當時ノ事業多クハ東印度方面ニ繁忙ヲ極メシ時ナリシカ爲メナルヘシ然ルニ此間隙ニ於テ佛蘭西國ノ漸次當方面ニ着手スルアリテ殖民スラ起サントシ佛人ノ影漸ク當「リオ」灣沿岸ニ多カラントセリ而シテ彼等多ク土人ト結ヒテ此一帶ヲ占有スルノ觀ヲ示セリ茲ニ於テ葡國政府ハ西紀千五百三十一年マルチンアフランソデス「ザ」ヲシテ一艦隊ヲ引率セシメテ該佛國移民團ヲ追放スルノ使命ヲ以テセリ即チ彼ハ長驅シテ此一角ニ上陸シ佛人ト爭フト共ニ一方土人ヲ誘フコトニ勉メタリ然レトモ其遠征ハ充分ノ効果ヲ奏スルコト能ハス佛人ハ尙ホ其ノ跡ヲ絶ツ能ハサリキ而モ其後千五百五十五年ニ至リテハ佛國ハニコラスデユラントデビンガ「イ」ノンヲ指揮官トシテ有勢ナル一個ノ遠征隊ヲ編成シテ「ハーブ」港ヲ出發セシメ「リオ」灣ノ回復ヲ圖ラシメシニ能ク其効ヲ奏シテ再ヒ佛人ノ占有ニ歸セリ然ルニ千五百六十年ニ於テハ「リオ」灣ノ北方ニ介在スル葡國殖民地「バヒア」地方知事タリシメン、デ、サハ頑強ナル爭抗ヲ佛人ニ試ミ遂ニ之レヲ追撃破砕シテ土人ハ結フヲ得シモ後彼ハ「バヒア」方面ニ引揚ケケレハ留守ハ尙ホ佛人ノ乘スル所トナリ殆ント効果空シキノ有様ナリキ茲ニ於テ西紀千五百六十五年彼ノ甥エスタシヲ、デ、サ「リオ」デジャチ「イ」市ノ開祖ト稱セラル人物ハ葡國ヨリ一軍隊ヲ率ヒテ來着シ佛人ヲ根底ヨリ追放スルノ計畫ヲ立テ直チニ「リオ」灣ニ上陸セシテ「サン」セ「パス」チヲ「ニ」上陸シ更ニ「サント」ス「方面」ヨリ攻撃ヲ開始シ爾來三年ノ戰線ニ立チシカ混戰幾度未タ勝敗ノ數決セサリシカ恰モ「バヒア」方面ヨリ援軍來着スルアリテ茲ニ新進ノ英氣ヲ顯シテ激戰ヲ試ミシカ一月二十日ノ戰鬪ハ最トモ猛烈ヲ極メ終ニ彼エスタシヲ、デ、サハ印度人ノ流矢ニ中リテ負傷シ翌日ハ終ニ戰沒スルニ至レリ彼「パウ」デアシユカール「ニ」埋葬シ現今紀念碑ノ設ケアリテ其ノ偉業ヲ後年ニ傳ヘツ、アリ而シテ彼終ニ戰死セシト雖トモ戰勝ノ桂冠ハ葡軍ノ荷フ所トナリ佛人及ヒ反徒タル印

度人ヲ遠ク域外ニ追放スルニ至リ全ク「リオ」市ハ葡國ノ有トナレルモノトス而シテエスタシヲ、デ、サノ從弟タルコレイラ、デ、サヲ留任セシメテ當市ノ治政ニ當ラシメヌ
千六百八年ニ於テ「エ」ス「ビ」ラ「ト」サント「リオ」デ「ジャ」ネ「イ」ロ「サン」パウ「ロー」ノ三州ヨリ成レル聯邦ヲ形成シ政廳ヲ「リオ」市ニ設立セシコトアリ當時「リオ」市ハ既ニ衛守兵六百人ニ加フルニ人口二千六百人ヲ有スル都市タリキ、以來三十一年間コレイラ、デ、サノ百十三歳ヲ以テ沒スル迄彼ノ治下ニアリテ平和ヲ繼續シ彼レノ事業經營セシ所種々アリシト雖トモ現今尙ホ其ノ餘影ヲ存セルモノハ彼ノ「カ」ス「テ」ロー「ノ」城砦ナリトス

千七百十年ニ至リ再ヒ佛人ノ逆襲アリダク「レ」之「レ」カ首領タリ而モ又々「リオ」市ヲ占領シ葡兵ノ遠ク退却スルヲ追撃スルコト急ナリシカ其地ニ達シテ其形勝ニ依レル葡軍ノ強固ナル抵抗ニ遭遇シ進退窮シ終ニダク「レ」ハ生擒セラレ數月ノ後慘殺セララルニ至リ次イテ「リオ」市ノ回復トナレリ其後モ折々佛人トノ爭鬪絶ヘザリシモ結局葡國領トナリ西紀千七百六十二年ニ於テハ伯刺爾留國ノ首府ト一定セラレヌ
其後千八百八年葡國ヨ「ハ」六世、佛帝ナ「ボ」レ「オン」一世ノ英鋒ヲ當國ニ避クルヤ「リオ」市ニ留マリテ終ニ伯國王トシテ君臨シ第一着手トシテ「リオ」市ヲ世界ニ公開シ通商貿易ノ自由ヲ許セシカ此ノ葡王ノ逃竄ト開港主義トハ相俟ツテ當市ノ隆盛ヲ促セル最要素タルハ疑ヲ容ル、能ハサル事實トス當年諸植ノ建築設備ノ企畫ヲ見タリ千八百二十二年ニ於テハ伯國ハ葡國ノ羈絆ヲ脱シテ茲ニ獨立王國ヲ宣言シヨ「ハ」王ノ一子ド「ン」ベドロ「ハ」之「レ」カ帝王トナレリ帝ハ治世良シキヲ得シテ民心ヲ失ヒ千八百三十一年五歳ノ小兒タルド「ン」ベドロ二世ヲ殘シテ自ラ葡國ニ去レリ其後千八百三十五年ニ至ル迄ハ伯國首府トシテ又「リオ」デ「ジャ」ネ「イ」州内ノ一都府トシテ經過セシカ千八百五十四年全州政ヨリ分離シテ獨立ノ首都ヲ形成シ面積實ニ五百四十平方哩ヲ有シ人口二十萬餘ヲ有シタリキ千八百八十九年十一月十五日ド「ン」ベドロ二世ノ奴隸開放ト共ニ革命起リ終ニ共和國トナリテ獨立シ當府ハ其ノ首府トシテ何レノ聯邦ニモ屬スルコトナク今日ニ及ヘ

ルモノトス

人口、面積、設備ノ一般 當市ハ大西洋及「リオデジャネイロ」州間ニ介在シテ面積四百三十一平方哩ヲ有ス
人種ハ羅甸人種ニシテ雜種多ク黑人ハ皆ナ開放セラレシ奴隸ノ子孫タリ最近ノ統計ヲ見ル能ハサルモ現今
當市ニ於ケル合計人口九十五萬人ニ達スヘク就中外國人ノ在留者別ヲ示セハ左ノ如シ

國別	員數	國別	員數	國別	員數
葡國	一三、三九八	伊太利	二五、五七〇	亞弗利加	七〇二
西班牙	二〇、六九九	獨逸	二、五七五	亞細亞	五二二
英國	一、六七二	佛國	三、四七四	國籍不詳	(內日本人) 二四、六二二 (約六十人)
他ノ歐洲國	二、七八一	米國	一、七〇〇		

次キニ設備ノ概要ヲ記スルニ先タチ市政ノ收入高要部ヲ擧クレハ(一九一二年度收入見積リ額「コントス」
(我カ約六百六十圓)

種別	金額	種別	金額	種別	金額
家屋稅	一四、〇〇〇 <small>コントス</small>	地租稅	二〇〇 <small>コントス</small>	運送業稅	六〇〇 <small>コントス</small>
營業免許稅	三、六〇〇	重量稅	四〇〇		
動物飼養稅	一、五〇〇	行商稅	四〇〇		

教育設備 市政者ハ市ノ發展ハ教育ノ普及ニ基因スルノ多キヲ認メ夙ニ多額ノ經費ヲ投ジテ其擴張ヲ圖リ
ツ、アリ諸學校現在數合計三百二十一校ニシテ内

高等學校 五 中學校程度 百八十九 初等學校 八十九
初等學校附屬園 十三 諸種ノ實業學校 二十五 此他夜學校 二十

晝間通學生徒數 四萬九千四百七十九人 夜間通學生徒 千九百三十人
合計五萬四千四百九人ナリ之レヲ三二、六三二人(一九〇四年)及ヒ一八、六六四人(一八九六年)ニ比スル時ハ
教育普及ノ跡ヲ知ルニ足ルヘシ尙ホ其他ニ多數ノ學校アルカ如シト雖トモ市立ニアラスシテ聯邦ノ設立ニ
係ルモノナルカ故ニ茲ニ掲ケス
圖書館、劇場、公園等 圖書館モ數棟アレトモ就中最大ナルモノハ「ナシヨナルライブラリー」ニシテ建築頗
ル宏壯ヲ極メ昔ヨハ王時代ニ其ノ源ヲ發セシモノナルカ如ク同王カ葡國ヨリ運ヘル六萬部ノ書籍ニ加
ルニドンペドロ二世ノ購求寄附セル五萬部ヲ合シ之レニ市民ノ寄附購求セシモノヲ合スレハ優ニ左ノ如キ
藏書ヲ貯フルモノナリトス

印刷物 三二六、一六七部 手書物 五六九、六四三部
一九一一年調地圖其他圖面類 六、八七六部 繪畫類 一二三、一八二部
貨幣勳章類 二八、七〇九部

劇場モ數多アレトモ最大劇場トシテ遠ク巴里府ノ「グラントラペラ」ト其輪奐ノ美ヲ競フト云フ「ムニシバ
ルシアター」ハ市内ノ中央ニ聳ヘ美麗壯大ノ建築ニシテ七二二、〇六七磅ヲ投シテ成レルモノト云フ
公園ハ雄大ナルモノニシテ三公園アリ其ノ中一ツハ帝政當時ノ宮殿庭園ヲ開放シタルモノニシテ宮殿ハ現
今博物館トナレリ此ノ他寺院、旅館、俱樂部諸種ノ金融機關等ヨリ備ハレリ但店舗ノ裝飾市ノ外觀ニ比シテ
美麗ヲ競ハサルノ風ハ他國ノ市府ト趣キヲ異ニセルカ如キモ是レ全ク關稅ノ高率及ヒ附加稅ノ課賦ヲ避ク
ルカ爲メナルヘシ大統領官邸、各省、中央政府附屬ノ各官衙、鎮守府及市廳等諸種ノ役所悉ク市内ニ存在ス
ルモ各國使節ハ此ノ雜沓ヲ避ケテ市街ヲ距ル二十二哩ノ高燥ノ地タル「ベトロポリス」(二時間ニシテ鐵道

ノ通達スルアリ)ニ駐在セリ我カ公使館ノ如キモ同地ニアリ但シ各國領事館ハ多ク市内ニアルモノ、如シ「リオデジャネイロ」州ノ首府ハ對岸ナル「ニゼロイ」市ニシテ同地ニ州政府アリ常ニ當市トノ間ニ「フェーリー」船ノ交通アリ

電氣鐵道、電燈、瓦坭燈、設備 「リオデジャネイロ」電車電力會社ト名クル會社アリテ資本金一九、〇〇〇、〇〇〇磅ヲ有シ殆ント全部米人ノ經營ニシテ全「リオ」市ノ有スル電氣鐵道延長線二百哩及ヒ全市ノ電燈、電話、瓦斯ノ供給方一切ヲ以テ任シ居レリ電管ノ延長ノ如キ一、六〇〇、〇〇〇呎ニシテ瓦斯管ノ如キハ延長四二〇哩ニ達シ五、〇〇〇、〇〇〇立方呎ノ瓦斯ヲ一時間二五、〇〇〇人ノ契約者ニ供給スルノ裝置ヲナセリ又電話ノ如キモ五、五〇〇人ノ特約者ヲ有セリ

電車ハ市中縱横ニ之レヲ導キ尙ホ近在スル各名所形勝ニ通セリ就中二千五百呎ノ高峰「コルコバド」ノ頂上ニ達シ茲ニ休憩所ヲ設ケシカ如キハ最トモ奇觀ニシテ展望開闊絶景タリ北米羅府ノ遊覽地「マウントロ」ノ奇勝モ想ヒ合サレテ米人ノ奇拔ニシテ又利殖ノ道ニ巧ミナル所其軌ヲ一ツニセルモノト云フヘシ當會社ハ「サンパウロ」市電車電力會社ト同盟シテ其ノ事業ヲ連系シ利害ヲ共ニシツ、アリ會社一ケ年ノ收入ハ實ニ百五十萬磅ニ達スト唱ヘラル市内各種ノ諸事業中收入最モ多額ヲ占ムルモノナリトゾ電氣原動機ハ「ワラダレー」ト稱スル市内ヲ距ル五十哩ノ所ニ設置シ五萬馬力ヲ有シ之レニ加フルニ「ピラリ」河ノ水力電氣ヲ加フルヲ以テ優ニ十萬馬力ヲ有スト云フ

鐵道 當市ヲ發スルモノ七線アリ第一「ジュニドフアラ」行(二百六十七キロメートル)第二「パーバセナ」行(二百七十九キロメートル)「ペロホリヅンテ」行(六百五キロメートル)「ラウロブレト」行(五百四十一キロメートル)「サンパウロ」行(四百九十八キロメートル)以上中央鐵道線「セレンボリス」行(六十キロメートル)「ペトロボリス」行各線トス

氣候及ヒ衛生狀態 當市ハ伯國中半熱帶部ニ位シ晝夜寒暖ノ差違頗ル顯著ニシテ晝間ノ暑熱甚シキニ反シ

夜間ハ冷涼著シキヲ加フルコトアリ乾燥季モ熱帶部ニ比スレハ比較的整シキカ如キモ尙ホ殆ント一定スルコトナク概シテ夏分ニ雨量多シト雖トモ而モ九月ノ如キハ雨量最トモ多シト唱ヘラル、カ如ク要スルニ斯ル地方ニ於テハ單ニ二季ノ區別正シカラサルモノトナスヲ宜シトス

一月、二月ハ最暖ノ季ニシテ平均華氏七十九度ニシテ三月頃ヨリ漸次氣温ノ下降ヲ示シ最冷ノ時ハ七月ニシテ平均氣温華氏六十九度半ナリト云フ、夏季快晴ノ日ニハ日出後漸次氣温上昇ヲナシ正午前後海軟風ノ吹キ起ル頃マテ繼續シ同風ノ吹キ初ムルヤ氣温頓ニ下降シテ時ニ四度乃至五度ノ差ヲ示スコトスラアリ之レニ反シ天候不良時及海軟風ノ著シカラサル際ハ更ニ温度ヲシテ上昇セシムヘシ夏季ニ於テハ雷雨ノ時々發生アリテ日中ノ氣温ヲシテ冷涼ナラシムル効力アリ

流行風ハ南南東(海軟風)及ヒ北西(陸軟風)ニシテ前者ハ午前十一時ヨリ午後二時迄ノ間ニ吹キ起シ夕刻マテ繼續スヘシ而シテ夕風キヲ呈シテ午後十時前後ヨリ陸軟風ヲ起シ朝方マテ引キ續クモノトス此ノ兩軟風ハ太陽南緯ニアルノ時最トモ強盛ニシテ而モ海軟風ハ陸軟風ニ比シテ強盛ナルヲ常トス夕風キ時ニ於テハ突然強風ヲ吹キ出スコト往々アリト云フ太陽北進スルニ從ヒ海風ハ其力ヲ減シ少量トナルト共ニ陸風強盛トナリ吹續時間モ從テ永ク時ニ正午前マテ吹キ續クコトスラアリ新滿月時ニ於テハ「テルアルトス」ト呼フ偏北西ノ強颯來襲スルコトアリ數時間繼續スヘシ概シテ當地ニ於テハ偏南西風ハ不良ノ天候ニシテ颯雨ヲ伴ヒ時ニ強激ナルコトアリ

左ニ天氣上永年ノ平均數字ヲ示セハ

氣	壓	絕對最高氣温	絕對最低氣温	蒸氣量	温	度	降雨量	觀測回数
	七五七三	101(華氏)	50(華氏)	161	七六四	191	50	

平均温度ハ華氏七十三度ナルカ如シ、流行風北一北西、南東一南南東

衛生状態 當市及ヒ附近一帯ノ地ハ概シテ健康地ニシテ現今ノ如キハ殆ント周年悪疫ノ流行ヲ見サルト云フ只十年前迄ハ有名ナル黄熱病ノ流行猖獗ヲ極メシ爲メ比年之レニ苦ミ港内ノ船舶ニ至ル迄之レニ襲ハル、ノ有様ニテ死亡率ノ如キ夥シキ多數ニ及ヒタルモノニシテ就中一八九四年ニ於ケル當市ノミノ死亡者四千八百五十二人ノ多數ナリシ外年々數百人乃至一千人ノ死者ヲ見シ結果首都移轉説スラ起ルニ至リシカ政府ハ衛生局長クルーズ博士ノ蚊軍撲滅説ヲ容レ一意衛生設備ノ完全ニ努メ多額ノ費用ヲ供シテ上下水道ノ竣工ヲ斷行シ又連年設備ニ夥シキ金圓ヲ投スルノ結果漸ク其面目ヲ一新シ病勢漸次減衰シ近年ニ於テハ殆ント市内ニ該病ノ發生ヲ見サルコトニ至リシヲ以テ一轉シテ健康地ト化シタルモノトス只別表ニ示スカ如ク時ニ「マラリヤ」熱ノ流行ヲ見ル位トス

當市ニ於ケル最近各種病疫ノ主ナル統計ヲ示スコト次ノ如シ

病名	一九〇五年	一九〇六年	一九〇七年	一九〇八年	一九〇九年	一九一〇年
黄熱病	二七	四	三九	四	一	
天然痘	二五	九	二五	六、五四	二六	(土人ニ)
マラリヤ熱	二六	二六〇	一三七	二七七	一四八	一八七
肺病	二六三	二六四九	二五七	二九六	二八四	三〇八

此他「リユーマチス」病患者多ク癩癧、皮膚病、消化器病及脚氣病等ニシテ「ブルブル」病ト稱スル一種ノ風土病アルモ土人専ラ之レニ罹ルカ如シ

次ニ一九〇七年ニ於ケル當市ノ死亡率ト倫敦、「ニューヨーク」、東京、巴里、伯林等世界有數ノ都府ノ夫レニ比シテ大差ナキハ其衛生状態整備ノ一端ヲ伺フニ足ルベシ (一九〇一年)

首都人名	人口	死亡數	一千人ニ對スル死亡率
倫敦	四、七五八、二八	六九、二六	一四六〇
ニューヨーク	四、二八五、四三	七九、二〇	一八五〇
巴里	二、七三五、一六	五〇、四九	一八五〇
伯林	二、〇九六、三三	三三、三五	一五四〇
東京	一、四四〇、三三	二七、一六	一八九〇
セントピートルスブルグ	一、五〇五、〇〇	三七、二三	二四七〇
ピエノスアイレス	一、二九二、六六	一八、六六	一六四〇
ボムベ	九七七、八三	三六、八七	三九六〇
リオデジヤネイロ	八四〇、四〇	一六、四四	一九四七

公立病院等ノ設備略ホ成ルモ治療手術等ニ至リテハ不完全ナルモノ、由ニテ醫家ノ人口ニ比シテ不足セルモ其原因ナルヘシ

港灣及ヒ海運 當港ハ伯國第一ノ貿易港ニシテ商業ノ中心タリ南緯二十二度五十四分半西經四十三度九分ニ位シ我カ横濱港ヲ距ルコト喜望峰經由一萬一千五百八十哩「ニューヨーク」港ヲ距ル四千七百四十八哩(十七日乃至十九日ニテ達ス)「サザムプトン」港ヲ距ル五千三十四哩(十六、七日ニテ達ス)伊太利「ゼノア」港ヲ距ル五千四十哩(十二日乃至十五日ニテ達ス)ニシテ灣形圓形ヲナシ港口ノ幅員僅カニ九鏈ニシテ南北ノ長サ十六哩奥部最廣部ノ直徑十五哩周圍沿岸線四十五哩ヲ有シ全面積三十平方哩ニ達スヘク灣内島嶼散點シ風景頗ル佳ナリ堆、暗礁等ノ存在スルコトナク錨地至ル所良好ニシテ底質泥土、干潮時ニ於ケル水深二十一呎ナル所僅カニ一ヶ所港口附近ニ見ルノ外總テ三十呎乃至七十呎ニシテ大形船舶ノ出入及ヒ通航自在

ナリ灣内諸島ニ接近シテ一二岩堆ノ存在アルモ能ク浮標ヲ以テ示現セラレアリ潮流稍々急ナル時アリトナ
ス
外國貿易ニ於テハ伯國諸港中「サントス」ニ次クノ港ニシテ船舶ノ出入從ツテ繁ク其ノ一九〇九年調ニ於ケ
ル統計表ニ依レハ伯國第一位ニ位スルモノタリ

港名	伯國		外國		合計	
	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數
リオデジャネイロ	八四二	六八,四八八	一,三〇九	四,二〇八,五五六	二,一五一	四,八三五,〇五四
サンクトス	五五五	三五,四七二	九四四	二,九六八,二二九	一,四九九	三,三二九,七〇一
パナマ	三九二	四二,四八五	五七七	一,七一九,二三五	九一九	二,一三四,〇八〇
バーナム	四三三	四三,五三〇	三七六	一,二二三,五三三	八〇八	一,五五〇,〇六三
ブラ	二七六	四九,〇三五	三四一	七四,八七三	一五八	一二四,九〇八

以下略ス

右表ノ示スカ如ク當國海運業ニ内航若クハ近隣國トノ交通ヲ除キテハ殆ント外國船ノ占有スル所ニ係リ從
テ各貿易品ノ運賃ハ悉ク外國船主ノ手ニ落ツヘク加フルニ貿易品ニ對シテハ關稅率異常ニ高率ヲ附加シ國
庫唯一ノ收入トナスト共ニ一方内國生産業保護ノ一端トナセルカ故ニ物價ノ高價ナルコト著シク勞銀又宜
シキモ國民貧富ノ懸隔自ラ甚シク國家ノ中樞タルヘキ中流民ノ活潑狀態同シキカ如シ
尙次キニ一九一〇年調タル全國諸港ヲ合算シテノ出入船舶國別表ヲ掲クレハ

入港船

國名	汽船		帆船		合計	
	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數
ブラジル	一一,五七一	七,五八四,〇〇〇	五,二六三	二,九〇〇,〇〇〇	一六,八三四	七,八一三,〇〇〇
英國	二,〇〇一	六,七〇四,〇〇〇	一一三	三,九〇〇,〇〇〇	二,一四五	六,七四三,〇〇〇
獨逸	九八九	二,八〇六,〇〇〇	三五	二四,〇〇〇	一,〇三四	二,八三〇,〇〇〇
佛蘭西	四〇一	一,三三一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	四〇二	一,三三一,〇〇〇
伊太利	三三五	一,〇四四,〇〇〇	二七	二七,〇〇〇	三六一	一,〇七一,〇〇〇
和蘭	二六四	四九一,〇〇〇	二	四〇〇	一六六	四九一,〇〇〇
澳洲	一五四	四〇一,〇〇〇			一五四	四〇一,〇〇〇
西班牙	八三	二二七,〇〇〇			八三	二二七,〇〇〇
アルゼンチン	五五二	一八七,〇〇〇	二二	二,〇〇〇	五七三	一八九,〇〇〇
那威	二八	三二,〇〇〇	一〇四	七,一〇〇	一三二	一〇,一〇〇
瑞典	五三	六〇,〇〇〇	三	四八〇	五五	六一,〇〇〇
丁抹典	二九	五九,〇〇〇	七	二,〇〇〇	三三	六一,〇〇〇
白耳	二	一七,〇〇〇	三	七,〇〇〇	四	二四,〇〇〇
露西	二	一〇,〇〇〇	二	三九〇	四	一〇,〇〇〇
合衆	四	五,〇〇〇	三	九,〇〇〇	七	一四,〇〇〇
日本	二	五,〇〇〇	四	三,〇〇〇	六	八,〇〇〇
日					二	五,〇〇〇

出港船

國名	汽船隻數	噸數	帆船隻數	噸數	合計隻數	噸數
伯國	二,五六四	七,五九三,〇〇〇	五,二五八	二,六〇〇,〇〇〇	一六,八二二	七,八一九,〇〇〇
英國	二,三〇一	六,六九二,〇〇〇	一〇四	三三,〇〇〇	二,四〇五	六,七二五,〇〇〇
佛國	九九五	二,八一八,〇〇〇	三〇	二二,〇〇〇	一,〇二五	二,八三九,〇〇〇
伊國	三九八	一,三九〇,〇〇〇	一	一,〇〇〇	三九九	一,三九〇,〇〇〇
和蘭	三三四	一,〇四一,〇〇〇	二六	二七,〇〇〇	三六一	一,〇六八,〇〇〇
澳洲	一六五	四九一,〇〇〇	二	四〇〇	一六七	四九一,〇〇〇
西班	一五二	四〇〇,〇〇〇	二	四〇〇	一五二	四〇〇,〇〇〇
西班牙	八三	二七〇,〇〇〇	一	一,〇〇〇	八三	二七〇,〇〇〇
其他	五三	一八九,〇〇〇	三	二,〇〇〇	五六五	一九一,〇〇〇
合計	一五,〇〇〇	三〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇,〇〇〇	二五,〇〇〇	三〇,〇〇〇,〇〇〇

國名	汽船隻數	噸數	帆船隻數	噸數	合計隻數	噸數
那威	三〇	三五,〇〇〇	九	六六,〇〇〇	二一八	一〇一,〇〇〇
瑞典	二六	六二,〇〇〇	四	二,〇〇〇	五七	六四,〇〇〇
丁義	九	一七,〇〇〇	一	八,〇〇〇	四	二五,〇〇〇
白耳	二	一〇,〇〇〇	一	二,〇〇〇	三	一〇,〇〇〇
露亞	四	五,〇〇〇	三	九,〇〇〇	一三	九,〇〇〇
合衆	一〇	六,〇〇〇	二	二,〇〇〇	一六	七,〇〇〇
日本	二	五,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一〇	六,〇〇〇
巴拿馬	二	五,〇〇〇	一	一,〇〇〇	二	六,〇〇〇
比利時	二	五,〇〇〇	一	一,〇〇〇	二	六,〇〇〇
葡萄牙	二	五,〇〇〇	一	一,〇〇〇	二	六,〇〇〇
其他	四	一七,〇〇〇	五	五,〇〇〇	一三	二二,〇〇〇
合計	一〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	五〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一五〇	二,〇〇〇,〇〇〇

以上

次キニ當港ニ寄港スル内外國汽船會社ノ主ナルモノヲ舉クレハ左ノ如シ
 (伯國) Novo Lloyd Brasileira 伯國第一ノ汽船會社ニシテ政府ノ補助比較的多ク伯國其他南米東岸諸港ヨ
 リ北米「ニューヨーク」ニ交通シツ、アリ所有汽船合計噸數一〇一、五〇六噸ニシテ内ニ三千噸型數隻及ヒ
 六千五百噸型二隻ヲ有ス
 右外遠洋汽船會社トシテ Empresa de Navegacao 會社及ヒ Navegacao de alto Uruguay 會社ヲ有スルモ

當港ニ寄港セス

(英國) Royal mail steam Packet Co. 英國「サザムトン」港及「アルベンチン」國「ビエノスアイレス」港間ノ貨客運搬ニ從事シツ、アリ當會社ハ英國汽船會社中南米ニ來航スル優位ヲ占ムルモノニシテ一九〇七年建造セシ「アラゴン」、「アマゾン」、「アラグヤ」、「アボン」、「アスチユリヤ」ノ五隻ノ如キハ各一萬二千噸ノ姉妹船ニシテ其形容我カ天洋丸ニ類似シ多クノ貨客ヲ收容スト云フ尙ホ此他一萬四千噸型一隻昨年建造シテ「アルランザ」號ト命名シテ既ニ當航路ニ使用シツ、アリ

Lanport and Holt Co.

Liverpool, Brazil and Riverplate line.

Pacific Steam Navigation Co.

(獨逸國) Hamburg American line.

十二隻ノ汽船ヲ用井九千五百噸型(速力十六浬)一隻外多クハ六千噸大ニシテ最小三千噸型トス

Hamburg-South American S. S. Co.

三十八隻ノ汽船ヲ有シ一萬六千四百噸ヲ最大トシ九千八百噸、七千五百噸各一隻外多クハ四千噸乃至二、三千噸型トス以上兩社ハ殆ント合同シテ同監督ノ下ニ經營シツ、アリ

Norddeu. Tschel-Lloyd line.

(佛國) Compagnies messageries maritimes.

Compagnii des chargeurs Reunis.

Societe Generale des Transport maritimes.

Compagnii de Navigation Sud-Atlantique.

(伊太利國) Societa di Navigazione a Uapore.

「リバプール」港及「リバープレート」港間及「アルベンチン」並ニ「ブラジル」國諸港其他「ニューヨーク」港間
「リバプール」及「リバープレート」間
「リバプール」及「ビエノスアイレス」間
「ハムバーク」及「サントス」間
尙ホ北米「ニューヨーク」ニモ向フ
「ハムバーク」及「リバープレート」間
「ニューヨーク」ニモ通ズ
「ブレーメン」及「リオ」港間
「ボルドー」港及「ビエノスアイレス」港間
「ハーブ」港及「サントス」港間
「マルセーユ」及「ビエノスアイレス」間
「ボルドー」及「ビエノスアイレス」間
「ゼノア」及「ビエノスアイレス」間

La Deloce.
Lloyd Italiana.

ヲ航行シ六隻ノ一等客船ヲ之レニ用井就中有名ナル *Principessa mafalda* ハ最大噸數(九千二百十噸)ヲ有シ又最大速力(十八浬半)ヲ有スル客船ニシテ當「リオ」港ヲ出帆後僅カニ二十一日ヲ以テ「ゼノア」港ニ到着スヘク南米ヨリ歐洲ヘノ最捷經路タルモノナリ歐洲ヘノ歸港時ニハ悉ク「バーセローナ」ニ寄港スルヲ以テ此地ニ於テ「バリ」リオン」地中海鐵道線ニ連續セルカ故ニ「巴里市」ヘハ更ニ二十五時間ヲ要スルカ故ニ此ノ航路ヲ取ル旅客ハ「リオ」市ヨリ「巴里市」迄十三日ヲ以テ達シ得ヘシト云フ

Lloyd Sabando.

Ligure Brasiliana.

(和蘭國) Hollandsche Lloyd.

三隻ノ旅客船ヲ以テ「アムステルダム」及「ビエノスアイレス」間ニ從事シ二十二日ヲ要スヘク他ニ六隻ヲ以テ「モンテビデオ」港及ヒ「アムステルダム」間ノ貨物船トナシツ、アリ

(澳太利) Austrian Lloyd.

Royal Hungarian Sea Navigation Co.

(西班牙) Sociedad Anonima de Navigation Transatlantica.

(露西亞) Odessa Commercial Bank.

「ツリエスト」及「リオ」港間
「ヒューム」及「リバープレート」間
「ブイゴ」及「ビエノスアイレス」間
「ラデツサ」及「ビエノスアイレス」間

以上

乾船渠 當港ニ現在スル乾船渠ハ左ノ五個トス他ニ一個ノ浮船渠ヲ有シ加フルニ四箇ノ船渠ヲ有ス其形大次表ノ如シ

船渠名	全長	底長	入口ノ幅	満潮時ノ深サ	所有者
イムベリアル	四三	四三	七	二〇	政府
サンタクルーズ	二五八	二五六	五	一八	同上
モカン	四〇〇	四〇〇	六	一六	同上
同 第一	三七〇	三七五	五	一五	建造中
在イルハデビヤマ船渠	四〇〇	三三五	六	一八	コメルシチナバガサチヤ社
在トリクトクコマルシチ船渠	五五〇		八	三	同上

船架

船架名	全長	ノ長サ	満潮時ノ「キールボロツク」吃水	揚卸力
在コンセーカラ島船架	二二〇	八〇	一〇〇	四〇〇
在イルハドルフェロス船架	一四〇	一一五	八五	四〇〇
在トクトク船架	二七〇	二〇〇	一〇〇	八〇〇
在ルアユーダ船架	二六〇	二二〇	一〇〇	八五〇

千九百三年頃迄ハ殆ント當港ニハ海陸連絡設備トシテ見ルニ足ルヘキモノナク天氣不良時ノ如キ船舶ノ操縦及荷役等頗ル困難ヲ免レス從テ當港貿易ヲ沮害スル夥シカリシカ只其頃「ナシヨナルドツク」及「ソード、ビガムボアト」附近ノ小岸壁ノ構成スラ頗ル便宜ヲ與フルモノ多カリキ茲ニ於テ爾來頻リニ築港問題轟々

タリシモ財源充分ナラス遷延時ヲ移セシガ、フランシスコドバウラ、ロドリゲスアルブス大統領時代ニ時ノ工部大臣ラウロシユラー氏(現外務大臣)ニ依リ熱心發議唱導セラレ終ニ社會ノ方針ヲ一致セシメテ茲ニ築港案ノ通過ヲ見シモノ即チ現今着々工事中ノモノ是ナリトス設計ハフランシスコドバウラ博士ニ任シ工事一切ハ英國倫敦「シーエーチ、ウラーカー」會社ニ下命セシモノトス

千九百四年三月二十五日開業式ヲ舉ケ築港場所ハ「リオ」市ノ北部沿岸ニシテ「モロデスベント」岬ヨリ「カジュ」岬迄ノ間ヲ包容スル繫船岸壁ニシテ此中間ニ三個ノ突堤ヲ設クル筈ナリ各突堤中最南部ノ一ツハ之レヲ「サンタババー」島マテ突出セシメ全長二千四百「メートル」幅百八十「メートル」ヲ有シ更ニ海面三百六十「メートル」ヲ距テ、其北部ニ設クヘキモノハ「トロエス」島及「ボムベダ」島ヲ經テ全長二千「メートル」幅員同様ノモノ及ヒ更ニ海面三百六十「メートル」ヲ距テ、幅員同様全長千八百「メートル」ノ突堤ヲ形成スヘク尙ホ「モロデスベント」岬ヨリ「カジュ」岬迄ノ沿岸壁ノ全長ヲ合算スレハ優ニ十九「キロメートル」ニ達スヘク費用三百萬磅ト見積ラル岸壁構成ノ方式ハ「アントワーブ」港ト同様ノ方法ヲ採用シ「カイサン」(大ナル鐵箱)中ニ「セメント」ヲ填充シ之レヲ海底岩石マテ沈下セシメ之レヲ基礎トナシテ其上ニ岩壁ヲ築造シ内側ニ「セメント」又ハ土砂ヲ埋メ立ルモノトス該「カイサン」ノ重量ハ平均二百五十噸製造費各々一千磅乃至四千磅ニシテ構造日數各々二十五日ヲ費スト云フ岩壁五米突毎ニ「ムアーリン」ダホストヲ置キ又所々ニ海面ヨリ階段ノ設ケアリ水深ノ平均普通潮面ニ於テ十一米突ヲ保ツヘク埋立土砂ハ「セゴドーヒル」トテ市内ニ土砂ヲ散シ且ツ軟微風ノ吹來ヲ妨クル小山ヲ掘リ崩シテ之レニ宛テツ、アリ而シテ四、五十米突毎ニ鐵骨ノ倉庫(長サ百米突)一棟宛ヲ建立シ岸壁端ニハ一噸半、三噸、五噸等ノ電氣揚貨機臺ヲ多數設置シ能フ限リ荷役時間ノ削減ヲ圖リ一方市内ヨリハ鐵道線ヲ敷設シ且又倉庫ノ後面ニハ幅四十米突ヲ有スル道路ヲ造リ無數ノ貨車、自働車等ヲ以テ貨客ノ集散ニ供セントスルモノナリ現今ニ於ケル竣成ノ分ハ三千二百二十米突ノ繫船岸及倉庫十四棟ニシテ多クノ船舶常ニ幅湊シツ、アリ尙ホ附屬事業トシテ市内中央部ニ更ニ

數棟ノ倉庫及ヒ石造ノ建築待合所ヲ設立シテ特ニ一等船客用トナサントスルノ計畫アリト云フ
 外國貿易概要 當港ハ伯國ノ主位ニアル輸入港ニシテ輸出港トシテハ第四位ニ位セリ輸出品ノ重ナルモノ
 ハ珈琲、獸皮、綿、煙草、「ゴム」、「ローズウッド」、「ジャカランダ」材等ニシテ輸入品ノ主ナルモノハ諸種ノ製
 作品、機械類、乾燥品、木材、糧食品、酒類、石油類、石炭、「セメント」、乾草等ナリ次キニ全國ノ貿易高ト當港
 トヲ比スレハ

全國各港總高

年	別	輸	出	輸	入	合	計
一九〇九年	年		1,016,590		59,887		1,076,477
一九一〇年	年		939,413		73,863		1,013,276
一九一一年	年		1,003,915		79,361		1,083,276

「リオ」港

年	別	輸	出	輸	入	合	計	百	分	比
一九〇九年	年	1,241,777		2,333,900		3,575,677	3,575,677	全年ノ輸出入ハ全國ノ百分ノ三十一・二		
一九一〇年	年	1,153,360		2,644,455		3,797,815	3,797,815	全年ノ輸出入ハ全國ノ百分ノ三十七・七		
一九一一年	年	未調						全年ノ輸出入ハ全國ノ百分ノ三十七・七		

之レヲ第一ノ輸出港タル「サントス」港ニ比スレハ

「サントス」港

年	別	輸	出	輸	入	合	計	百	分	比
一九〇九年	年	432,732		1,140,555		1,573,287	1,573,287	全年ノ輸出入ハ全國ノ百分ノ四十二・五		
一九一〇年	年	282,243		1,412,800		1,695,043	1,695,043	全年ノ輸出入ハ全國ノ百分ノ三十九・九		

次キニ當港ヲ經テ海外ニ輸出サル、國產ノ主ナルモノ、統計ヲ左ニ掲ク
 「煙草」輸出額ニ於テハ全國各貿易港中第六位ニ位シ第一位ハ「バヒア」港トス

港名	一九〇五年	一九〇六年	一九〇七年	一九〇八年	一九〇九年
リオ港輸出額	81,859	91,146	60,233	34,129	32,727
バヒア港輸出額	65,924	80,135	104,857	72,786	113,814

「珈琲」 「リオ」デジャネイロ州ハ往昔千八百四十年代頃ニ至ル迄ハ伯國第一ノ珈琲產地ニシテ從テ當港モ
 第一タルノ資格モ隣州タル「ミナスゼライエス」州ニ讓ラサルヘカラサルニ至レリ然リト雖トモ「ミナスゼ
 ラエス」ノ産額中三分ノ二ハ當「リオ」港ヲ經テ輸出セラレツ、アリ
 「リオ」州ハ上下二部ニ分タレ上部即チ「ミナスゼライエス」附近地方ヲ以テ主產地トナス全州ニテ珈琲樹ノ株
 數一、九八五、〇〇〇、〇〇〇本ニシテ一本ニ付毎年三四四「グラム」ヲ産出スヘシト云フ
 他州ノ状態ハ茲ニ一々調査スルノ時ヲ有セサルヲ以テ略シ只寄港地附近ノ状態ニノミ止ム

珈琲産出地トシテノ第一、第二、第三位ニアル各州ノ比年輸出高ヲ示スコト次ノ如シ
「サンバヴロ」州(悉ク「サンバヴロ」港ヨリ輸出セラル)

金重	高量	一九〇七年	一九〇八年	一九〇九年	一九一〇年
		六七四、八六三、 ^{キロ} 五七 ^一	四九六、〇二八、 ^{キロ} 六五〇	八〇二、一九〇、 ^{キロ} 七三八	四二、九九二、 ^{キロ} 四九四
		三二〇、九四六、 ^{キロ} 〇七 ^一	二四六、五二一、 ^{キロ} 四四 ^一	三六九、〇〇七、 ^{キロ} 七三九	一九四、二六、 ^{キロ} 五四七

「ミナスゼラエス」州(三分ノ二ハ「リオ」港ヨリ輸出セラル)

金重	高量	一九〇七年	一九〇八年	一九〇九年	一九一〇年
		一九九、六七六、 ^{キロ} 二三四	一四八、三三六、 ^{キロ} 九〇九	一六七、一七四、 ^{キロ} 八六八	一一九、五六〇、 ^{キロ} 七九〇
		六九、八八六、 ^{キロ} 六八 ^二	五二、九四九、 ^{キロ} 九二 ^八	七〇、二四三、 ^{キロ} 四四 ^四	六〇、〇一五、 ^{キロ} 四〇〇

「リオ」州(悉ク「リオ」港ヨリ輸出セラル)但労働者不足ノ爲メ樹木老衰スルト自國用多キトニテ輸出高減退ノ風アリ

金重	高量	一九〇七年	一九〇八年	一九〇九年	一九一〇年
		七五、五六八、 ^{キロ} 三三 ^七	五六、六九二、 ^{キロ} 一五 ^一	五五、八六九、 ^{キロ} 〇六 ^〇	四四、六四三、 ^{キロ} 〇二 ^九
		二七、九〇七、 ^{キロ} 五五 ^五	二〇、〇九九、 ^{キロ} 一八 ^八	二五、七六五、 ^{キロ} 三三 ^六	二七、九二九、 ^{キロ} 六二 ^六

右三州ノ外「エスピラト」州(輸出港「ビクトリア」ヲ有ス)及ヒ「バヒア」州(輸出港「バヒア」ヲ有ス)ヨリモ産出ヌ

左ニ各珈琲輸出港ヲ集散セル比年ノ數量ヲ示セハ(一袋ハ六〇「キロ」入)

港名	一九〇七年	一九〇八年	一九〇九年	一九一〇年	一九一一年
リオ	四四三、九六三	三、四〇九、 ^{キロ} 一〇三 ^三	二、九二六、 ^{キロ} 五〇 ^一	三、五五六、 ^{キロ} 三三 ^七	二、四八八、 ^{キロ} 八一 ^一
サントス	一五、三九二、 ^{キロ} 一七〇	七、二〇三、 ^{キロ} 八〇 ^九	九、五三三、 ^{キロ} 二四 ^三	一一、四九五、 ^{キロ} 四二 ^九	八、二一〇、 ^{キロ} 一四 ^五
ビクトリア	四〇九、四二二	四八二、 ^{キロ} 五五 ^三	三九五、 ^{キロ} 四五 ^九		
バヒア	一五〇、 ^{キロ} 一三三	二二〇、 ^{キロ} 〇五 ^一	一七五、 ^{キロ} 八六 ^五		
其他ノ港	一七、 ^{キロ} 四二 ^一	二三、 ^{キロ} 六五 ^五	七、 ^{キロ} 九七 ^〇		

以上

「護謨」輸出港トシテ當港ハ第三位ニアリ第一ハ「バヒア」第二ハ「バーナムブコ」ニテ第四位ハ「サントス」トナス

當港ヨリ出スモノハ「マンガベイラ」種トス最近ノ調査高不詳ナルモ千九百五年ニ於テ重量一〇五、四一三「キロ」金高三六二、五二二「ミル」ナリ

「砂糖」當港ハ第三位ノ砂糖輸出港タリ即チ左表ノ如シ

港名	一九〇九年	一九一〇年
「バーナムブコ」港	一九〇九年	一九一〇年
	四八、二九五、 ^{キロ} 四五 ^五	三六、八三五、 ^{キロ} 四三 ^四
「マセイロ」港	一一、〇四四、 ^{キロ} 四四 ^〇	一四、二四三、 ^{キロ} 九六 ^三
「リオ」港	一、八八一、 ^{キロ} 七六 ^八	五、五二二、 ^{キロ} 五三 ^六
「ココア」輸出港トシテハ近年第八位ニアリ「バヒア」第一「マナヲ」第二位ニシテ以下略ス		

港名	一九〇七年	一九〇八年	一九〇九年
バヒア	二〇,八四七・一八九	二九,三三三・六〇二	二八,八六三・七三七
マナオ	九四,八九二	一四二,三三六	一九七,一六八
リマオ	三,二五五	六〇九	二,二八八

「綿花」輸出港トシテ當港ハ第八位ニアリ第一ハ「バーナムブコ」第二ハ「カベデロー」トナス左ノ如シ

港名	一九〇七年	一九〇八年	一九〇九年
バーナムブコ	二,九八九・二四九	一,二四二・六九二	四,六八四・九一四
カベデロー	五,四〇一・七二八	一〇,六二二・五七五	二,五八五・七〇二
リマオ	一〇,二八四	一九,〇四三	一六,九八〇

以上 本船碇泊中ノ諸食糧品現價一覽ヲ示セハ左ノ如シ

品名	數量	代價	品名	數量	代價
白米	一キ	二八〇〇	馬鈴	一キ	六〇〇
生魚	一キ	一六〇〇	薯	一キ	一,〇〇〇
茄	一キ	五〇〇	檳榔	一キ	四,五〇〇
薩摩芋	一キ	四,〇〇〇	肉	一キ	三,〇〇〇
烏	一羽	二,五〇〇	糖	一キ	八〇〇

品名	數量	代價	品名	數量	代價
鶏卵	一打	一六〇〇	肉	一キ	一,六〇〇
葱	一キ	七〇〇	糖	一キ	二,八〇〇
海玉	一キ	一〇,〇〇〇	砂	一キ	六〇〇

「リオデジヤネイロ」港出帆ノ現狀

職員 十二名
 學生 百二十五名
 傭人 四十四名
 計 百八十一名

吃 前部 十七呎
 吃 後部 十九呎二吋
 吃 平均 十八呎一時
 排水 差 二呎二吋
 排水 量 三千六百三十噸
 「メタセンター」ノ高サ 三呎五吋
 飲料 水 八十四噸

但以下壓艙水函ニ清水ヲ充タシアルヲ以テ之レヲ補フコトヲ得
 フォアービークタンク 七五・〇
 第一バラストタンク 九二・七

壓艙水函

第二 同	一〇八・一
エンジンタンク	五〇・三
ボイラータンク	四五・二
第一アフターデイープタンク	一四四・八
第二 同	七一・四
アフタービークタンク	一七・三
石炭庫内	一三〇
補充石炭庫内	二一
計	計百五十一噸

糧食 四十六噸五

自南米「リオデジャネイロ」港至濠洲「フリーマントル」港

五月三日 出港天氣快晴

午後二時拔錨汽走シテ「リオ」港ヲ出港ス在留日本人十數名小蒸汽艇ニヨリ港口迄見送レリ在泊中ノ諸軍艦及ヒ陸上信號所ヨリハ各々信號ヲ以テ航途ノ安全ヲ祝セリ港外ニ出ツレハ稍々長浪アリテ偏東ノ軟風吹キツ、アリシカ日没後風力増加セシヲ以テ諸縦帆ヲ展シテ航走力ヲ補佐ス港口ヨリ針路ヲ南東(眞針路)ニ定ム

五月四日 正午位置 (南緯 二十四度五十二分 西經 四十一度四十三分)

偏北北東ノ和風アリ波頂白ク長浪ヲ伴フ終日快晴ニシテ冷涼ナリ午前九時南緯二十四度四十分西經四十二度五分ノ地點ニ於テ汽走ヲ止メ總帆ヲ展シ左舷開キトナシ既定針路南東(眞針路)ニ向ヒテ帆走ヲ始ム平均六哩ノ速力ヲ示セリ

五月五日 正午位置 (南緯 三十六度五十四分 西經 三十九度四十三分)

午前船内大掃除ヲ施行シ午後ヨリ日課ヲ開始ス北北東ノ疾風ハ漸次午後ニ至リ北微西風トナリシカ力衰ヘス平均七哩餘ノ速力ヲ保テリ終日快晴ナレトモ大氣濕潤ニシテ人ヲシテ不快ナラシム平均氣壓漸次南下ト共ニ遞降スルヲ見ル南流スル海流ニ遇フ

五月九日 正午位置 (南緯 二十九度十五分 西經 三十二度五十九分)

五日以來北西ノ疾風ハ漸次左旋シテ西南ヲ經テ八日ニ至リテハ南東トナリ同日朝方ヨリ風力漸次衰微ノ氣味アリ氣壓ハ風位ノ旋轉ト共ニ上昇シテ三十時一二ニ達セリ七日朝ヨリ豫定ノ針路ニ向フヲ許サ、ルヲ以テ右舷一杯開キトナシ航走中ナリシカ風力五乃至六ニシテ波浪之レニ伴ヒ長濤又高ク船體著シク動搖セリ概シテ曇天ナルモ颯雨ノ強キモノナシ八日午前九時風位益々旋轉シテ偏東南東風トナリシヲ以テ當直員ヲ以テ下手廻ハシヲ行ヒ左舷一杯開キトナシ漸ク南南西ニ航走スルコトヲ得ルニ過キヌ正午ノ風位北東微北ニシテ風力稍々加ハリ速力四哩ニ達ス終日曇天ニシテ陰鬱タリ八日以來冷涼トナリシヲ以テ冬服ヲ用フ海流ノ影響著シキモノナシ

五月十一日 正午位置 (南緯 三十二度十九分 西經 三十三度二十五分)

十日朝以來再ヒ風位漸次右旋シ始メ夕刻ニ於テハ既ニ逆風タル南東風トナリ風力著シカラントスル兆アリ滿天陰曇ニシテ波浪漸ク高ク又偏東ノ長濤著シク日没後ハ船體ノ動搖殊ニ繁ク風力モ大ニ加ハリ六乃至七ニ達スヘク同様左舷開キヲ以テ南南西方ニ航走セリ朝來諸輕帆ハ既ニ疊收セラレアリシカ午後十時「アッバ」ゲルンセル」ヲ疊收シタリ本日夜半更ニ「ローワー」ゲルンセル」ヲ絞疊シタリシカ黎明後風位幾分左旋シテ東南東ノ強風トナリテ吹キ續ケ長濤波浪依然トシテ高ク船體ノ動搖激甚ナリ降雨少キモ終日空曇ル氣壓ノ變動ナシ午後二時更ニ「アッバ」トツブスル」ヲ疊收シ船艙ヲ密閉スタ刻更ニ二葉ノ「ローワー」トツブスル」ヲ收メタルヲ以テ單ニ一葉ノ「メーン」ローワー」トツブスル」及ヒ「フォア」トツ

グマストステスル「ジツガーステスル」ニテ漂蕩セリ
五月十二日 正午位置(南緯 三十三度三十二分 西經 三十三度三十二分)

前日來ノ颯風ハ尙ホ依然トシテ吹キ續ケ風威容易ニ衰微ノ模様ナク波浪高シ終日陰曇ニシテ時ニ天氣密
朦タルコトアリシモ降雨少ナク朝方ヨリ風位漸次左旋シテ正午過キニハ偏北東風トナリ又茲ニ於テ豫定
針路ヲ南東微東(眞針路)ニ定メシモ風位尙ホ許サ、ルカ故ニ左舷一杯ニ航走シタリ是レヨリ先キ午前十
時前後橋ノ「アツバートツブスル」ヲ開展セシニ速力四浬ヲ得氣壓ノ變動ナク日中ノ氣温六十七度船體ノ
動搖尙ホ甚シ

五月十三日 正午位置(南緯 三十四度五十六分半 西經 三十三度三十二分)

前日夕刻ヨリ始メテ漸次氣壓ノ下降ヲ示セシモ強テ著シカラス天明ノ頃ヨリ風力頓ニ加ハルト共ニ夜來
ノ降雨ハ一層強激トナリ海上荒ク狂狼怒號シテ舷邊ヲ嚙ミ一面密朦ノ荒天ト化シタリ同時ニ風位漸次ニ
右旋シテ偏南東風トナリテ豫定ノ針路ニ就ク能ハス午前八時半更ニ前後橋「ローワートツブスル」ヲ絞疊
ス

此天候依然トシテ午後三時頃マテ引キ續キシカ其頃ヨリ雨徐ロニ止ミ風強ケレトモ波稍々治マリヌ風位
同様ニシテ南西方ニ航走ス朝來氣壓ノ上昇ヲ繼ケツ、アリ氣温五十九度鬱陶シサ言ハン方ナシ
五月十四日 正午位置(南緯 三十六度四十分 西經 三十五度三十分)

雨止ミ空漸ク晴レ波浪治マリシモ長濤ハ時々船體ヲ動搖セシメヌ風向尙ホ移ラスシテ逆風依然タリ風力
四乃至五「ローワールゲルンセル」以下ヲ展シテ南西方ニ航走スルノ外止ムナシ氣壓モ漸次上昇シツ、ア
リ十五日ニ至リテハ又變移セス十五日未明ヨリ風向稍々左旋シテ偏東ノ軟風トナリシカ正午ヨリハ又々
逆風タラントスルノ傾キアリ風力衰ヘ空曇ル夕刻ヨリハ幸ニシテ風位回轉シテ偏北東風トナリ南東ニ航
走スルヲ得タリ

五月十七日 正午位置(南緯 三十七度二十五分 西經 三十二度三十一分半)

十五日夜來風向更ニ左旋シテ北西トナリ偏西トナリ更ニ本日ハ朝來南西ノ疾風トナレリ同時ニ爾來多ク
變動ヲ見サリシ晴雨計ハ微昇ヲ示シタリ風ヲ右舷船尾ニ受ケテ東(眞針路)方ニ航走シ漸次風力ヲ加ヘ速
力七浬ニ達セリ波浪高カラントス多クハ曇天ニシテ時々驟雨及ヒ颯ノ通過アリ十六日ハ比較的平靜ノ好
天氣ナリシヲ以テ總テ荒天用帆ニ取換ヘ端艇二隻ヲ舷内ニ引キ入レ「ローヤルヤード」ヲ卸ロシ「クロジ
ヤツキ」帆ヲ取離シテ納收シ荒天區域ノ航海ニ備フ寒氣稍々加ハル

五月二十日 正午位置(南緯 三十三度四十三分 西經 二十六度四十分)

本日ニ至ルマテハ天候絶ヘス陰曇ニシテ不良タリキ風向ハ偏南ナリシモ追々左旋ノ模様ニ付右舷一杯開
キヲ以テ航走セシカ風力時々力ヲ失ヒシモ概シテ強盛ナリキ波浪又時ニ著シク高マリテ荒ク船體ヲ翻弄
スルコト度々ニシテ毎日各甲板諸口ヲ密閉スルノ外ナカリキ氣壓ノ如キモ昇降不規則タリ朝夕ハ強颯ノ
來襲多ク十九日晚景ニ於ケル南東ノ強颯來襲ノ如キハ頗ル急劇ニシテ風威猛烈波浪俄カニ高シ即チ船ヲ
起シテ風浪ヲ右舷船尾ニ受クルト共ニ總員ヲ以テ「アツバールゲルンセル」以下諸帆ヲ疊收シテ三葉ノ「ロ
ーワートツブスル」及ヒ「フアラートツブマストステスル」ヲ以テ之レニ當リシカ其内漸次治マリシモ
尙ホ其ノ餘影不良ニ屬シ本日ノ如キモ天候未タ恢復セス風聲轟々橋索ヲ鳴ラシツ、アリ午前十時「メー
ンアツバートツブスル」及ヒ「ホースル」ヲ展ス日没ノ頃ヨリ天候又々變惡トナリ風力更ニ著シキヲ加ヘ
來リ高浪澎湃狂奔船體ノ動搖激甚ヲ極ムルニ至レリ即チ「メーンアツバートツブスル」及「フオースル」
ヲ收メ夜半ヨリ風浪ヲ右舷船尾ニ受ケテ北北東方ニ航走セシカ終夜轟々トシテ風叫ヒ波怒リ乘員殆ント
一睡ヲ得ス驟雨時々到リ只滿月ノミ亂雲ノ間ニ徘徊セリ

五月二十一日 正午位置(南緯 三十二度二十四分 西經 二十五度二十六分)

天明後ニ於テモ尙ホ風浪高ク銳キモ正午前更ニ漸ク力ヲ失ヒ天候恢復ノ模様ナリシヲ以テ各橋「アツ

「バートツプスル」以下諸帆ヲ開展シ右舷一杯開キニ航走スルコトヲ得ルニ至レリ針路東微北(眞針路)速力五哩ヲ示ス

五月二十四日 正午位置 (南緯 三十一度三十三分 西經 二十度四十七分)

二十一日以來風向幾分右旋シテ偏南西風トナリシヲ以テ幾分南下スルヲ得シモ本日黎明ノ頃ヨリハ風位頓ニ變轉シテ又々逆風トナリ進航意ノ如クナラサルニ至レリ而シテ今日ニ至ル迄ハ天候絶エス陰曇ニシテ晴空旭日ヲ望ムコト實ニ稀少ニシテ頗ル鬱陶シキモノナリ又日没前後ニ於テ常ニ驟雨ノ襲來アリ其力甚々強盛ナルコト多ク必ス雨ヲ伴ヘリ然レトモ風向ノ急轉等ハ見サリキ毎夜諸帆及ヒ「メーンスル」ノ如キ取扱ヒ不自由ニ屬スル大帆ハ之ヲ疊收シテ警戒セリ波浪高カラス稍々氣温ノ上昇ヲ見ル氣壓ノ變動ナク海流ハ多クハ北西方ニ流レ毎日十餘哩ノ流程ヲ見タリ

五月二十七日 正午位置 (南緯 二十九度五十五分 西經 十九度二十二分)

二十五日ニ至リテハ風向南東トナリ空シク北航スルノ外ナキヲ以テ夕刻下手廻ハシヲ行ヒ左舷一杯開キニ移リシモ偏南トナリケレハ夜半過キ更ニ下手廻ハシヲ行フテ舊ノ開キニ復シタルカ漸次風向右旋シテ幾分南進ノ針路ニ就クヲ得シモ風力頓ニ衰微シ海上靜穩ニ歸シ天空晴レ渡リ旭影麗カトナリタリ同時ニ氣壓漸次上昇ヲ呈シテ下ラス示度三十時二六ヲ示セルハ蓋シ南太平洋南部ノ高氣壓部位ニ加入シタルモノニシテ南航ノ必要迫リタルモ風力乏シク漂浪ニ任スルノ外ナカリキ氣壓六十四度二十七日ニハ日本海々戰紀念日トシテ休業シ學生ノ射的競技ヲ施行ス

五月三十一日 正午位置 (南緯 三十四度 西經 十三度五十七分)

二十八日ニ至リテモ尙ホ殆ント無風ノ状態ニアリシカ晴雨計ハ微少遞降ヲ示シ來レルト共ニ天空多ク卷雲ノ表現ヲ見タルヲ以テ良風ノ吹來ヲ期待セシカ果シテ夜半前ヨリ偏東北ノ和風到リス即チ之レヲ左舷ニ受ケテ南方ニ航進シ四哩半ノ速力ヲ得タリ翌二十九日ニ至リテハ風力更ニ加ハリ波浪又高シ終日曇天

ニシテ雲片ノ運動速カナリ船快走ス速力八哩ニ達スルコト屢々ナリキ而モ風向漸次左旋シテ偏北風トナリケレハ針路ヲ南東二分ノ一南(眞針路)ニ定メテ左舷開キヲ以テ航走ス氣壓益々下リテ午後八時ニ於テハ二十九時六七(前日同時刻)ノ示度三十三時二五トナリヌ夜間ヲ警戒シテ諸輕帆ハ勿論「メーンスル」「スバンカー」ニ至ル迄疊收セシカ午後十時過キヨリ風力頓ニ加勢スルト共ニ強雨沛然トシテ暗ヲ突イテ至リ同時ニ風威迅雷ノ如ク急變轉ヲ始メ終ニ一轉シテ北西風トナリケレハ一時ハ其應接ニ遑アラサルモノアリシモ逐次操舵シテ之レヲ船尾ニ受クルト共ニ總員ヲ以テ各帆ノ疊收ヲ命シ只僅カニ「メーンローワートツプスル」及ヒ「フアースル」「フォアトツプマストステール」ヲ殘シタリキ折々星群ヲ望ミシモ多クハ暗曇ニシテ細雨時々至リ波浪殊ニ高ク船體ノ動搖甚シ翌三十日朝方ヨリ晴雨計上昇ヲ始メ二十九時六四ノ邊リニ於テ止リ其後多ク異動セス天候稍々定マリシカ如ク風ハ夜來偏北西ノ疾風タリ天明後前橋及後橋ノ「アツバートツプスル」以下諸帆ヲ展シテ豫定針路ニ航走シ平均五哩半ヲ得タリ本日ニ至リテモ風向同シク風力稍々衰ヘシノミ只偏南西ノ長浪激甚ニシテ動搖極メテ甚シク困難ヲ覺ユ日中ニ至リテハ快晴トナル

六月四日 正午位置 (南緯 三十六度四十四分 西經 十度十五分)

天候概シテ良好ニアラサルモ險惡ノ状態ニ至リシコトナク多クハ曇天ニシテ朝夕其他時ニ驟雨ノ襲來アリ風ハ北方ヲ中心トシテ東西ノ間ヲ變轉シ力平均四ニシテ時ニ夜間晴雨計ノ急遞降ヲ示スコトアリテ總員ヲ以テ諸帆ヲ疊收シ荒天ニ備ヘシコトアリシカ豫定ノ如ク猛烈ノ天氣トモナラスシテ經過シ來レリ而シテ三日夜半ヨリ全然風力ヲ失ヒ只漂浪ノ姿ナリシモ今日朝來偏北ノ軟風來リケレハ之レヲ左舷ニ受ケ南東微南(眞針路)ニ向ヒ航走ス速力三哩午後ニ至リ陰雨霏々トシテ到ル
本日午前九時ヨリ總員ヲ以テ火災操練、防水操練、溺者救助操練ヲ行ヒ午後一時半ヨリハ船醫ノ船内衛生状態ニ關スル講話ヲ行フ

六月八日 正午位置 (南緯 三十九度五十九分 西經 四十八分)

北西ヲ中心トシテ西方及ヒ北方ノ疾風流行ス之レヲ交互左右兩舷船尾ニ受ケテ平均南東方ニ航走シ速力五哩乃至七哩ヲ保チシカ漸ク南緯四十度附近ニ到達シタルヲ以テ針路ヲ東方ニ轉ス連日陰曇ノ天候ニシテ濕潤甚シク驟雨常ニ至リ太陽ヲ見サルコト連日タリ波浪敢テ高カラス氣温五十四度ヲ下ル強颯ナシ只風力時々強弱ヲ示シツ、風向ノ變移アルノミ又昨今水平上霧ノ發生アリテ實ニ不快ナル天候ヲ送迎セリ

六月十一日 正午位置 (南緯 四十四度四十分 東經 五十二度四十分)

九日午前三時南緯四十度ニ於テ本初子午線ヲ通過シ東經ニ入ル以來吹キ續ケシ偏北西ノ疾風ハ連日濕潤ニシテ陰鬱ナル天氣ヲ持續シ而モ降雨多ク滿天亂雲ニ蔽ハレ殆ント毎日太陽ノ影ヲ見ス左舷船尾ニ風ヲ受ケテ豫定針路ニ航走セシカ十日朝方迄幾分上昇ノ傾向ヲ保チシモ多クノ變動ヲ見サリシ氣壓ハ同日正午前頃ヨリ漸次下降ヲ始メ正午過キヨリハ風力頓ニ衰ヘ日没前後ニ至リテハ氣壓ノ下降益々甚シク加フルニ陰雨蕭々トシテ到リ只偏東風ヲ生セシカ右旋スルモノ、如ク終ニ南東風トナリ豪雨ヲ來シ波浪又高カラントセシカ是レマテ左舷開キヲ以テ航走セシモ午後九時當直員ヲ以テ下手廻ハシヲ行ヒ右舷一杯開キトナセシカ須臾ニシテ俄然風風キ只長浪ノミ起伏セリ是レヨリ先キ諸輕帆ハ疊收シテ警戒ヲ加ヘ居リシカ午後十一時北西ノ疾風忽チニシテ起リケレハ即チ左舷船尾ニ受ケテ東微南(真針路)ニ航走ス風力頗ル強ク午後八時ノ氣壓示度二十九度七一分ナリシカ正子ニ至リテハ二十九度五六ニ遞降セリ尙ホ引キ續キ遞下シ風威益々加ハレリ波浪又頗ル高シ翌十一日午前二時三葉ノ「アツバートツブスル」ヲ疊收シタルモ速力六哩タリ午前六時氣壓示度二十九度四十分ヲ以テ停止シ更ニ上昇ヲナスヤ俄然風向再轉シテ南西ノ強風トナリケレハ槍惶適帆ス同時ニ前後橋「ローワートツブスル」ヲ疊收セリ其後天明後ニハ著シク氣壓上昇シ南西強風吹キ續ケ追次天氣乾燥シテ正午前ニハ青天ト化シ午後ニ至リテハ好天氣トナル即チ諸帆ヲ開展ス然レトモ追々冬ノ喜望峰沖合ニ近接シ來ルコトナレハ警戒殊ニ嚴トナス

六月十四日 正午位置 (南緯 四十一度五十分 西經 四十四分)

著シク下降セシ氣壓ハ十二日正午迄ハ又急昇ヲ呈シ示度三十度二六ニ達シ空晴レ偏北東ノ軟風ノミナリシカ午後ニ至リ又々晴雨計ハ下降ヲ開始シ日没後ハ風力モ稍々加ハラントシケレハ上下「ゲルンセル」ヲ疊收セリ翌十三日ニ至リテモ引キ續キ氣壓下降シ風位ハ依然トシテ北々東ニシテ力六乃至七滿天曇レリ午前一時半各「アツバートツブスル」ヲ收ム天明後更ニ前後橋「ローワートツブスル」ヲ疊ミ「メーンローワートツブスル」及ヒ「ホースル」ヲ殘セリ續イテ船艙其他ヲ密閉シテ警戒ス夕刻迄ハ辛フシテ東南東(真針路)ニ航走シタルカ氣壓ハ益々下降シテ二十九度一八トナル而シテ雨量近頃少ナカリシカ午後七時頃ヨリ驟雨頻リニ至レリ午後八時風始メテ左轉シテ北北西トナリケレハ即チ針路ヲ東北東(真針路)ニ定メテ航走セリ蓋シ喜望峰ヲ通過スルニハ南緯四十度線ヲ目論見シモ風向意ノ如クナラス少シク南方ニ去リツ、アリケレハ茲ニ幾分北進策ヲ取リシモノタリ

十四日午前五時氣壓示度二十九度〇八ヲ以テ停止シ始メテ微少ノ上昇ヲナシ風向更ニ北西トナリ力七乃至八、十二日ハ氣温下降シテ四十五度トナリシモ翌十三日ニハ五十三度十四日ニハ五十五度トナレリ海温十三日ニ於テ氣温ヨリ低下スルコト二度多分南極方面ヨリ來ル寒流ノ喜望峰沖合ニ表現スルモノ、流域ニ入りシモノナルヘシ

十四日正午前ヨリ氣壓又々下降シテ風位一點右旋スルト共ニ力大ニ加ハリ波又高カラントス即チ今朝開展セシ前後橋「ローワートツブスル」ヲ疊收シ船艙等ヲ密閉シテ警戒ス

六月十七日 正午位置 (南緯 四十一度四十六分 東經 四十七分)

十四日日没頃ニハ既ニ又氣壓ノ上昇トナリ風向亦偏西トナリシカ力四乃至五ニシテ豫定針路ニツキ航走スルコトヲ得タリ其後一時モ氣壓ノ整止スルコトナク波狀ヲ呈シテ進ミシト共ニ風向又變轉セシコト既述ノ如ク而モ偏北風流行シテ左右各々二三點ヲ限リテ變移セリ然ルニ雨量極メテ少ク天氣ハ乾燥セリ僅

カニ「ローワーゲルレルスル」又ハ「アツバートツブスル」以下ノ諸帆ヲ以テ毎日一百哩ノ航程ヲ得タルハ荒天中ノ航走トシテハ好果タリ空ハ陰曇ニシテ青空ヲ見ス

十六日午後八時頃ヨリ海温急昇スルコト四度ニシテ其後今日ニ及ヘルハ蓋シ暖流「アガルハス」海流域ニ進入セシモノナルヘキモ船位ヲ確ムルニ由ナキヲ以テ流程ノ如何ヲ察スル能ハス冬季ニシテ而モ昨今偏北風ノミ流行スレハ偏東流ハ多カラサルヘク南向流少ナカラサルヲ思ハシム十六日夕本校ニ宛テ無線電信ヲ以テ喜望峰ノ通過ヲ報告ス十七日ハ朝來偏北ノ疾風アリ波浪又殊ニ擾亂シテ甲板上ヲ洗フコト頻々タリシカ氣壓モ極メテ微少ナル下降ヲ示シツ、アリ正午頃ヨリ細雨霏々トシテ到リ氣温著シク温暖ニシテ濕氣多ク不快ヲ訴フ風向正午ヨリ偏北西ナリシカ午後一時三十分俄然北西ノ強颯猛烈ニ襲來シ忽チ前主橋ノ上下「トツブスル」四枚ヲ破綻シ船體ノ傾斜著シカリシカ總員ヲ以テ之レヲ疊收シ幸ヒニシテ數分時ヲ以テ復舊セリ其風力ノ猛烈ナリシコト前例少ク轟然一過人ヲシテ呆然タラシムルモノアリキ此レニ際シテ晴雨計示度百分ノ五時ノ急昇ヲ呈シ更ニ忽チニシテ百分ノ六時ノ下降ヲナセルヲ見ル其後風稍々衰フノ氣味アリ雨止ム即チ當直員ヲ以テ破綻帆ヲ新帆ニ取換フ

六月二十日 正午位置 (南緯 四十五度二十六分 東經 二十五度二十五分)

本日東經二十五度ヲ超ヘタルヲ以テ殆ント南阿沖合荒天ノ箇所ヲ通過シ稍々天候回復ノ兆アルヲ得テ「ローワーゲルン」帆以下諸帆ヲ増展シテ偏南南西ノ強風ニ駕シテ東方ニ航走シ六哩宛ヲ得シモ先キノ十動搖激甚ニシテ最モ苦闘セシモノナリキ恰モ今日ハ朝來氣壓ノ上昇ヲ呈シ風位ハ偏西ニシテ驟雨比較的少量ナレトモ波浪ノ高キト風威ノ激烈ハ到底筆ニ盡スヘクモアラス殿ノ來襲スルヤ西方ニ頂上白色ニシテ水平暗黒ナル積亂雲ノ雲塊浮遊發生スルト見ル間ニ滿天ヲ蔽フテ來襲スルノ狀悽然タルモノアリキ而モ風向ハ少シモ變轉スルコトナク温氣ノ如キモ漸次下降シテ四十八度タリ一葉ノ「コース」及ヒ「ヘッド

スル」メーンローワートツブスル」ヲ展シテ風波ヲ船尾ニ受ケテ航走シ一時間六哩半宛ヲ示シ而シテ天明ニ及ヘリ船内ハ電燈ヲ點シテ火災ヲ豫防シ警戒怠ル所アラザリキ翌十九日ニ至リテモ風浪高ク船體ノ掀翻激烈ナリシカ夜半後漸次順調ニ復シ氣壓モ引續キ上昇シツ、アリ一應諸帆ヲ展シテ航走ニ勉ム恰モ本日ハ滿月ニシテ夜間ノ作業ヲ便ナラシムルト共ニ滿月時ノ強風ハ何時モナカラ強烈ナルヲ思フ

六月二十四日 正午位置 (南緯 三十八度 四十二分 東經 三十四度 四十二分)

喜望峰ヲ距ル數百哩ノ邊ヨリ天候常ニ不良ノ傾向トナリ殆ント寧日ナカリシカ二十日ヨリ二十二日夕刻迄ハ天候一定シテ空晴レ風向モ變スルコトナク偏西北西ノ和風ヲ以テ豫定針路ニ航走スルコトヲ得テ船内ヲ開放シ換氣乾燥法ヲ施シ二週日目ニ漸ク入湯ヲ行ヒシカ二十二日日没後ニ於テ風浪殊ニ募リ來リケレハ夜半各「ゲルン」ヲ絞疊シ翌二十三日未明ニハ「アツバートツブスル」ヲ收ムルノ止ムナキニ至リ巨浪船體ヲ掀翻スルコト甚シク船内ヲ悉ク密閉シテ警戒セシカ天明後ニ至リテモ容易ニ治マラス強颯ノ襲來頻々トシテ應接ニ遑ナキノ強颯ト化セリ雨量ハ比較的少量ナリキ氣壓ハ多ク變異スルコトナキモ平均示度三十時一ノ高キヲ示シ氣温五十七度風位西南西タリシカ二十四日ニ至リテハ更ニ左旋シテ南西ヨリ南南西ノ強風トナリヌ然レトモ本日ハ稍々波浪頭ヲ收メ天候回復ノ模様アリケレハ正午過キ各「アツバートツブスル」ヲ開展ス

連日偏南ノ海流ヲ感シ流程各一晝夜三十餘哩タリ強颯吹續中ハ豫定針路ニ向フ能ハス多ク偏東北東ノ針路ヲ取リテ幾分北上セリ斷續雲、斷亂雲ノ徘徊繁シ暗陰ヲ極ム

六月二十六日 正午位置 (南緯 三十七度 三十二分 東經 三十七度 三十二分)

二十三日午前一時氣壓二十九時六八ナリシカ漸次上昇シテ停止スル所ヲ知ラサルモノ、如ク二十五日正午ニ於テハ三十時六ニ達シ其後極メテ微少ノ上下ヲナセシモ依然二十六日ニ至ル迄高壓ノ狀態ヲ持續セリ此附近ニ於ケル公稱示度ハ三十時一ヲ平均トスルモノ、如キヲ以テ見レハ殆ント十分六時ノ高キヲ見

ルハ異數トス而シテ二十四日ニ於ケル颶風ノ如キハ此ノ氣壓上昇中ニ襲來セシモノナリシカ二十五日正午最高示度ニ到達スルヤ風威頓ニ衰退シテ風向一定スルコトナク數時間遊遑ニ任セシカ正午過キ二三時間ニテ偏東北東ノ軟風至リケレハ夕刻下手廻ハシテ行フテ左舷詰開キトナシ南南東方ニ航走シ速力三哩ヲ得、日没後及ヒ二十六日ニ至リテハ風向追々左旋シテ偏北風トナリ風力モ加勢シテ四乃至五ニ達シ漸ク豫定針路東(真針路)ニ向ケ航走セリ速力五哩

多クノ南印度洋東航帆船ノ經驗ニ依レハ冬期ハ南緯三十九度乃至四十度以南ニ下ラサルヲ得策トスルモノ、如ク反テ南下スレハ颶風ト高浪トニヨリ航程ヲ失スルノミナラス航海ノ困難免レ難キカ如シ「リ」ヲ港生間ニノミ脚氣患者ノ續出ヲ見上下心痛シツ、アリシカ昨今最モ増加シ五十餘名ニ達ス其ノ經過ハ別紙衛生報告ニアリ出港後學

六月二十九日 正午位置 (南緯 三十八度三十分 東經 四十二度三十分)

久シク氣壓高ク二十七日夕刻迄絶ヘス微昇ヲナシ三十時六附近ニ停止シテ多ク動カス從テ二十七、八日ハ風殆ント衰ヘ僅カニ至輕風アリ只稍々強勢ナル偏東海流ノ影響ヲ受ケテ航程ヲ利セシノミナリシカ二

十八日日没後漸ク氣壓ノ下降ヲ始ムルト共ニ偏北西ノ軟風吹來シ二十九日ハ稍々風力モ増シ速力五哩ヲ以テ真東ニ航走ス氣温六十二度ニシテ天候平靜ナリ

七月二日 正午位置 (南緯 三十七度四十二分 東經 四十九度四十四分)

六月三十日ニ至リ逆風トナリテ偏東ノ和風アリ針路ニ向フ能ハサルヲ以テ翌日迄減帆シテ右舷詰開キヲ以テ漂蕩ニ勉メシカ七月一日午前六時頃ヨリ風向左旋シテ北北東トナリ風力四乃至五トナリケレハ左舷詰開キトナシテ航走シ日没後ハ漸ク針路ニ向フヲ得タリ二日ニハ風向更ニ左旋シテ偏北ノ疾風トナリ殊ニ未明ノ頃風威著シク募ルノ模様アリケレハ減帆シテ航走セシカ尙ホ平均速力五哩ヲ示セリ氣壓ハ微少ノ昇降ヲ常トセルモ大ナル異動ナシ氣温六十度海流ノ影響ナク概シテ陰曇ニシテ雨少シ三日ニハ風向偏北西トナリ波高シ總帆ヲ以テ航走ス速力六哩時々細雨至リ濕氣殊ニ強シ

七月八日 正午位置 (南緯 三十八度十七分 東經 五十八度二分)

三日以來偏北風多ク流行シ偏南風ハ僅カニ一日間ニ過キス風力モ概シテ微弱ニシテ假令疾風ヲ吹キ起スモ二日ニ涉ルコトナク忽チ至輕風ト復スルヲ常トセリ從テ航程甚シク寡少ニシテ進行涉々シカラス只偏東方ノ海流若干湮宛ヲ見タルノミ驟雨驟等ノ襲來ナケレトモ空快晴ナラス多クハ陰曇ニシテ氣壓又殊ニ高ク平均三十時二ヲ示シ高低動搖殆ントナシ針路ハ真東(真針路)トス

七月十三日 正午位置 (南緯 四十一度九分 東經 七十度十三分)

八日正午頃ヨリ吹來セル偏北北東風ハ追々力ヲ加ヘ且ツ能ク吹續シ漸次北西ノ疾風ト化シテ本日ニ至ルモ止マス頗ル良好ノ航程ヲ得タリ而シテ氣壓ハ殆ント連日變動ナク平均三十時三ヲ示シ極メテ稀ニ驟雨ノ通過アリシノミ天候良好ナリキ然レトモ滿天陰曇ニシテ濕潤ナリ海流ハ偏東ニシテ平均十哩氣温平均五十八度

九日午前總員ヲ以テ防水部署端艇部署操練ヲ施行ス

十三日午後零時五十五分 南緯 四十二度 東經 七十一度 九分ノ地點ニ於テ豫テ脚氣症ニテ臥床中ナリシ學生倉辻不羈丸終ニ療養其効ヲ奏セス死亡スルノ不幸ヲ見ルニ至レルハ最トモ悲痛恨惜ニ堪ヘサル所トス即チ總員ヲ集メテ之レヲ示達スルト共ニ謹慎弔意ヲ表スヘキコトヲ命シ各自拜禮式ヲ行ヒ部署シテ遺骸ヲ守衛ス

七月十四日午後三時三十分 南緯 三十九度 四十二分ノ地點ニテ脚躡シ上甲板ニ於テ總員參列ノ上嚴肅ナル葬儀ヲ執行シ遺骸ヲ水葬ニ付ス全員面ヲ舉クルモノナシ

風位漸次偏東風トナリケレハ已ムナク右舷詰開キニテ航走セリ波高シ

七月十六日 正午位置 (南緯 三十九度十三分 東經 七十六度十三分)

十五日ニ至リテハ風殆ント死シ海面平靜ニシテ只上層ニ卷雲ノ緩ケルヲ見ルノミナリシカ夜半ヨリ北北東風ヲ吹起シ翌十六日ニ至リテハ疾風トナリヌ即チ左舷開キトナシ東南東(真針路)ニ航走シ速力漸次増

加シテ六哩ニ達ス午後八時「セントポール」島ヲ距離五十哩ニシテ並航セリ
十六日午後十一時二十五分南緯三十九度四十二分 東經七十七度三十九分ニ於テ豫テ肺患ニテ臥床中ナリシ大工吉田猪右衛門終ニ死
亡スルノ不幸ヲ重ヌ

下級船員一同ハ通夜遺骸ヲ守護セリ

寒氣加ハリ四十七度ヨリ五十二度ノ間ニアリ

七月十八日 正午位置(南緯 四十四度四十七分半 東經 八十二度五十六分)

十七日ヨリ晴雨計ノ下降ヲ初メ驟雨時々來リ依然北北東風吹續シ力愈々加勢ス夜半過キヨリ漸次減帆シ

テ之レニ備フ波浪驟騰ス午後二時頃ヨリ氣壓ノ遞降停止シ天候稍々回復ノ兆アリ

午後二時南緯四十四度四十九分 東經八十三度六分ニ於テ故大工吉田猪右衛門ノ水葬式ヲ上甲板ニ行フ霏雨蕭々甲板ヲ打テ悲痛

迫ル

午後六時諸帆ヲ増展ス風向偏北西トナリ風力六空晴ニ渡リ滿月輝ク然ルニ又々午後八時過キヨリ氣壓ノ

遞降ヲ示スト共ニ風浪増勢シ翌十九日(正午位置南緯四十四度四十一分半 東經八十五度半)ニハ未明諸帆ヲ疊ミ「メーンローワ

トツプスル」及ヒ「ホースル」ニ枚ヲ殘シ尙ホ速力五哩宛ヲ得テ目的ノ針路ニ航走セシカ風浪、豪雨交々加

勢シテ荒天ト變ス然ルニ正午前ヨリ晴雨計ノ停止ト共ニ雨止ミ風浪稍々治マリケルトモ長浪ノ船體ヲ弄

スル甚シク天候尙ホ全復セス

七月二十二日 正午位置(南緯 三十七度四十四分 東經 九十一度四十一分半)

十八日來晴雨計ノ下降ハ翌十九日正午過キ迄繼續シ尙ホ其後二十日夜半ニ至ル迄ハ強テ上昇ヲ始ムルコ

トナク只僅カニ不規則ニシテ微弱ナル昇降ヲナシケルカ二十一日朝來著シク上昇ノ模様ト變シ刻々其示

度ヲ高メヌ即チ十七日正午ノ示度三十三度三十八日正午二十九度七三、十九日正午二十九度三三トナリ

シモノ二十日正午ニハ二十九度五一、二十一日正午二十九度五五トナリ更ニ二十二日正午二十九度四八

ニ上昇セリ此四日間ニ於テ著シキ昇降ヲ見シ各一晝夜間ハ風浪猛烈ニシテ其下降時ニハ偏北乃至偏西ノ
風ヲ以テシ其上昇ヲ始ムルヤ偏南西ヨリ偏南南西風ト變轉セリ蓋シ南半球高緯度ニ於ケル風向ノ變轉及
ヒ氣壓ノ關係ヲ著シク發表スルモノニシテ遙カニ南方五十度附近ヲ低氣壓中心ノ東行セシモノニシテ殊
ニ四日間ニ渡レルハ是レ印度洋ノ低氣壓進行速度ノ著シク遲緩ナルカ爲メナルヘシ冬期印度洋ニハ颶風
ノ發生殆ントナシト雖トモ四十五度乃至五十度附近ニハ此ノ種ノ中心發生アルモノ、如シ風力九乃至十
ニ達シ諸帆ハ悉ク疊收シ時ニ或ハ「メーンローワ」トツプスル「フォースル」ヲ以テ之レニ
當リ又ハ「フォースル」及ヒ「ヘットスル」ヲ以テシテ風浪ヲ後部ニ受ケテ順走シタリシカ尙ホ且ツ幸ニシ
テ目的ノ針路ヲ保ツコトヲ得テ航程毎日百餘哩宛ヲ得タリ此間ニ於ケル驟雨ノ強勢ニシテ猛暴ナリシコ
ト多ク其比ヲ見サル所ニシテ烈風ト共ニ強雨霰ヲ伴ヒ來リ波浪著シク怒リ狂ヒ船體ヲ掀翻スルコト度々
ナリ氣温ハ刻々降下シテ時ニ三十八度トナリ寒氣酷烈船體殊ニ苦闘セリ船口等ヲ密閉シテ警戒ヲ加フ二
十二日夕刻ニ於テモ尙ホ風浪峻烈タリシカ夜半後漸次回復ノ兆ヲ見翌二十三日ニ至リテハ尙ホ餘波ヲ存
セシモ旭影ヲ見殆ント回復セリ即チ漸次増帆ス

七月二十四日 正午位置(南緯 三十五度三十四分 東經 九十五度三十二分半)

北西ノ和風ヨリ疾風トナル諸帆ヲ開展シテ東微北(眞針路)ニ航走ス折々驟雨ノ通過アリシモ快晴ニシテ

好天氣ナリキ午前八時半ヨリ午後二時半迄上甲板ニ於テ運動會ヲ開催ス蓋シ昨年ノ出港ヲ紀念シ併セテ

乗員ノ志氣鼓吹ヲ目的トセリ

七月二十五日 正午位置(南緯 三十五度十三分半 東經 九十八度二十六分)

偏西ノ疾風ハ依然トシテ吹續シツ、アリシカ漸次増勢シテ強風トナリ日中上層ニ卷雲ノ霞ケルヲ見シカ

午後一時過キ沃雲ノ風上ニ發生スルヤ俄然猛烈ナル驟雨ノ襲來ニ接シタルヲ以テ直ニ各上帆ハ勿論逐次

「トツプスル」ヲ疊收セシカ以來強颶頻々トシテ來リ波又大ニ起レリ然レトモ氣壓ハ少シモ變動スルコト

ナク整然タリキ日没後風威益々吹キ募ルヲ以テ「フアースル」及ヒ「ヘッドスル」各一葉ヲ殘シテ悉ク絞收セリ午後十一時頃晴雨計ノ急昇降ト共ニ北西方ヨリ更ニ強猛ナル颶雨ノ來襲アリ四面暗黒ニシテ咫尺ヲ辨セス頗ル不良ノ天候ナリシカ此際「ミヅンマスト」及ヒ「ジツガーマスト」ノ頂上ニ「セントエルモス光」ノ發生ヲ認ムルコト五分時ニシテ無線電線ニ反影シテ青白色ノ光線ヲ放チ奇觀ヲ呈セリ其前後各方面ニ電光ノ輝クヲ見タリ其後翌二十六日天明ニ近クニ及ヒ漸ク天氣回復シ翌日ハ漸次増帆スルニ至レリ

七月二十九日 正午位置 (南緯 三十二度五十八分半 東經 百〇七度三十一分半)
 二十六日偏北西ノ疾風ハ翌二十七日偏南西風ト變シテ以來本日ニ至ル迄二、三點ノ變轉アリシモ尙ホ移ラス之ヲ船尾ニ受ケテ目的港ニ向ヒ直航針路東微北(真針路)ニ航走シ速力平均五哩ニ達シ風浪衰ヘス殊ニ時々強颶強雨ノ來襲アリテ勿論上帆ハ常ニ疊收セルマ、ナリキ漸次氣温モ加ハリ本日ノ如キハ正午五十八度トナリ船内暖ク殊ニ快晴ノ天氣ナレハ甲板上入港準備ニ忙ハシ氣壓連日變動ナシ

七月三十日 正午位置 (南緯 三十二度二十三分 東經 百〇九度五十五分)
 本日午前三時 南緯 三十二度四十分 東經 百〇九度四十分ニ於テ豫テ脚氣症ニ臥床中ナリシ學生田村蔭終ニ治療効ナク衝心ニテ死亡ス重ネ、ノ不幸事ヲ見ルニ至レルハ痛恨ニ堪ヘサル所トス倉辻學生死亡當時同様諸般ノ處置ヲ取り嚴肅ニ弔意ヲ表セリ

午後四時〇分 南緯 三十二度二十一分 東經 百十度九分ノ地點ニ於テ總帆ヲ絞疊シテ汽走ニ移ル偏西ノ和風アリ長濤高シ天候快晴
 七月三十一日 正午位置 (南緯 三十二度十八分 東經 百十三度十一分)
 偏北西ノ強風アリ朝來氣壓ノ下降著シカラントス午後二時三十分 南緯 三十二度十五分 東經 百十三度三十分ノ地點ニ於テ故學生田村蔭ノ水葬式ヲ施行ス諸行事殊ニ嚴肅ニシテ重ネテ船友ヲ水底ニ葬ムル事實ニ悲痛斷腸ノ極ミトナス
 朝來ノ天候益々不良ノ兆ヲ呈シ氣壓ノ下降依然トシテ停止セス加フルニ颶風ノ來襲頻リニシテ波高シ終ニ午後四時機關ヲ停止シテ二葉ノ縱帆ヲ以テ風浪ヲ右舷一杯ニ受ケテ漂蕩ス翌八月一日午後三時半ニ至

リテ晴雨計ノ上昇ヲ見シ迄天候轉惡ニシテ午後十一時前後ニ於テハ沛然トシテ豪雨強風ニ連レテ至リ海面密濤トナリケルカ是レヨリ先キ荒天準備ヲ行ヒテ警戒ヲ嚴ニセリ午前一時ヨリ稍々天候良好ノ模様アリシヲ以テ風浪ヲ左舷船尾ニ受ケテ北東微東(真針路)ニ向テ航走シ八月二日朝入港ノ豫定トナセリ

八月一日 正午位置 (南緯 三十二度十分 東經 百十四度十一分半)
 正午迄從前ノ針路ニヨリ風浪ヲ船尾ニ受ケテ順走シ速力三哩宛ヲ得タリ風位西方ヨリ漸次南西ニ移リ風力五、波浪尙ホ高シ颶雨ノ通過頻々タリ然レトモ氣壓ノ上昇頻リナレハ別ニ荒天ノ恐レナキ故目的ノ針路東微北(真針路)ニ向テ轉針シ進航セシニ五時三十五分左舷前方北東二分ノ一東(真方位)ニ「ロツトネスト」島燈光ヲ認ム即チ八時三十五分汽走ニ移リ同島ノ北側ニ進入シテ漸次錨地ニ接近シ翌二日午前〇時四十分水先人モリソン氏乗船シ午前二時五分投錨ス翌二日朝檢疫終了ノ上港内浮標ニ繫留ス
 南米「リオデジャネイロ」港ヨリ當港ニ至ル航海日數其他左ノ如シ

全航走時間	九千三百三十分
全航程	九千三百三十哩
帆走時間	八十八日一時五十六分
同航程	八千九百八十七哩
一日平均航程	百〇二哩
一時間平均速力	四哩二五
汽走時間	一日二十三時三十四分
同航程	三百四十三哩
一日航程	百七十六哩八

「フリーマントル」港碇泊日誌

八月二日 土曜 午前檢疫了後拔錨水先人ニヨリ港内ニ入り浮標ニ繫留ス
八月三日 日曜 學生下級船員ノ上陸散步ヲ許ス尙ホ學生ノミハ交互毎日自由散歩ヲ許可シテ衛生状態回復ヲ圖ル

八月四日 月曜 午前十時水先人來船ノ上他ノ浮標ニ轉繫ス

船長ハ港務部長ヲ訪問シテ入港ノ挨拶ヲナシ諸事打合セテ濟マシテ海軍屯營ヲ訪問ス
本日夕刻ヨリ當地「キングス」劇場支配人ダビス氏ノ招待ニヨリ士官數名及學生半舷觀劇ニ赴ク

八月五日 火曜 午前八時ヨリ船長ハ「バース」市ニ赴キ西部濠洲知事「バース」市長及首相ヲ訪問シテ入港ノ挨拶ヲナス

同時刻引キ違ヒテ首相スカツダン氏代理トシテ同秘書官ケツセル氏本船ヲ公訪セラレ
當地「リテラリー、インスチチューション」書記官レーモンド氏ヨリ圖書閱覽ヲ士官學生ニ公許スル旨申込ミニ接ス

「バース」市「ウエスト」劇場支配人エルスキン氏ヨリ當地支館ニ開催中ノ活動寫真觀覽招待狀ヲ受領ス
西部濠洲鐵道管理局長官ヨリ特ニ士官一同ニ對シ向後二週間鐵道無賃乘車證ノ寄贈ヲ受ク

八月六日 水曜 午後八時ヨリ招待サレシ「ウエスト」劇場活動寫真觀覽ノ爲メ士官數名及ヒ學生半舷之レニ赴ク

在「バース」市在留日本人ヲ代表シテ川尻勇吉氏特ニ歡迎ノ爲メ來船ノ上果實十五箱ノ寄贈ヲ受ク
八月七日 木曜 「フレマントル」市長エフ、ゼー、マクラレン氏「バース」市長ジョンヘンリーブローズ氏及

ヒ西部濠洲知事ハリーパロン少將代理エテ、井ー、カデル少佐等各々答禮ノ爲メ來訪アリ

「バース」市動物園支配人ソーフ氏ヨリ乘員ニ對シ無料觀覽許可ノ申込ミアリ

八月八日 金曜 船長ハ「バース」市鐵道管理局長ヲ訪問シテ無賃乘車券寄贈ニ對スル謝意ヲ表ス
專任教官ハ船長ヲ代表シテ當地稅關、郵便局ヲ訪問ス

「バース」市救世軍ノ開催スル日本品競賣會ノ入場券送付アリ
八月九日 土曜 本日午後一時ヨリ船内ヲ公開シテ觀覽ヲ許可セシニ來觀者二百餘名アリ

夕刻ヨリ士官數名更ニ「キングス」劇場ヨリ觀覽招待アリテ之レニ赴ク
八月十日 日曜 午前九時ヨリ午後四時マテ公衆縱覽ヲ許ス觀覽者約七百餘名

八月十一日 月曜 午前九時ヨリ「マクレンマカコ」商會ヨリ差廻ハセル小蒸汽艇ニヨリ船長以下士官三名學生五十名「スワン」河ヲ遊リ「バース」市附近マテ遊覽シ夕刻歸船セリ

午前十一時稅關長マドックス氏海軍大佐クレアー氏及ヒ港務部長イルグイン氏答禮ノ爲メ來船ノ上船内ヲ觀覽セリ

午後二時ヨリ諸新聞記者及ヒ「キングス」「プリンス」兩劇場支配人ノ希望ニヨリ甲板上ニ學生ノ柔道擊劍試合ヲ行フ

清水二百噸搭載ス一噸代金三志

八月十二日 火曜 船長、英語教官ハ西部濠洲知事ハリーパロン少將ノ催ホセル午餐會ニ招待セラレ
八月十三日 水曜 船長、英語教官ハ「バース」市救世軍ノ催ホセル日本品市場開會式ニ參列ス

午前九時ヨリ午後五時迄石炭搭載ニ從事ス
八月十四日 木曜 一等運轉士、專任教官、機關長ハ救世軍日本品市場へ參會ス

午前九時ヨリ引續キ石炭搭載ヲ始メ同十時終了ス全搭載高二百五十三噸一噸ニ付二十五志六片

八月十五日 金曜 夕刻ヨリ學生三十名「パース」市救世軍市場へ參會ス

八月十六日 土曜 午後一時ヨリ四時迄ハ公衆縦覽ヲ許ス
午後三時ヨリ「パース」市動物園運動場内ニ施行セラル、青年義勇隊知事閱兵式ニ招待サレ船長外士官二名及ヒ學生三十名參列ス

夕刻ヨリ學生半船當地海員休憩所ニ於ケル音樂會ニ參列ス

八月十七日 日曜 午前九時ヨリ午後四時迄公衆縦覽ヲ許ス觀覽者多シ

八月十八日 月曜 記事ナシ

「パース」市青年會館ヨリ入場券二十枚送附ニ接ス

「パース」市政廳ヨリ諸統計書數部寄贈ヲ受ク

八月十九日 火曜 記事ナシ

八月二十日 水曜 「パース」市及ヒ當地在留日本人約二十名ヲ招キ茶菓ヲ供ヘテ談話會ヲ開ク

八月二十一日 木曜 専任教官ハ船長ヲ代表シテ税關、郵便局、檢疫所、「パース」市ニ赴キ西濠洲知事、首相、「パース」市長及西部鐵道管理局長官ヲ公式訪問シテ告別ノ挨拶ヲナセリ

八月二十二日 金曜 船長ハ「フレマントル」市長、港務部長、各新聞社、海員休憩所、「ウエスト」及ヒ「キンクス」劇場主ヲ告別ノ爲メ屢訪シ更ニ「パース」市ニ赴キ西濠洲知事、首相、「パース」市長及西部鐵道管理局長官ヲ公式訪問シテ告別ノ挨拶ヲナセリ

八月二十三日 土曜 午前十時港口マテ水先人乗船指揮ノ下ニ關領「アムボイナ」港へ向ケ出港ス

寄港地「フリーマントル」港事情

當港ハ西濠洲中ノ最要港ニシテ「スワン」河口(西紀一六九七年「ギルヴィング」號艦長ウイリヤム、ヴィラミ

No. 52 - Abstract of Meteorological Observations taken at Port Phillip, Victoria, 1907.

Date	Temperature		Barometer		Wind	Direction	Force	State of Sky	Direction of Rain	Quantity
	Max.	Min.	Max.	Min.						
11-7-11	72	58	30.0	29.8	SSW
11-8-11	72	58	30.0	29.8	SSW
11-9-11	72	58	30.0	29.8	SSW
11-10-11	72	58	30.0	29.8	SSW
11-11-11	72	58	30.0	29.8	SSW
11-12-11	72	58	30.0	29.8	SSW
11-13-11	72	58	30.0	29.8	SSW
11-14-11	72	58	30.0	29.8	SSW
11-15-11	72	58	30.0	29.8	SSW
11-16-11	72	58	30.0	29.8	SSW
11-17-11	72	58	30.0	29.8	SSW
11-18-11	72	58	30.0	29.8	SSW
11-19-11	72	58	30.0	29.8	SSW
11-20-11	72	58	30.0	29.8	SSW
11-21-11	72	58	30.0	29.8	SSW
11-22-11	72	58	30.0	29.8	SSW
11-23-11	72	58	30.0	29.8	SSW
11-24-11	72	58	30.0	29.8	SSW
11-25-11	72	58	30.0	29.8	SSW
11-26-11	72	58	30.0	29.8	SSW
11-27-11	72	58	30.0	29.8	SSW
11-28-11	72	58	30.0	29.8	SSW
11-29-11	72	58	30.0	29.8	SSW
11-30-11	72	58	30.0	29.8	SSW

* In the corrections previously applied further correction for magnetic declination.

寄港地「フリーマントル」港事情
 當港ハ西濠洲中ノ最要港ニシテ「スワン」河口(西紀一六九七年)「ギルヴィング」號艦長ウイリヤム、グイラミ

No. 52.—Abstract of Meteorological Observations taken at Perth.
 Latitude, 31° 57' S. Altitude above mean sea-level, 197 feet. Longitude, 115° 51' E.

1912. Month.	Barometer.*				Shade Temperature.										Terrestrial Radiation.				Humidity.				Evaporation.		Rainfall.				Resultant Direction of Wind						
	Mean 9 a.m. and 3 p.m.	Average for 28 years.	Highest.	Lowest.	Mean.	Average for 16 years.	Mean Maximum	Mean Minimum	Diurnal Range.		Maximum on any one day.	Minimum on any one day.	Highest recorded since January, 1897.		Lowest recorded since January, 1897.		Mean Minimum.	Minimum on any one day.	Average for 14 Years.	Lowest recorded since June, 1898.		Mean.		Total.	Average total for 14 years. Inches.	Total.		Average for 37 years.		For year.		For 14 years.			
									Mean.	Average for 16 years.			Maxi- mum. D.te.	Mini- mum. Date.	Min.	D.te.				9 a.m.	3 p.m.	9 a.m.	3 p.m.			Inches.	Days.	Inches.	Da.	9 a.m.	3 p.m.	9 a.m.	3 p.m.		
																																		9 a.m.	3 p.m.
Jan. ...	29.92	29.91	30.20	29.69	73	74	84	63	21	21	102	54	107	16th, 1897	51	25th, 1901	57	48	59	42	25th, 1902	50	42	52	46	10.25	10.39	0.13		0.33	2	E	S	ESE	SSW
Feb.95	.92	.20	.68	75	74	86	63	23	22	100	49	107	6th, 1898	48	1st, 1902	57	40	59	41	1st, 1902	47	39	54	45	8.81	8.76	Nil	Nil	0.31	2	E	WSW	ESE	SSW
March93	.99	.19	.55	71	71	81	61	20	21	98	50	104	6th & 7th, 1906	46	8th, 1903	56	41	56	37	8th, 1903	62	52	57	45	8.22	7.67	0.52	...	0.71	4	E	S	E	SSW
April ...	30.06	30.07	.25	.83	66	66	75	57	18	19	89	45	100	9th, 1910	42	2nd, 1901	52	35	52	35	2nd, 1901	70	59	63	49	3.96	4.84	2.06	9	1.65	7	ENE	SSW	E	SSW
May23	.07	.49	.90	62	60	71	52	19	16	83	42	90	2nd, 1907	40	17th & 18th, 1899	43	33	48	31	28th, 1912	62	47	73	58	3.61	2.65	1.11	5	4.88	14	NE	ENE	NE	WSW
June09	.06	.36	.71	58	56	65	51	14	15	74	44	77	2th, 1909	37	14th, 1898	45	33	45	30	14th, 1898	77	65	78	64	1.55	1.69	8.94	18	6.51	16	NNE	N	NNE	WNW
July11	.09	.50	.52	55	55	63	47	16	15	69	37	74	24th, 1899	36	19th, 1906	41	28	43	28	21st, 1911	72	59	78	63	9.12	1.63	6.98	19	6.44	16	N	WNW	NNE	W
Aug.08	56	16	80	30th, 1902	35	31st, 1908	44	28	10th, 1911	74	61	...	2.35	...	5.55	17	NE	WSW	
Sept.05	58	16	86	23th, 1900	39	18th, 1900	46	32	17th, 1912	69	60	...	3.30	...	3.37	14	NE	WSW	
Oct.03	61	17	93	17th, 1906	41	10th, 1903	48	33	1st, 1910	62	57	...	5.27	...	2.06	11	SE	SW	
Nov.	29.99	65	19	101	27th, 1901	42	1st, 1904	51	35	6th, 1910 and 14th, 1912 2rd, 1910	52	...	7.72	...	0.76	6	SE	SW		
Dec.93	71	20	108	20th, 1904	48	2nd, 1910	56	39	52	48	...	9.86	...	0.54	4	SE	SSW	
Mean for year	...	30.02	64	18	51	62	52	E	...	
Extreme	108	20-12-04	35	31-8-08	28	31-7-11 & 10-8-11
Total for year	66.13	33.11	114	

* In addition to the corrections previously apphed, further correction for standard gravity has now been applied.

